

COMPUTER SEWING MACHINE

# HZL-UX8

## 取扱説明書

JA



**注意**

安全にご使用していただくため、ご使用前に必ずこの取扱説明書をお読みください。また、いつでもご覧になれますように保管してください。

この度は、本製品をお買い上げいただきまして誠にありがとうございます。

ご使用になる前に「安全にご使用していただくために」をよくお読みいただき、この取扱説明書で機能や使い方を十分にご理解のうえ、末永くご愛用ください。

お読みになった後はいつでもご覧になれるところに保証書とともに保管してください。

製品改良のため、本体の色・デザイン・仕様など予告なく変更することがありますので、ご了承ください。

マニュアルは、改善のため変更することがあります。



上記のマニュアルは、インターネットで最新版を公開しています。（マニュアルのほか、お使いになるうえでの注意事項を公開しています）

[https://www.juki.co.jp/household\\_ja/vc-files/doc/pdf/HZL-UX8\\_manual.pdf](https://www.juki.co.jp/household_ja/vc-files/doc/pdf/HZL-UX8_manual.pdf)


## 安全にご使用していただくために

この取扱説明書および製品に使われている表示や絵文字は、製品を安全に正しくお使いいただき、お使いになられる方や他の人々への危害や損害を未然に防ぐためのものです。

警告表示は以下のように使い分けています。

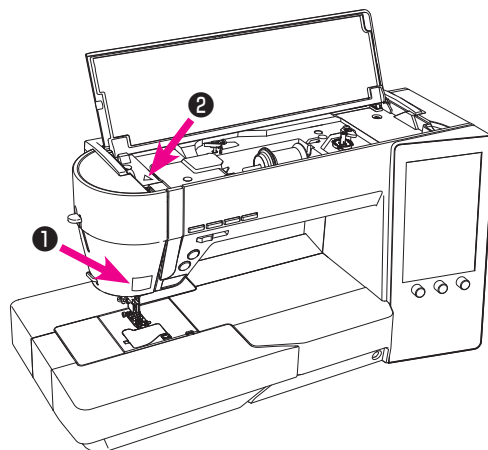
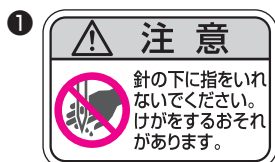
 <b>警告</b>	この表示を無視して誤った使い方をすると、人が死亡または重傷を負う危険が想定される内容を示しています。
 <b>注意</b>	この表示を無視して誤った使い方をすると、人が傷害を負う危険が想定される内容および物的損害の発生が想定される内容を示しています。

絵文字の意味は次のとおりです。

	注意すること		感電の危険があります		火災の危険があります
	手などへの傷害の危険があります		してはいけないこと		分解、改造をしないでください
	針の下に指を入れないでください		必ず行うこと		電源プラグをコンセントから抜いてください

## 警告ラベルについて

ミシン本体には下記の警告ラベルが表示されています。  
警告表示の注意事項を守って作業を行ってください。  
また、警告ラベルは、はがれたり、傷ついたりしないよう十分注意してください。  
万一ラベルがはがれていたり、読み取れなくなった場合は速やかに販売店にご連絡ください。








このミシンを正しく安全にご使用していただくために、下記のことがらを必ずお守りください。






このミシンは日本国内向け、家庭用です。外国では使用できません。












This sewing machine can not be used in a foreign country as designed for Japan.

### 警告

	一般家庭用交流電源 100V の電圧以外では、絶対に使用しないでください。
	下記のようなときは電源スイッチを切り、室内コンセントから電源プラグを抜いてください。 <ul style="list-style-type: none"><li>● ミシンのそばを離れるとき。</li><li>● ミシンをご使用になったあと。</li><li>● ミシンのご使用中に停電したとき。</li><li>● ミシンをお手入れするとき。</li><li>● ミシンを移動させるとき。</li><li>● 接触不良・断線などで正常に動作しないとき。</li><li>● 雷が鳴りはじめたとき。</li></ul>
	電源プラグは定期的に乾いた布でふき、ほこりなどを取り除いてください。
	直射日光の当たるところや、ストーブ、アイロン、火の消えていないたばこ、ろうそくなど火の気のあるもののそばや温度の高いところでは使用しないでください。 ミシン内部の温度が上がったり、電源コードの皮膜等が溶けて火災・感電の原因となります。 ミシンの使用温度は 5℃～ 40℃です。
	スプレー製品などをご使用の部屋では使用しないでください。スプレーへの引火によるやけどの原因となります。

### 注意

	延長コードや分岐コンセントを使用した、たこ足配線はしないでください。火災・感電の原因となります。
	濡れた手で電源プラグを抜き差ししないでください。感電の原因となります。
	電源プラグは根元まで確実に差し込んでください。差込みが不完全ですと、感電や発熱による火災の原因となります。傷んだプラグ・緩んだコンセントは使用しないでください。
	長期間ご使用にならないときは、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。火災の原因となります。
	電源プラグやフットコントローラーを抜くときは、まず電源スイッチを切り、必ずプラグの部分を持って抜いてください。コード部分を引っ張って抜くとコードが傷つき、火災・感電の原因となります。

	<p>電源コードを傷つけたり、破損したり、加工したり、無理に曲げたり、引っ張ったり、ねじったり、たばねたりしないでください。また、重い物を載せたり、加熱したりすると電源コードが破損し、火災・感電の原因となります。</p> <p>電源コードまたは電源プラグが破損したときはミシンの使用をやめてお買い上げの販売店にご連絡ください。</p>
	<p>ミシン本体の換気口をふさがないでください。換気口は必ず壁から 30 cm 以上離して使用し、換気口やフットコントローラーに糸くずやほこりがたまらないようにしてください。</p>
	<p>ぐらついた台の上や傾いたところなど、不安定な場所には置かないでください。バランスが崩れて倒れたり、落下などしてけがをする原因となります。落下しやすい場所でのミシンのご使用、保管はしないでください。</p>
	<p>以下の場所に設置、保管しないでください。故障の原因となります。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 温度が著しく高くなる場所</li> <li>• 温度が著しく低くなる場所</li> <li>• 急激に温度が変化する場所</li> <li>• 湿気、湯気の多い場所</li> <li>• 火気や熱器具、冷暖房機器などに近い場所</li> <li>• 野外や直射日光の当たる場所</li> <li>• ほこり、油煙の多い場所</li> </ul>
	<p>フットコントローラーの上に物をのせないでください。 けが、故障の原因となります。</p>
	<p>お客様ご自身での分解、改造はしないでください。 指定以外の内部の点検・調整・清掃・修理は販売店にご依頼ください。</p>
	<p>ミシンを操作するときにはかま部などカバー類を閉じてください。 けがの原因となります。</p>
	<p>ミシンの縫製中は、針から目を離さないようにし、針、はずみ車（プーリー）、天びんなど、すべての動いている部分に手を近づけないでください。 けがの原因となります。</p>
	<p>曲がった針は絶対に使用しないでください。 針折れの原因となります。</p>
	<p>縫製中に布を無理に引っ張ったり、押したりしないでください。 けが、針折れの原因になります。</p>
	<p>お子様の玩具としては使用しないでください。 お子様がミシンをご使用になるときや、お子様の近くでご使用されるときは、特に安全に注意してご使用してください。</p>



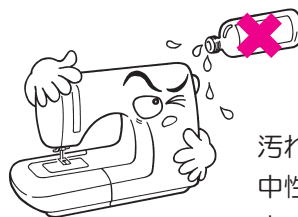
	<p>下記のことを行うときは、電源スイッチを切り取扱説明書の指示通りに正しく行ってください。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 針、針板、押え、アタッチメントなどを交換するとき。</li> <li>● 下糸をセットするとき。</li> </ul>
	<p>取扱説明書に記載されている整備は、必ず電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。</p>
 	<p>ミシンやフットコントローラーに下記の異常があるときは、速やかに使用を停止し、販売店にて点検、修理、調整をお受けください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。お客様による修理は危険ですから絶対にしないでください。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 煙が出ている。</li> <li>● 正常に作動しないとき。</li> <li>● 落下などにより破損したとき。</li> <li>● 水に濡れたとき。</li> <li>● 電源コード、プラグ類が破損、劣化したとき。</li> <li>● 異常な臭い、音がするとき。</li> <li>● 異物が入ったとき。</li> </ul>
  	<p>ミシン本体の換気口や内部に異物を入れたり、ドライバーなどを差し込まないでください。高圧部に触れて感電のおそれがあります。万が一異物が入った場合はミシンの使用をやめてお買い上げの販売店にご連絡ください。</p>
	<p>針の下に指などを入れないでください。けがをするおそれがあります。</p>
	<p>ミシン本体には、取扱説明書に記載されている正規部品をご使用ください。他の部品を使用するとけが・故障の原因となります。</p>
	<p>ミシン本体が入っていた袋は、お子様がかぶって遊ばないように、お子様の手の届かないところに保管するか、破棄してください。かぶって遊ぶと窒息のおそれがあります。</p>
	<p>ミシン本体は、必ずハンドル（取っ手）を持って持ち運びをしてください。他の部分を持つとこわれたりすべって落としたりして、けがの原因になります。</p>
	<p>リッパーで穴を開ける方向に、手や指を置かないでください。すべったときにけがをするおそれがあります。本来の使用目的以外での使用はしないでください。</p>
	<p>布地と糸と針の組み合わせは、「布地に合った糸と針の選び方」の説明表に従って適切な組み合わせでご使用ください。 組み合わせが適切でない場合、特に厚い布地（デニムなど）を細い針（11番以下）でぬうと針が折れ、思わぬ怪我をする可能性があります。</p>
	<p>上糸、下糸などに関する操作については取扱説明書の指示通りに正しく行ってください。取扱を誤ると縫製中に糸がらみなどを発生し、針が折れたり、曲がったりするおそれがあります。</p>

## その他のご注意

- 直射日光が当たる場所、湿気が多い場所には置かないでください。



- シンナーなどの溶剤でふかないでください。

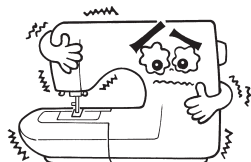


汚れたときは、やわらかい布に中性洗剤を少量つけて、よくふきとってください。

このミシンはマイクロコンピューター、半導体電子部品や精密な電子回路を内蔵していますので、下記の状態がおこる場合があります。ご注意ください。

- 5℃～40℃の範囲でお使いください。

温度がいちじろしく低い場合、正常に動かないことがあります。



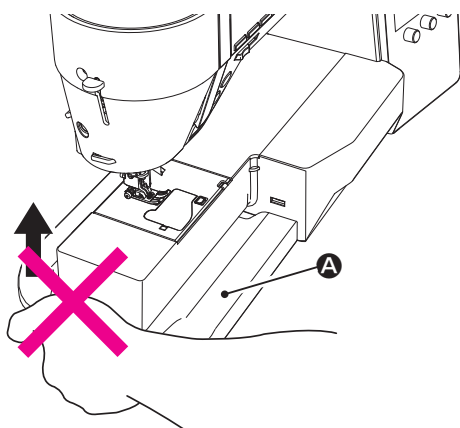
- 長時間のゆっくりぬいを続ける、あるいは高温環境下で長時間ぬい続けると異常発熱を防ぐため、安全装置が働き、ミシンが止まるようになっています。このとき、スタート・ストップボタンは光りません。

約10分で安全装置が復帰して正常にご使用できます。

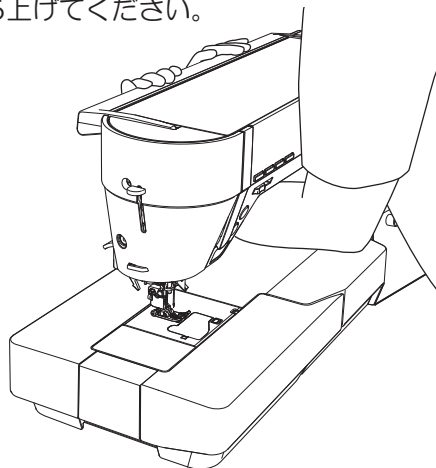


- ミシンを移動するときは、取っ手を持ってください。

ミシンを持ち上げるときは、**A**部を持たないでください。



ミシンが重い場合は、アーム部分に腕を入れて持ち上げてください。



## この機器のネットワークモードでの使用時の注意事項

本製品は 2.4GHz 帯を使用しています。この周波数帯では電子レンジ等の産業・科学・医療用機器のほか、他の同種無線局、工場の製造ライン等で使用される免許を要する移動体識別用構内無線局、免許を要しない特定の小電力無線局、アマチュア無線局（免許を要する無線局）等（以下「他の無線局」と略す）が運用されています。

1. 本製品を使用する前に、近くで「他の無線局」が運用されていないことを確認してください。
2. 万一、本製品と「他の無線局」に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合には、速やかに使用場所を変えるか、電波の発射を停止してください。
3. その他、この機器から「他の無線局」に対して有害な電波干渉の実例が発生した場合など何かお困りのことが起きたときは、相談窓口へお問い合わせください。

2.4DS/OF4

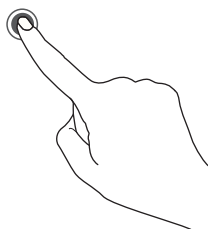
- 2.4 : 2400 MHz 帯を利用する無線設備を表します。  
DS/OF : 変調方式が DS-SS/OFDM、であることを示します。  
4 : 想定される与干渉距離が 40 m 以下であることを示します。

IEEE802.11b/g/n

## 画面の基本操作方法

### ●タッチ

画面を指先で 1 回叩く



### ●ピンチ

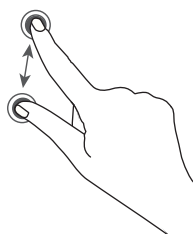
2 本の指でつまむようにする

#### ・ピンチイン

2 本の指の間隔を狭める

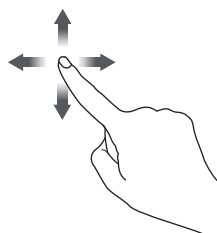
#### ・ピンチアウト

2 本の指の間隔を広くする



### ●スワイプ

画面に触れ、その指先をスライドさせる

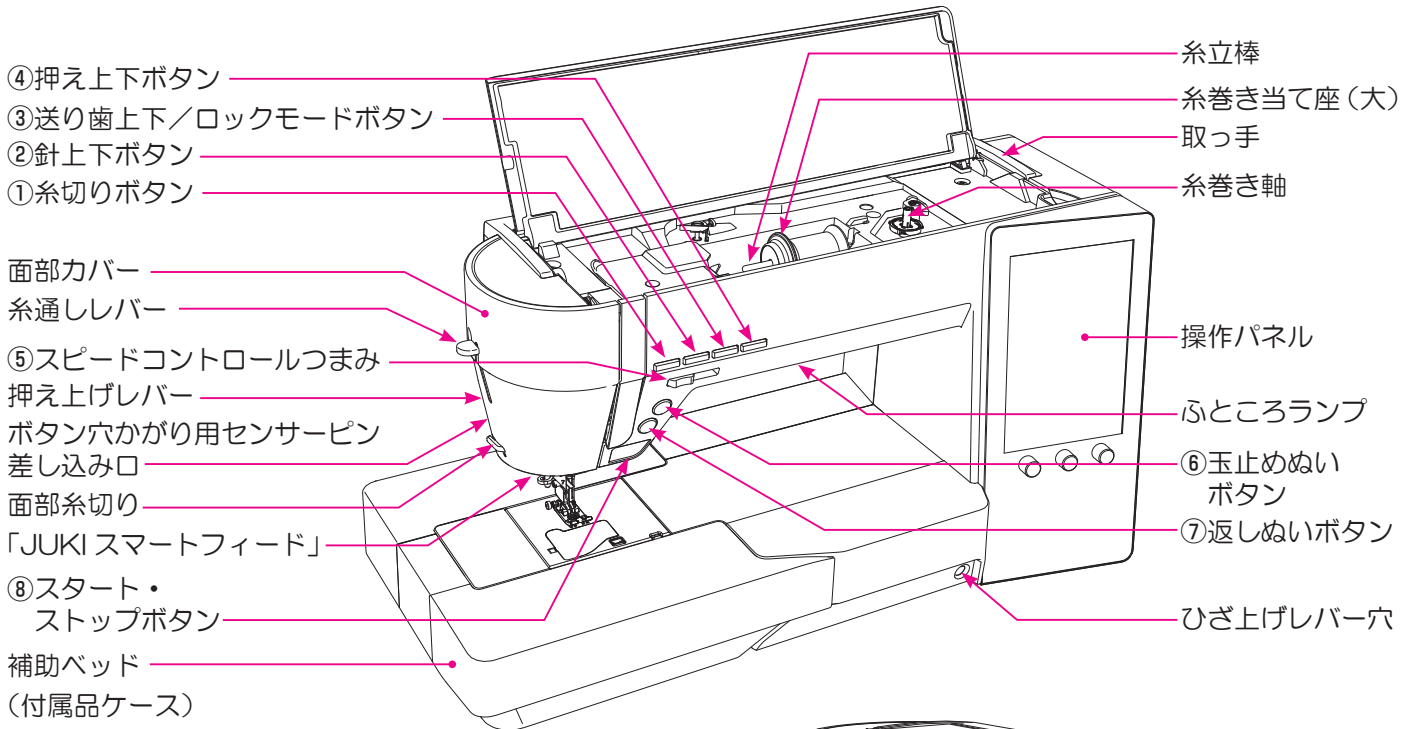


# 目次

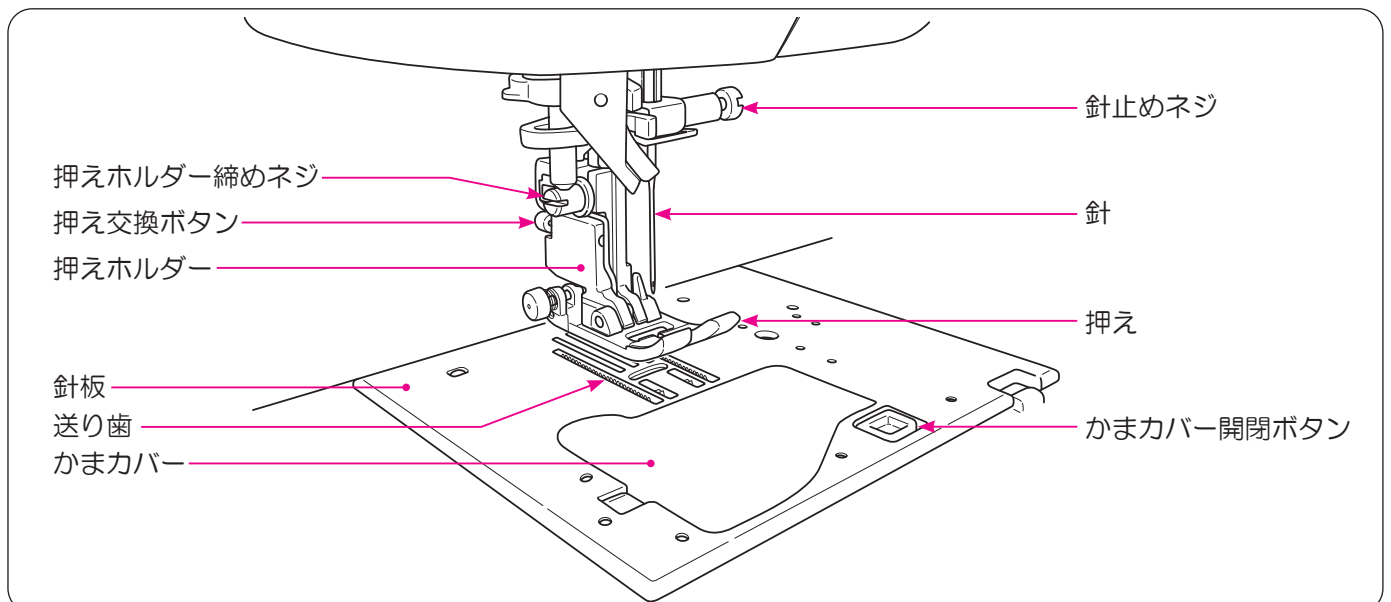
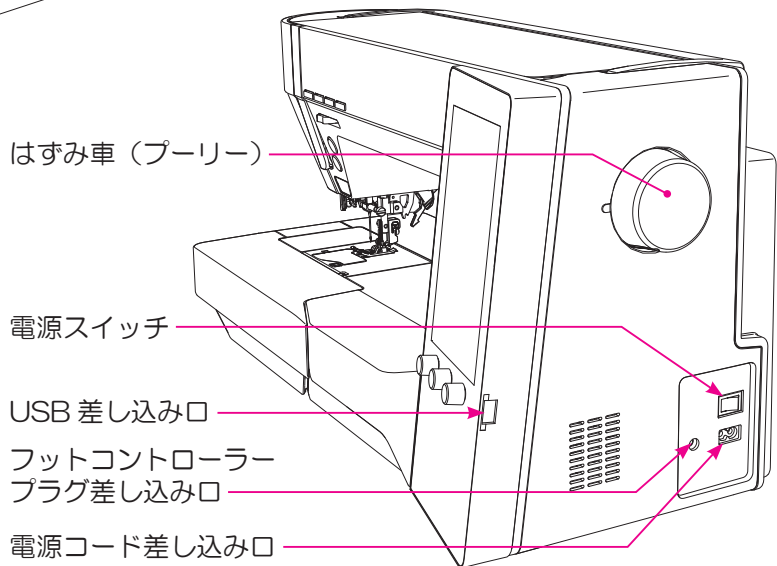
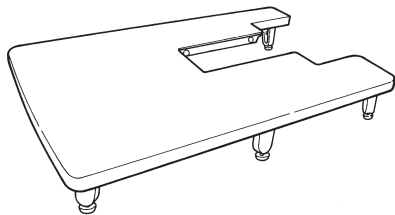
安全にご使用していただくために.....	1	5. 模様ぬいの設定.....	45
目次.....	7	5.1. シングルモード/ コンビネーションモード.....	45
1. 各部のなまえとはたらき.....	9	5.1.1. シングルモード.....	45
1.1. 操作ボタン.....	10	5.1.2. コンビネーションモード.....	46
1.2. 操作パネル.....	11	5.2. シングルモードでの 模様の種類と選び方.....	47
2. 付属品.....	13	5.2.1. 実用.....	47
3. セットアップ.....	15	5.2.2. ボタン穴かがり.....	49
3.1. ワイドテーブルの取り付け.....	15	5.2.3. アップリケ.....	50
3.2. フットスイッチの位置変更.....	16	6.2.4. テーパリング.....	50
3.3. ひざ上げレバーの取り付け.....	16	5.2.5. キルトライン.....	51
4. 基本設定・基本操作.....	17	5.2.6. スカラップ.....	51
4.1. 電源の入れ方.....	17	5.2.7. ワンポイント.....	52
4.2. 速さの調節.....	19	5.2.8. かざり.....	53
4.3. 押えの上げ下げ.....	20	5.2.9. ヴィンテージ.....	54
4.4. 押えの交換.....	21	5.2.10. フェザー・レース.....	54
4.5. 「JUKI スマートフィード」の セットと解除.....	23	5.2.11. 文字.....	55
4.6. 針板・送り歯の交換.....	24	5.3. コンビネーションモードでの 模様の組み合わせ.....	56
4.7. 針板ガイドの使い方.....	25	5.4. 編集機能の種類と使い方.....	59
4.8. 針の交換.....	26	5.4.1. 模様反転.....	60
4.9. 布地に合った糸と針の選び方.....	27	5.4.2. 模様間隔設定.....	61
4.10. 下糸の準備.....	28	5.4.3. 設定リセット.....	61
4.11. 上糸の準備.....	32	5.4.4. 模様データの書き出し・取り込み.....	62
4.12. 糸調子の合わせ方.....	37		
4.13. 押え圧の設定.....	39		
4.14. 微量押え上げ高さ設定.....	39		
4.15. 自動止めぬい糸切り押え上げ設定.....	40		
4.16. 針基線位置を変えるとき.....	41		
4.17. ぬい目の幅を変えるとき.....	42		
4.18. ぬい目の長さを変えるとき.....	43		
4.19. 針停止位置設定.....	44		
4.20. ピボット設定.....	44		

6. ソーイング.....	63	7. パネル操作.....	103
6.1. 直線ぬい.....	63	7.1. サポート.....	103
6.2. ファスナーつけ.....	68	7.2. 設定.....	104
6.3. パッチワークピーシング (ぬい合わせ).....	69	① ダーニング調整.....	105
6.4. 裁ち目かがり.....	70	② 針停止位置.....	106
6.5. ブラインドステッチ (まつりぬい).....	71	③ ピボット.....	106
6.6. シェルタック.....	74	④ 音量.....	107
6.7. かん止め.....	75	⑤ 明るさ.....	107
6.8. アイレット.....	77	⑥ 速度.....	108
6.9. かざりぬい.....	78	⑦ 押え上げ高さ.....	108
6.10. レース/フェザー/重ね並べ合わせ (ブラックワーク) 模様.....	79	⑧ セーフティ解除.....	109
6.11. スカラップ.....	80	⑨ フットスイッチ設定.....	109
6.12. ランダム模様.....	81	⑩ 2本針.....	110
6.13. テーパリング.....	82	⑪ 無線 LAN.....	111
6.14. ボタン穴かがりぬい.....	85	⑫ 初期化.....	112
6.15. 手動ボタン穴かがり (2ステップ).....	92	⑬ ソフトウェアバージョン表示.....	112
6.16. ボタン付け.....	94	⑭ ミシン LOG 表示.....	115
6.17. キルティング (フリーモーション).....	95	⑮ 言語.....	116
6.18. ハンドステッチ.....	97	⑯ ユーザー補助 (表示白黒反転).....	116
6.19. キルティング (棒定規).....	98	⑰ シャットダウン.....	117
6.20. エロンゲーション.....	99	7.3. ソーイング.....	118
6.21. 落としキルト.....	100	7.4. 履歴.....	118
6.22. キルトスリーブ付け.....	101	7.5. JUKI Sewing Net.....	118
		8. メッセージ一覧.....	119
		9. ミシンのお手入れ.....	124
		10. 別売品のご紹介.....	125
		11. 故障かな・・・というときは.....	127
		12. 模様一覧.....	129
		アフターサービスと保証.....	裏表紙
		仕様表.....	裏表紙

# 1. 各部のなまえとはたらき



ワイドテーブル




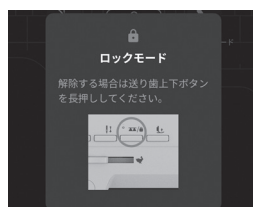


## 1.1. 操作ボタン

		なまえ	はたらき
①		糸切りボタン	ぬい終わった後にボタンを押すと、上糸、下糸を自動的に切ります。 糸切り後、針は上で停止します。 2本針設定時は糸切りボタンを押しても作動しません。
②		針上下ボタン	ミシンが止まっているときにボタンを押すと、針の位置が切り替わります。 上にあるときは下に、下にあるときは上に切り替わります。 長押しすると、低速でぬうことができます。
③		送り歯上下/ ロックモードボタン	ミシンが止まっているときにボタンを押すと、送り歯の位置が切り替わります。 ランプ点灯：送り歯下位置 ランプ消灯：送り歯上位置 ※1 ボタンを長押しすると、全ての操作を無効（ロックモード）にできます。もう一度長押しすると解除されます。
④		押え上下ボタン	ミシンが止まっているときにボタンを押すと、押えの位置が切り替わります。 上にあるときは下に、下にあるときは上に切り替わります。
⑤		スピードコントロール つまみ	ぬう速さは、スピードコントロールつまみで自由に調節できます。 右に動かすと速く、左に動かすと遅くなります。 フットコントローラーを使用するときは、速度の上限を設定できます。
⑥		玉止めぬいボタン	ボタンを押すと、玉止めぬいをします。 模様ぬいの途中でボタンを押すと、模様のワンサイクル・ワンポイントの最後までぬって止まります。
⑦		返しぬいボタン	直線・ジグザグ模様：ボタンを押している間だけ、返しぬいをします。 その他の模様：ボタンを押すと、玉止めぬいをします。
⑧		スタート・ストップ ボタン	ボタンを押すと動きだし、スピードコントロールつまみでセットした速さで動きます。再度押すとストップします。 ボタンの色がミシンの状態で変わります。 緑色：スタート可能とぬい途中のとき 赤色：スタート不可能のとき 橙色：模様ぬいの途中で止めぬいボタンを押したとき（その模様をワンサイクルぬった後、止めぬいをして止まります） ※フットコントローラーを使用する場合 スタート・ストップボタンは ・スタートするとき：作動しません ・ストップするとき：作動します

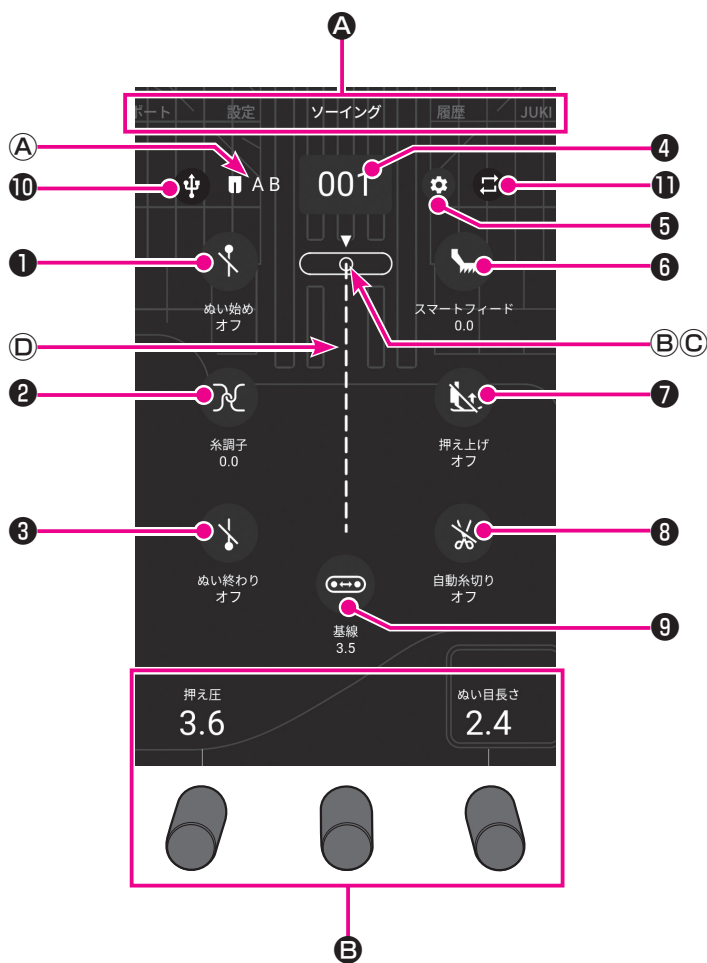
※1 取扱説明書内に記載されている

 **ロックモード** とは、送り歯上下/ロックモードボタンを長押しして、全てのキー操作を無効にすることです。（18ページ参照）





## 1.2. 操作パネル



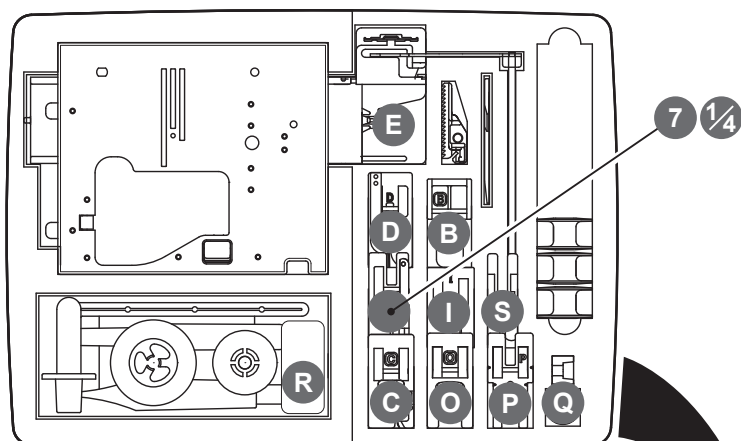
画面には指で触れてください。

設定を変更すると、画面表示の色が変わります。  
 白色：初期設定  
 青色：変更値

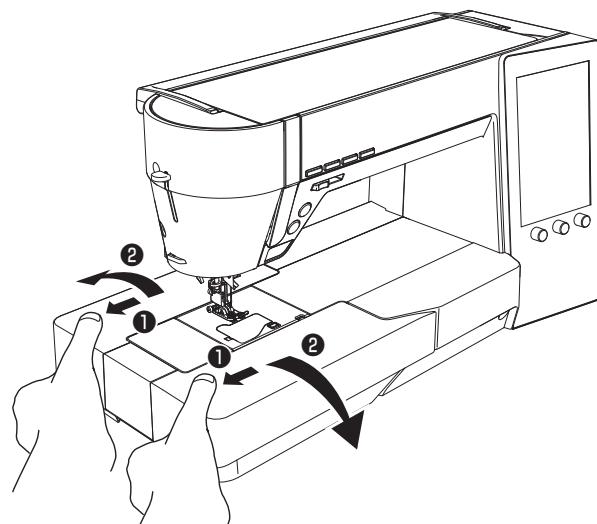
	なまえ	はたらき
A	タブ	目的に合わせて画面を選びます。
	サポート	ミシンの主な使い方を確認することができます。 (103 ページ参照)
	設定	機能 (17 種類) の設定変更ができます。 (104 ページ参照)
	ソージング	模様の選択、調整をすることができます。
	履歴	ぬった模様などの情報が、履歴として残ります。 同じ条件の模様をぬいたい場合は、ここから選ぶことができます。
	JUKI Sewing Net	JUKI ホームページが表示されます。
B	調節ダイヤル	選んだ模様によって、調節ダイヤルの機能が変わります。 画面上に機能と数値が表示されます。 種類：「押え圧」「ぬい目長さ」「ぬい目幅」 「テーパリング長さ」「エロンゲーション」

		なまえ	はたらき
Ⓐ		押え	選択した模様をぬうための押えの種類が表示されます。
Ⓑ		基線位置	基線の位置 ▼ が表示されます。
Ⓒ		針板の種類	針板の種類が表示されます。  : 標準針板  : 直線用針板
Ⓓ	-	模様表示	これからぬう、現在ぬっている模様が表示されます。
①		ぬい始め止めぬい アイコン	ぬい始め自動止めぬいを設定することができます。  : オフ  : 返しぬい  : 玉止めぬい
②		糸調子アイコン	糸調子を変更するときに押します。 模様を選び直すと初期設定に戻ります。
③		ぬい終わり止めぬい アイコン	ぬい終わり自動止めぬいを設定することができます。  : オフ  : 返しぬい  : 玉止めぬい
④		模様選択アイコン	模様を選択するときに押します。 選ばれている模様 No. が表示されます。
⑤		模様編集アイコン	模様を編集するときに押します。
⑥		「JUKI スマートフィード」 調整アイコン	「JUKI スマートフィード」の調整をすることができます。
⑦		自動押え上げアイコン	糸切り後の押え上げを設定することができます。  : オフ  : オン
⑧		自動糸切りアイコン	止めぬい糸切りを設定することができます。  : オフ  : オン
⑨		針基線アイコン	針基線を変更するときに押します。
⑩		USB アイコン	USB メモリが差し込まれているとき、模様編集画面に表示されます。 アイコンを押すと、[取り込み][書き出し]ができます。
⑪	 	繰り返しぬいアイコン	コンビネーション模様を繰り返しぬう、あるいはシングル模様を 1 サイクル分だけぬう設定ができます。 1 サイクル分だけぬう場合は 1 と表示されます。 初期設定 シングル模様：繰り返し コンビネーション模様：1

## 2. 付属品

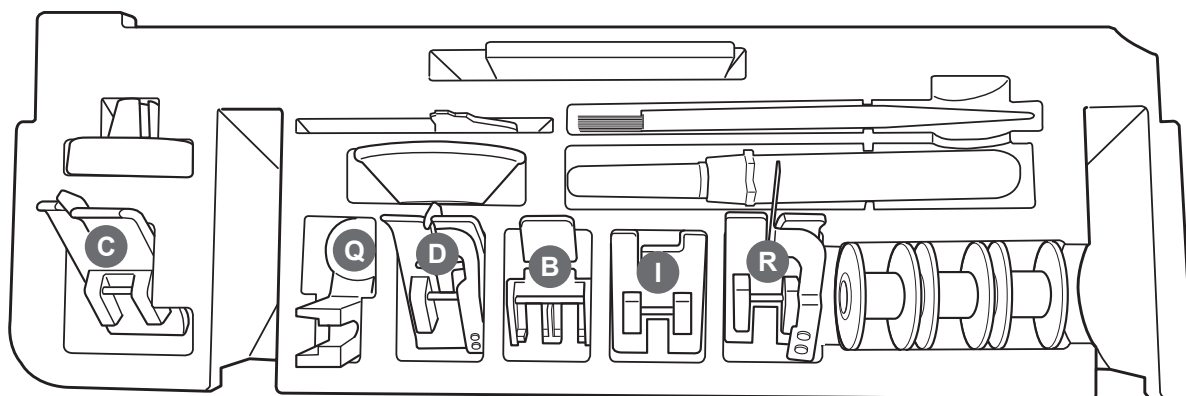


付属品ボックス



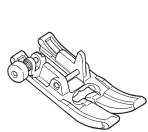
補助ベッドのカバーは、  
①側に少し引いてから②側に開きます。

付属品ボックスのアクセサリは、補助ベッド内に  
収納することもできます。  
収納方法（収納場所）は下図を参考にしてください。



補助ベッド内

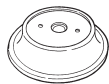
●ミシンにセットされています。



基本押え (A)

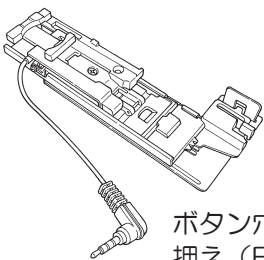


ボビン (1 個)

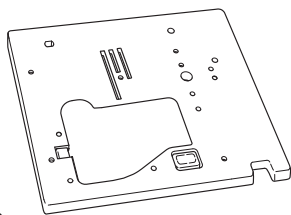


糸巻き当て座 (大)

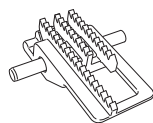
●付属品ボックスの中に入っています。



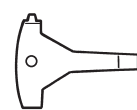
ボタン穴かがり  
押え (E)



直線用針板



直線用送り歯



専用ドライバー



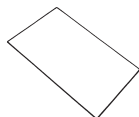
棒定規



ボビン (3 個)



補助糸立棒

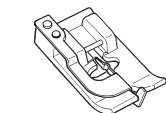


針セット

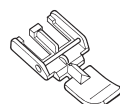
HA × 1 : 11 番 (1 本)  
          : 14 番 (1 本)  
          : 16 番 (1 本)  
ニット : 11 番 (1 本)



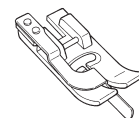
リッパー (糸ほどき)



ブラインド  
ステッチ押え  
(D)



ファスナー押え (B)



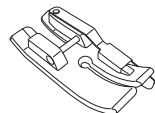
落としぬい押え (R)



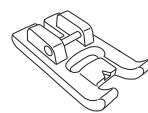
掃除用ブラシ



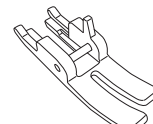
糸巻き当て座 (小)



7mm ガイド押え (7)  
または  
1/4" ガイド押え (1/4)



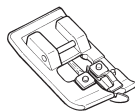
手動ボタン穴  
かがり押え (I)



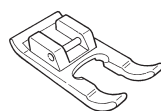
直線押え (S)



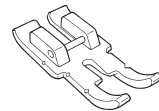
糸巻き当て座 (中)



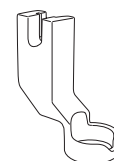
裁ち目かがり  
押え (C)



オープン押え (O)

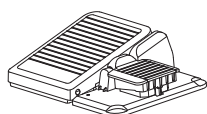


パッチワーク  
押え (P)



キルト押え  
(ルーラー用) (Q)

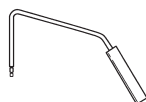
●梱包の中に入っています。



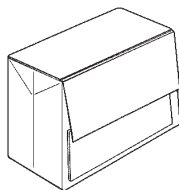
フットコントローラー



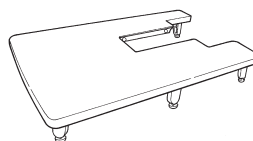
電源コード



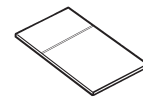
ひざ上げレバー



ミシンカバー



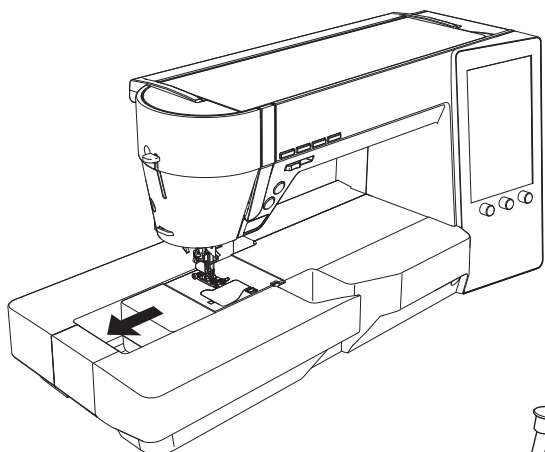
ワイドテーブル



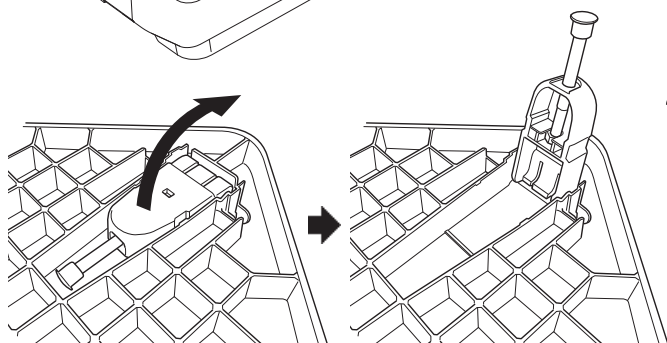
クイックマニュアル  
(本書)

## 3. セットアップ

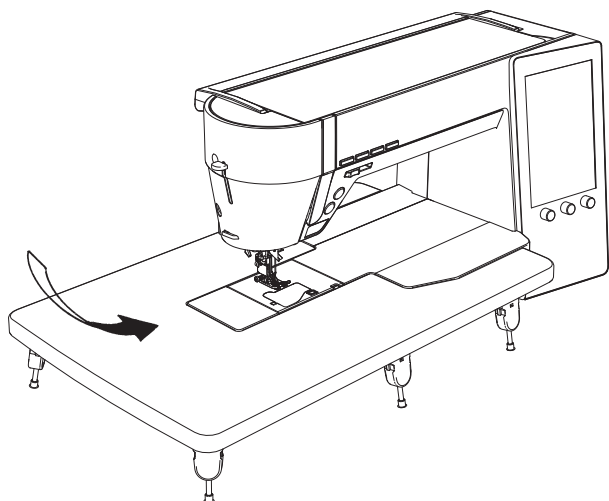
### 3.1. ワイドテーブルの取り付け



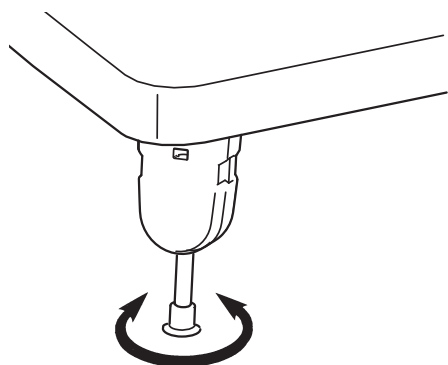
**1** 補助ベッドを左へ引き出します。



**2** ワイドテーブルの足をカチッというまで立ち上げます。



**3** ワイドテーブルをミシンに取り付けます。  
ミシンのフリーアーム部に、はめ込みます。



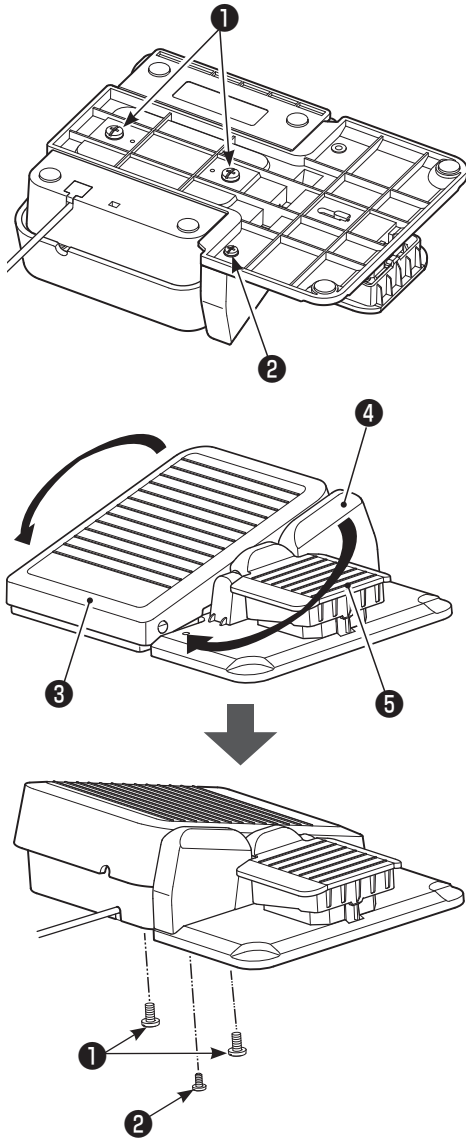
**4** 足の高さを調整し、ミシン本体とテーブル面が平らになるようセットします。



- テーブルの上に重いものを乗せないでください。
- テーブルをミシンに取り付けた状態でミシンを移動させないでください。

## 3.2. フットスイッチの位置変更

ペダルに対して、フットスイッチの左右位置を変更することができます。  
好みの位置でご使用ください。



**注意**

フットスイッチの位置を変更するときは、  
コントローラーのプラグを抜いてください。

**1**

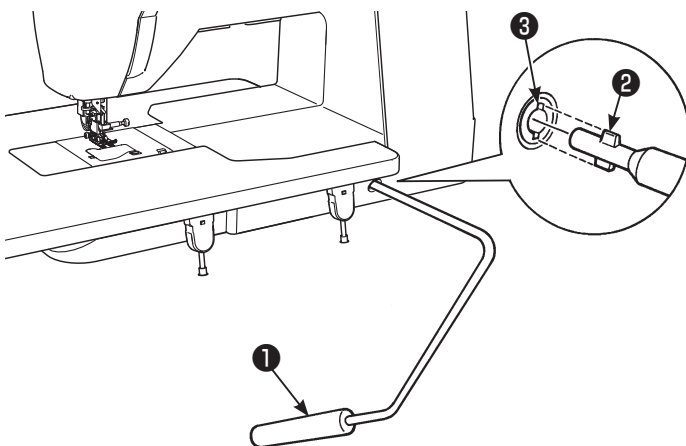
ペダル止めネジ①、ブロック止めネジ②を外  
します。

**2**

ペダル③とブロック④を逆向きにして反対側  
に取り付け、ペダル止めネジ、ブロック止め  
ネジを締めます。

⑤フットスイッチ

## 3.3. ひざ上げレバーの取り付け



ひざ上げレバー①の凸部②を取り付け穴の凹部③  
に合わせ、差し込みます。

## 4. 基本設定・基本操作

### 4.1. 電源の入れ方

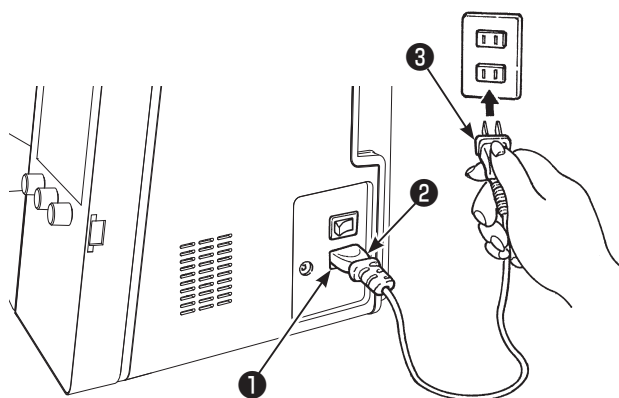
#### 警告

- 電源は、一般家庭用交流電流 100V でご使用ください。
- ミシンを使わないときは、電源スイッチを「切」(O側)にして、電源プラグをコンセントから抜いてください。感電・火災の原因になります。

#### ■コードをつなぐ

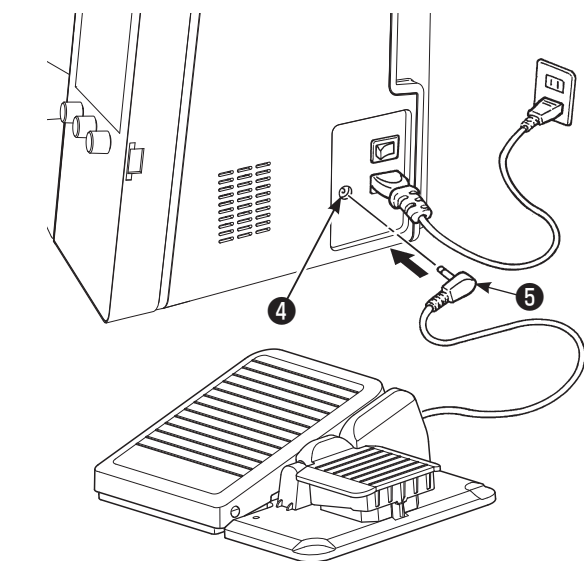


①電源スイッチを「切」(O側)にします。



#### ●スタート・ストップボタンを使用する場合

②電源コード差し込み口①に電源コード②を差し、電源プラグ③をコンセントに差し込みます。



#### ●フットコントローラーを使用する場合

- ②フットコントローラーのプラグ⑤をプラグ差し込み口④に差し込みます。
- ③電源コード差し込み口に電源コードを差し、電源プラグをコンセントに差し込みます。

※フットコントローラーを使用する場合

スタート・ストップボタンは

- スタートするとき：作動しません
- ストップするとき：作動します

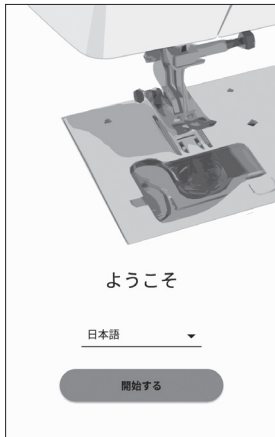


## ■電源を入れる



電源スイッチを「入」(I側)にします。

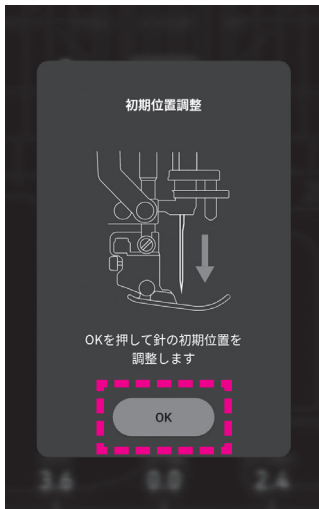
※電源を入れると、押えが自動的に上がりますのでご注意ください。



初めてミシンの電源を入れたとき、左の画面が表示されます。

- ① 表示言語を選択します。
- ② [開始する]を押します。
- ③ 接続する無線LANを設定します。
- ④ 無線LANのパスワードを入力します。
- ⑤ [接続]を押します。

※次に電源を入れるときには表示されません。



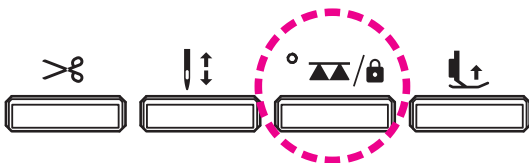
電源を入れると左の画面が表示されます。

[OK]を押すと針が動き、左の画面が消えます。



針の下に指を入れないでください

## ● ロックモード



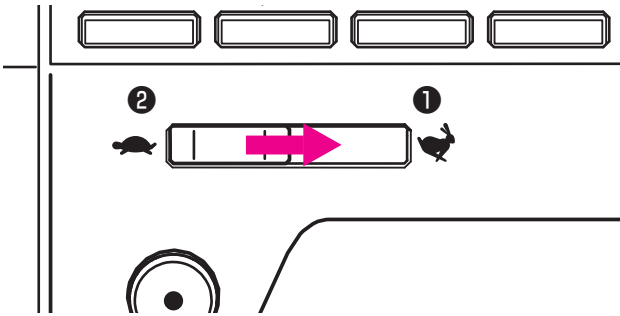
ロックモードにすると、全ての操作ボタン、操作キー、パネルの操作が無効になり、ミシンも動かなくなります。押え上げレバーと膝上げレバーは、動きます。

押え交換、針板・送り歯交換、針の交換、ミシンのお手入れのときは、安全のためにミシンの電源を切って行いますが、ロックモードにすることで、ミシンが現在設定されている状態を保持したまま準備を行うことができます。

- ロックモードにする場合は、送り歯上下/ロックモードボタンを2秒長押しします。
- ロックモードを解除する場合は、送り歯上下/ロックモードボタンを2秒長押しします。
- ロックモードはミシンの電源を切ると解除されます。

## 4.2. 速さの調節

### ■スピードコントロールつまみ



ぬう速さは、スピードコントロールつまみで自由に調節できます。

- ① : はやくなる
- ② : おそくなる

### ■フットコントローラー

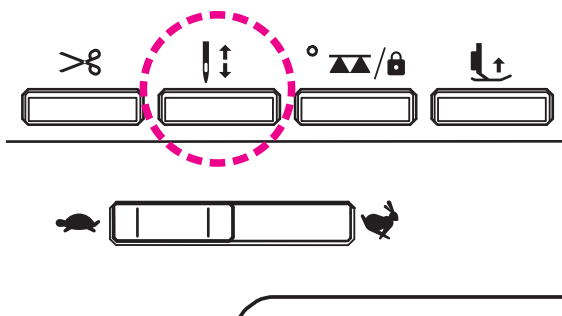


フットコントローラーの踏みかげんでぬう速さが調節できます。スピードコントロールつまみで、速度の上限を設定できます。

- ① 深く踏む → はやくなる
- ② 浅く踏む → おそくなる

※フットコントローラーに糸くずやほこりがたまらないようにしてください。また、フットコントローラーの上に物を置かないようにしてください。けがや故障の原因となります。

### ■低速イン칭ングぬい



針上下スイッチを長押しすると、低速でぬうことができます。



#### 設定 > 速度 ぬい始め速度設定

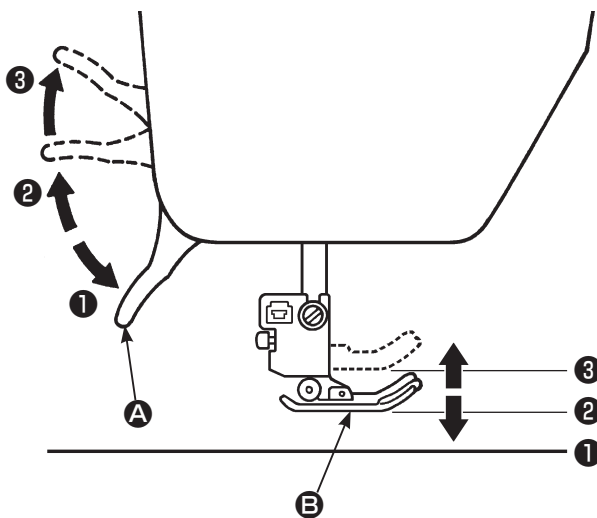
設定で、ぬい始めの速度を変更することができます。  
(108 ページ参照)

#### 設定 > 速度 返しぬい速度設定

設定で、返しぬいの速度を変更することができます。  
(108 ページ参照)

## 4.3. 押えの上げ下げ

### ■押え上げレバー



押え上げレバー **A** で、押え **B** の上げ下げを行います。普通に上げた位置よりさらに上げることもでき、厚物の布地を入れるときに便利です。

押え上げレバーで押えを上げた後も、押え上下ボタンで押えを下げるすることができます。

- ① 下げた位置……………ぬうときは、下げておきます。
- ② 普通に上げた位置……布地の取り出しや、押えの交換のときに上げます。
- ③ さらに上げた位置……二段上げで、厚い布地などが（二段上げ）入れやすくなります。

※針が下がっている位置で二段上げをしようと、押えと針止めネジが当たることがありますのでご注意ください。

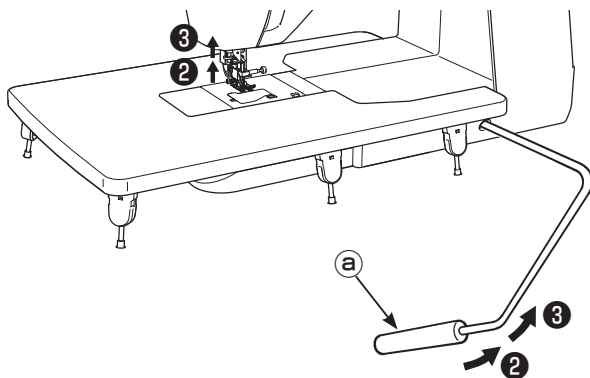
### ■押え上下ボタン



押え上下ボタンを押すと、押えを上げ下げすることができます。（10 ページ参照）

押え上下ボタンで押えを上げた後も、押え上げレバーを一度③の位置まで上げると、押え上げレバーで操作ができるようになります。

### ■ひざ上げレバー



手を使わずにひざを使って押えの上げ下げができます。

ひざ上げレバー **a** を右側に押すと押えが上がり、戻すと押えが下がります。

押え上げレバーと同じように、二段上げができます。

押え上下ボタンで押えを上げた後も、ひざ上げレバーを一番右まで押すと、ひざ上げレバーで操作ができるようになります。

※ぬい途中は、ひざ上げレバーに触れないようにしてください。押えが上がり、模様くずれの原因になります。

#### ●押え上げ時の自動送り歯下げ

ひざ上げレバーで押えを二段上げすると、自動で送り歯が下がります。

布地の出し入れのときに送り歯が引っ掛からないため、出し入れが容易になり、布地にキズも付きません。

### ■自動押え上げ

設定>ピボット

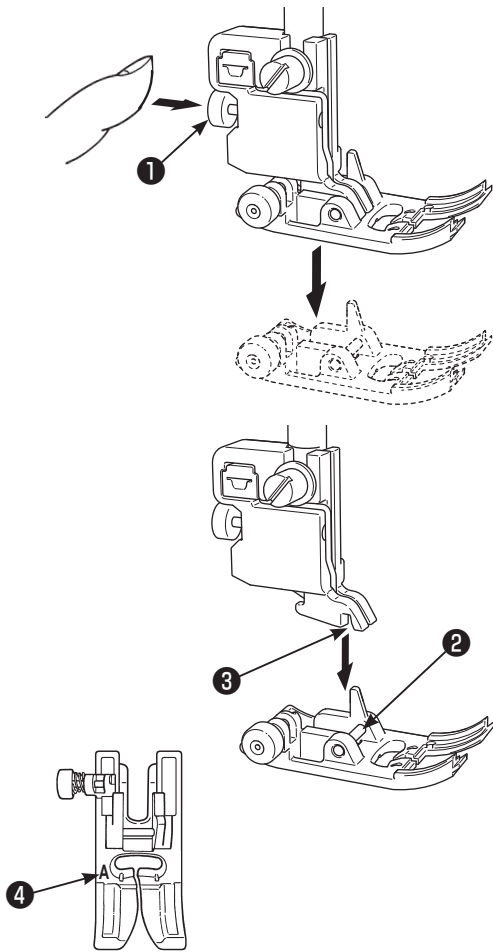
ミシンを止めたとき、針が下停止のまま自動で押えが上がるように設定できます。

ソーイング> （糸切り後押え上げ設定）

糸切り後に自動で押えを上げることができます。

## 4.4. 押えの交換

### ■押えの取りかえ



### ⚠ ロックモード

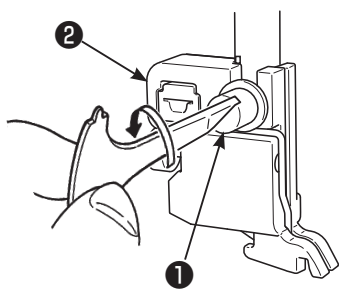
#### ●押えの外し方

針を上げます。  
押え上げレバーを上げます。  
押え交換ボタン①を押して、押えを外します。

#### ●押えの取り付け方

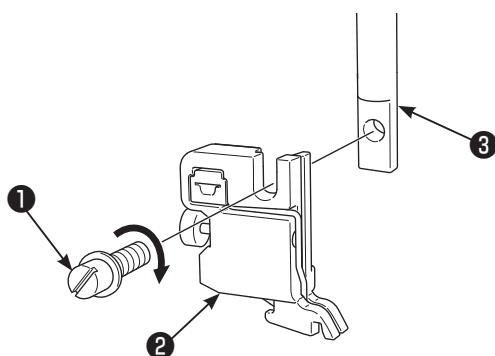
押えのピン②と押えホルダーの溝③を合わせます。  
押え上げレバーを下げます。  
※押え記号④を確認し、模様にあったものを使用します。

### ■押えホルダーの外し方、付け方



#### ●押えホルダーの外し方

針を上げます。  
押えを上げます。  
押えホルダー締めネジ①を左に回して外し、押えホルダー②を外します。



#### ●押えホルダーの取り付け方

押え棒③の取り付け穴に押えホルダー②の穴を合わせます。  
押えホルダー締めネジ①を右に回してしっかり取り付けます。

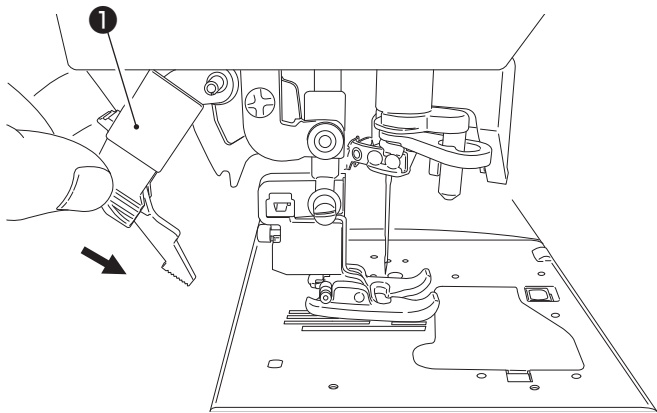
## ■押えの種類と用途

	押え記号	
	A	直線やジグザグをぬうときに使います。 特に厚物をぬうときは、このA押えをご使用ください。
	B	ファスナーをぬいつけるときに使います。
	C	布地のほつれを防止する裁ち目かがり模様をぬうときに使います。
	D	ズボンやスカートの裾、袖口などまつりぬいをぬうときに使います。
	E	自動でボタン穴かがりをぬうときに使います。 左右のバランスや形状をきれいにぬい上げる特殊な機能が備わった押えです。
	I	模様ぬいや文字ぬい、かん止めに使います。 手動のボタン穴かがり模様（模様 No.102, 103）をぬうときにも使います。
	P	針落ち位置（中基線）から 1/4 インチ、1/8 インチの目安になります。
	O	押えの前側が開いているので、針落ち位置が見えやすくなります。
	Q	キルトのフリーモーションをぬうときに使います。 （中基線直線用） ルーラーも使えます。
	R	パッチワークなどに使います。 布地の突き合わせの真ん中をぬうときに、押えの中央のガイドを利用します。
	S	直線用針板を使用するときに使います。
	7	ピーシング用にぬいしろ 7 mm または 1/4 インチのガイドがついています。

## 4.5.「JUKI スマートフィード」のセットと解除

一般にミシンで送りにくい素材（ニット、ジャージー、ビニールクロス、人工皮革など）や、ぬいずれがおこりやすい布地（キルティングなど）をぬうときに使います。

使える模様が限られます。使える模様は「12. 模様一覧」を参照ください。

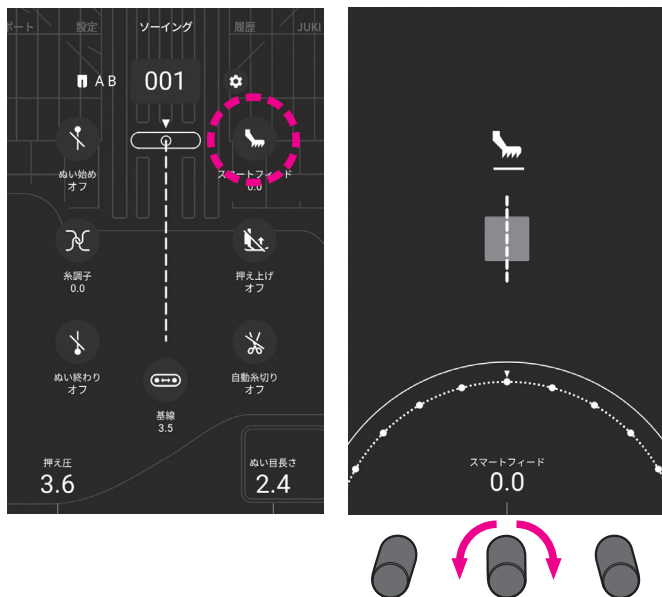


### ●「JUKI スマートフィード」のセット

押えを上げます。

「JUKI スマートフィード」①をつまんで下までしっかり下ろします。

「JUKI スマートフィード」をセットすると画面にアイコンが表示されます。



### ●「JUKI スマートフィード」の調整

 を押します。

目盛り部分を指でスライドさせて「JUKI スマートフィード」の調整をします。

調節ダイヤルを回して調整もできます。

（設定範囲：-5.0～5.0）

上送りの量が  
小さくなります

上送りの量が  
大きくなります



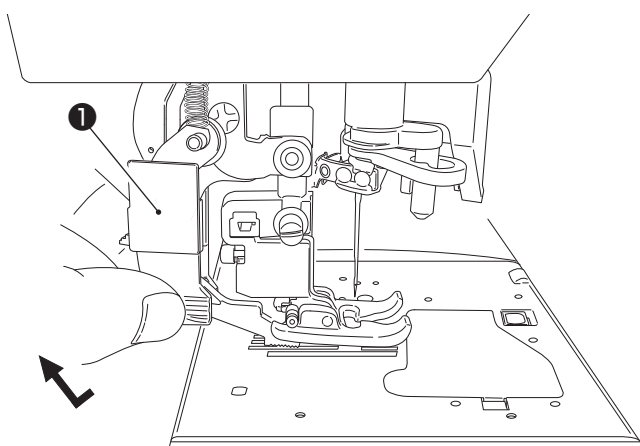
白色：初期設定  
青色：変更値

半円より上にタッチすると設定が確定し、元の画面に戻ります。

### ●「JUKI スマートフィード」の解除

押えを上げます。

「JUKI スマートフィード」①をつまんで下に引き、後方に押し、ゆっくり上に戻します。





## 4.6. 針板・送り歯の交換

通常の針板・送り歯と直線用針板・送り歯を、交換することができます。

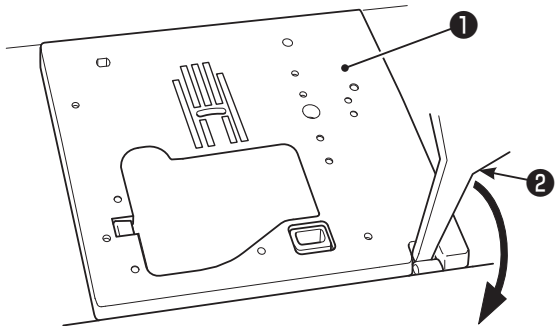
布端からぬい始める場合、直線用の針板・送り歯にすると、布地が穴にもぐり込まずぬいやすくなります。

**⚠ 電源 OFF または ロックモード**

### ●針板の取り外し

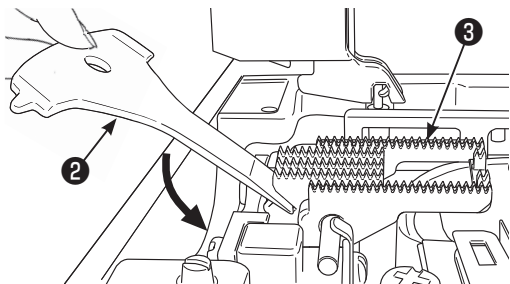
押えと針を取り外します。

針板**①**手前の溝に専用ドライバー**②**を差し込み、押し下げると外れます。



### ●送り歯の取り外し

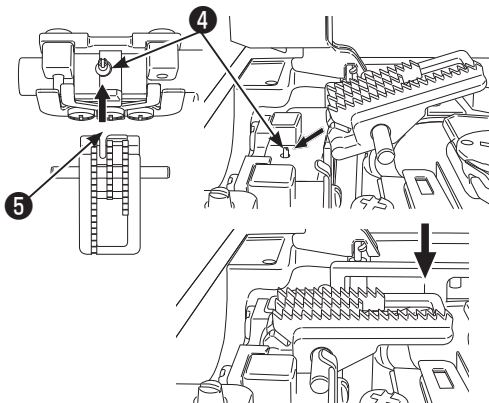
送り歯**③**の後ろにある溝に専用ドライバー**②**を差し込み、押し下げると外れます。



### ●送り歯の取り付け

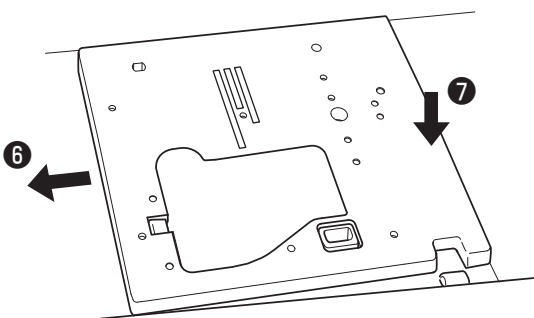
図の角度でピン**④**が送り歯後ろ側の溝**⑤**にはまるように入れます。

送り歯前側を押し下げて送り歯を水平にします。



### ●針板の取り付け

針板左側を下に傾けながら入れ**⑥**、右側中央を押し下げてしっかりはめ込みます**⑦**。



### ●直線用針板で使用できる模様

直線用針板に交換した後は、使用できる模様のみ選択することができます。

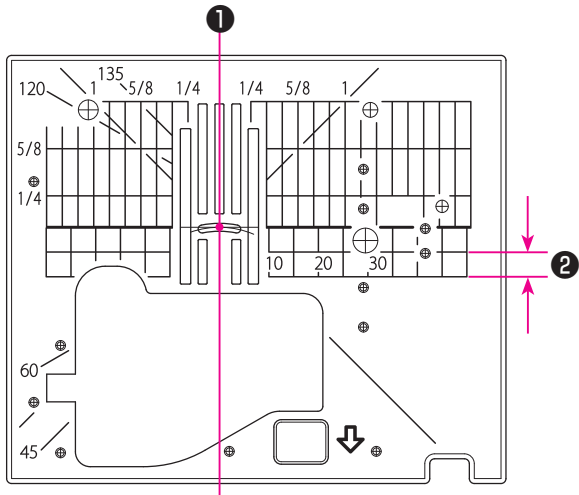
001	004	030	418	419	420



## 4.7. 針板ガイドの使い方

針板には布地のぬい位置を決めるための便利なガイドが表示されています。

### ● 通常の針板



### ● ガイドライン

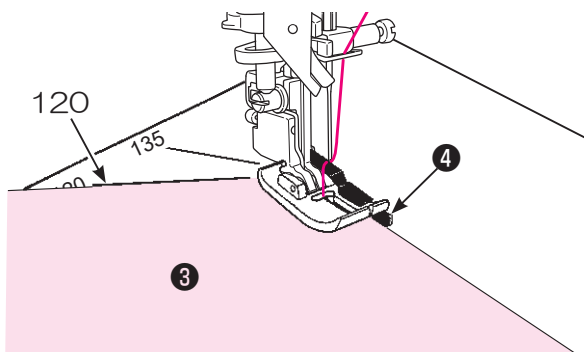
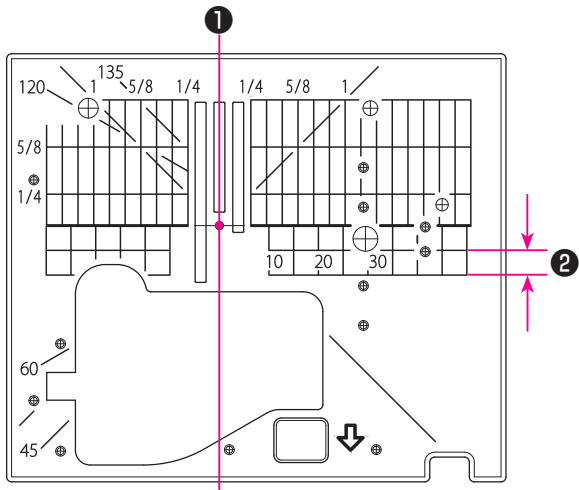
布端を針板のガイドラインに合わせてぬうと、布端から正確な位置をぬうことができます。

- ① 中基線基準
- ② 5mm

※ガイドラインの数字は、針穴中央からガイドラインまでの間隔を「ミリメートル」または、「インチ」で示しています。

10、20、30の数字は mm (ミリメートル)  
1/4、5/8、1の数字は inch (インチ)

### ● 直線用の針板

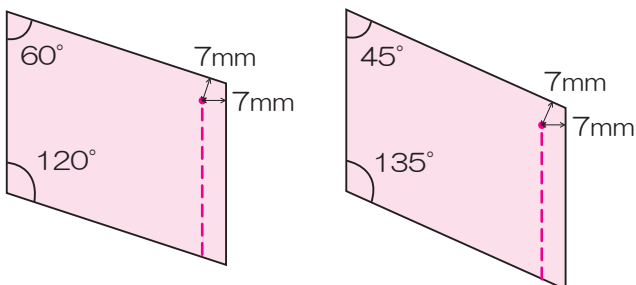


### ● 角度目盛り

角度目盛りはパッチワークのピース作りに使うと便利です。

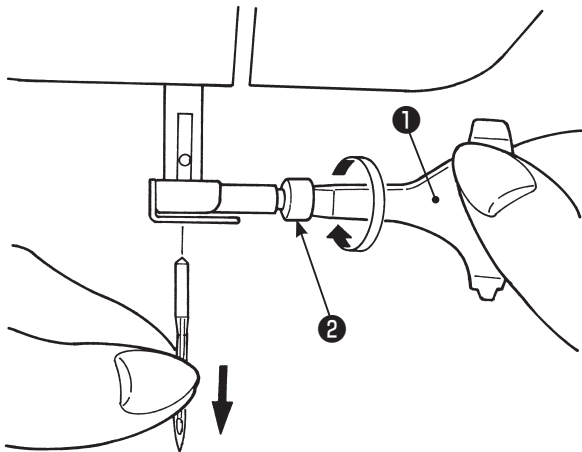
パッチワーク布地（ピース）③の角度と同じ角度目盛りに布端を合わせると、印なしでぬいしろ7mmのぬい始めまたはぬい終わりの位置がわかります。

### ④ ガイド



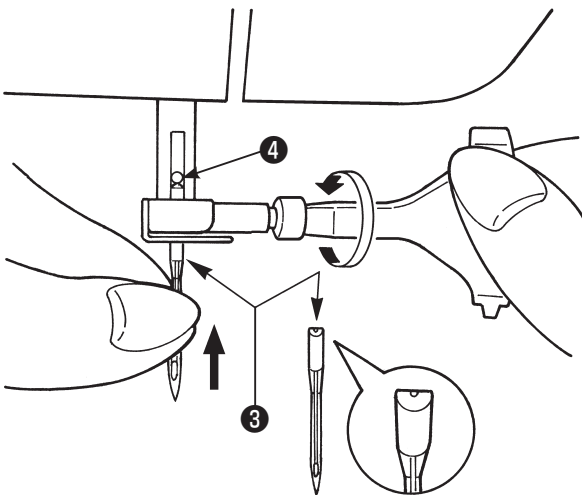
## 4.8. 針の交換

**⚠ 電源 OFF または ロックモード**



### ●針の外し方

針を最上部に上げ、押えを下げます。  
専用ドライバー①で針止めネジ②を手前に1～2回まわしてゆるめ、針を外します。

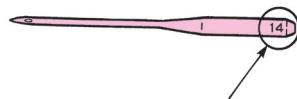


### ●針の取り付け方

針の平らな面を向こう側(③)に向けて、ピン④に当たるまで差し込みます。  
針止めネジを確実に締めます。  
※針が正しい向きでないと、取り付けません

### ●針の選び方

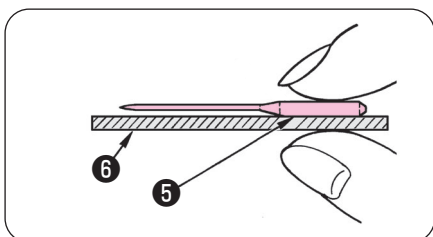
針をお買い求めの際は、  
家庭用ミシン針のHA×1、  
またはHA×1 SP (ニット針)  
を指定してください。



### 太さの番号表示

数字が大きくなると針が太くなります。  
一般的に、厚い布地をぬう場合は太い針、  
薄い布地をぬう場合は細い針を使用します。

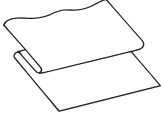

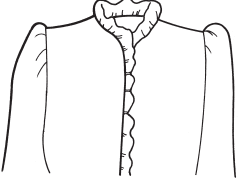
### ●針の調べ方



針の平らな面⑤を平らな物(針板など)⑥に置いたとき、  
すき間が針先まで均等に見えるのが良い針です。  
針先が曲がったり、つぶれているものは使わないようにしてください。

**⚠ 注意：** 針が正しく取り付けられていなかったり、  
曲がった針を使うと、針折れの原因になることがあります。  
ミシンの故障の原因にもなりますので、ご注意ください。

## 4.9. 布地に合った糸と針の選び方

	布地 	ミシン糸 	ミシン針  HAX1
薄地ぬい 	ローン	シルク形状糸 ……80番・90番 スパン糸 ……80番・90番	11番
	ジョーゼット		
	トリコット	スパン糸 ……60番～90番	ニット針 11番
	ウール・化繊布	シルク形状糸 ……80番 スパン糸 ……60番～90番	11～14番
普通地ぬい 	普通木綿・化繊布	スパン糸 ……50番・60番	11～14番
	薄手ジャージー	シルク形状糸 ……50番 スパン糸 ……50番・60番	ニット針 11番
	一般ウール・化繊布	シルク形状糸 ……50番 スパン糸 ……50番・60番	11～14番
厚地ぬい 	デニム	スパン糸 ……30番～50番	14～16番
	ジャージー	シルク形状糸 ……50番 スパン糸 ……50番・60番	ニット針 11～14番
	コート	シルク形状糸 ……50番	11～14番

※ 通常、上糸と下糸は同じ糸を使います。

※ 薄い布地には細い糸と細い針、厚い布地には太い糸と太い針を使います。

※ 針や糸は、実際にぬう布地のはぎれを使って、必ず試しぬいをして確かめます。

※ 伸縮性のある布地（ニット地）や、目とびしやすい化繊地をぬうときは、ニット針を使うと効果があります。

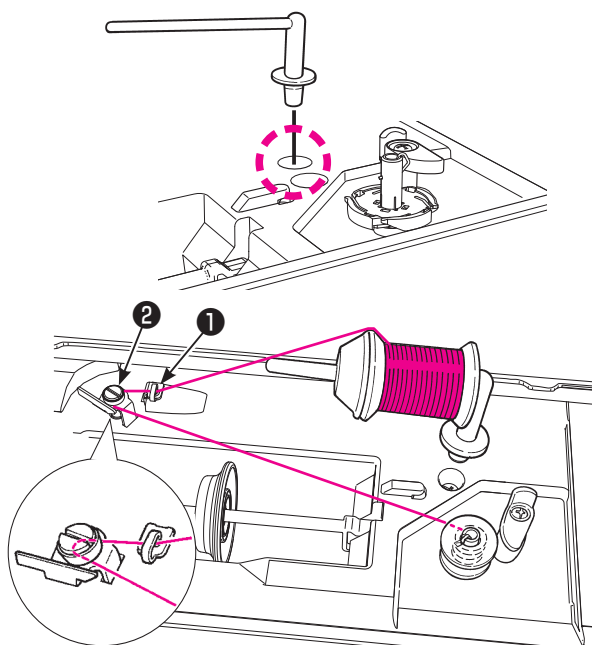
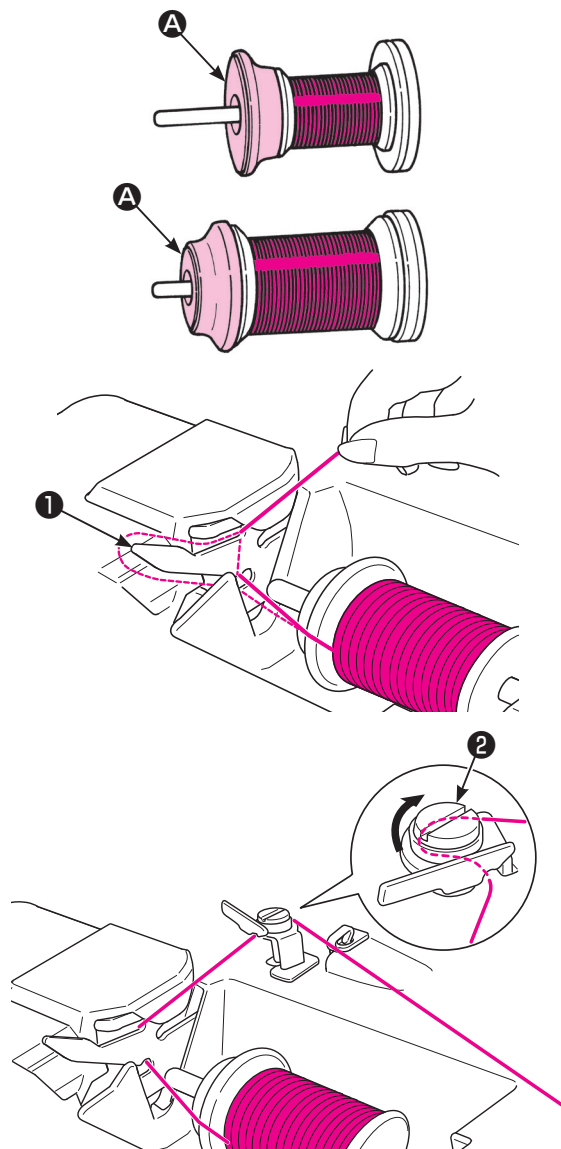
※ 30番～90番の糸をご使用ください。

※ 段部など乗り越えにくい箇所は、手を添えてください。

※ 「キルト模様」「かざり模様」「文字」をぬうときは、ニット針を使うとよりきれいな仕上がりになります。

## 4.10. 下糸の準備

### ■ポビンへの糸巻き



#### ●糸立棒を使う場合

### 1 糸立棒に糸ゴマをセットします。

糸巻き当て座 **A** は大・中・小の3種類あります。糸ゴマのサイズに合わせて選び、向きを変えて使います。

※糸ゴマの糸残りが少ないものは、糸がらみや糸抜けの原因になる可能性がありますのでご注意ください。

### 2 糸を糸案内**①**にかけます。

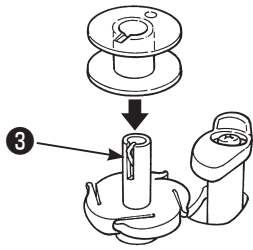
### 3 糸巻き糸案内**②**に糸をかけます。両手で糸を引いて、糸巻き糸案内の奥まで入れます。

#### ●補助糸立棒を使う場合

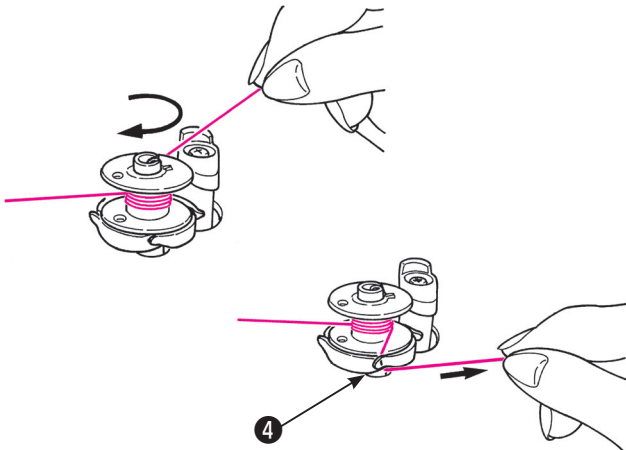
### 1 付属の補助糸立棒を立てます。

### 2 補助糸立棒に糸ゴマをセットします。

### 3 糸を糸案内**①**にかけた後、糸巻き糸案内**②**にかけます。両手で糸を引いて、糸巻き糸案内の奥まで入れます。



**4** ボビンを糸巻き軸③に差し込みます。

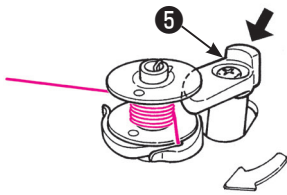


**5** 糸巻き糸案内からの糸がたるまないようにして、ボビンの上部に時計回りに4～5回巻き付けます。

糸の端をボビン受け座のガイド④に引っかけて右に引き、糸を切ります。

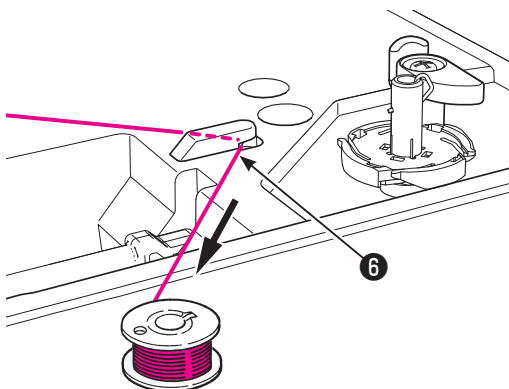


**6** 電源スイッチを入れます。



**7** ボビン押え⑤をボビンの方に押しつけるとボビンが回転し始めます。

※ ボビン押えがスイッチの代わりになっています。ご注意ください。

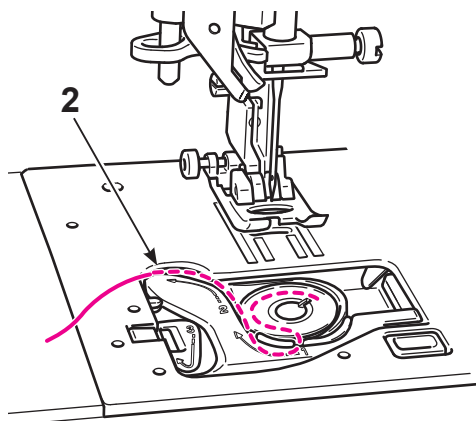
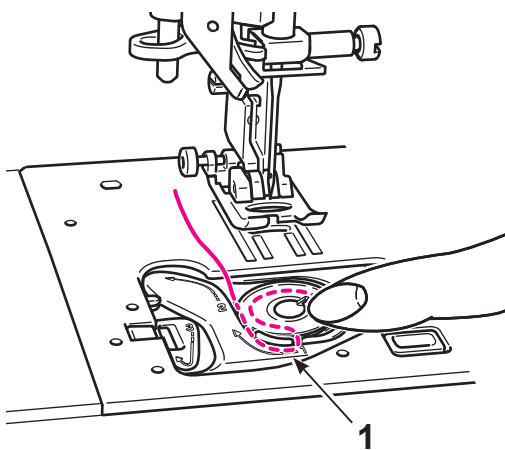
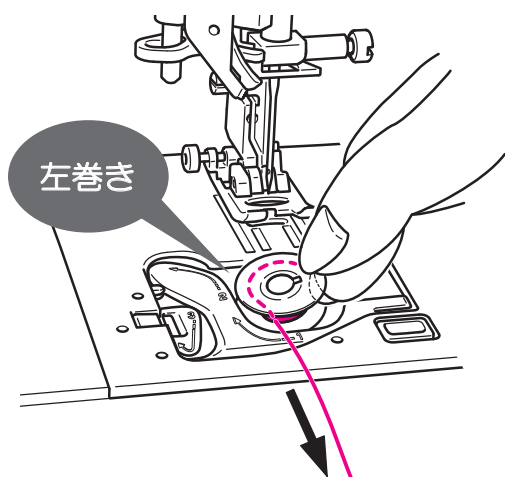
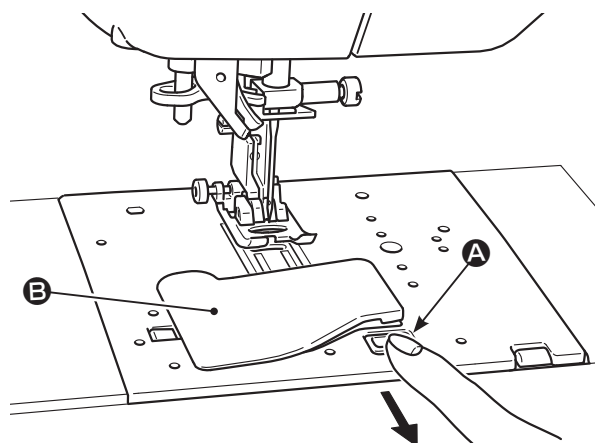


**8** 巻き終わると自動的に止まり、ボビン押えが右に移動して、もとの位置に戻ります。ボビンを糸巻き軸から外して、カッター⑥で糸を切ります。

※ 糸巻き中に糸からみなどで、糸巻きモーターに負荷がかかり回転が下がると、自動的に止まります。

※ 一定の時間連続で回転すると、安全のため、自動的に止まります。

## ■ポビンのセット



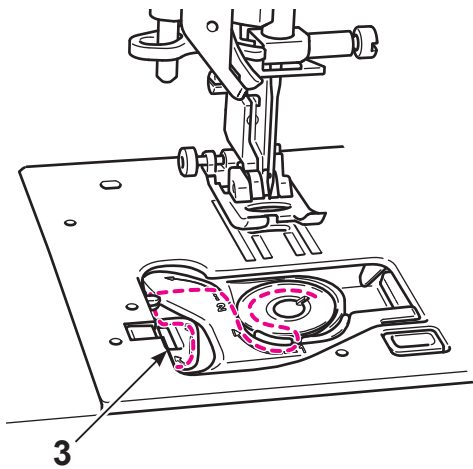
**!** 電源 OFF または ロックモード

**1** かまカバー開閉ボタン **A** を手前に引き、かまカバー **B** を外します。

**2** 糸の端を矢印方向に出し、ポビンを内かまに入れます。  
※ポビンの糸の巻き方向を左巻きにします。

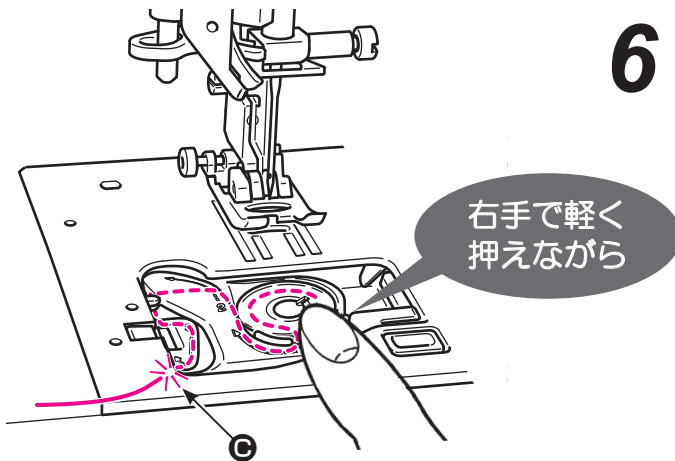
**3** 指でポビンを押えながら糸を引き、手前のみぞ **1** にかけます。

**4** 糸を引きながらガイド **2** にかけます。



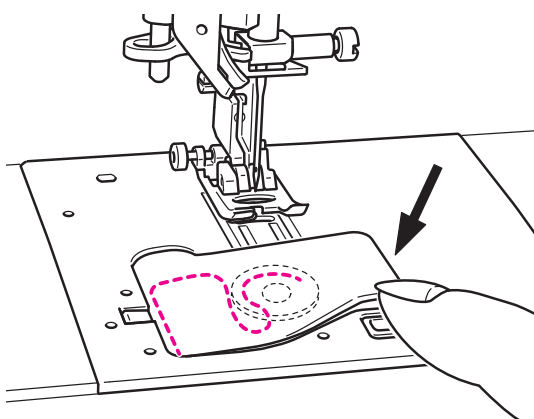
## 5 糸を3にかけます。

※糸を引き出したとき、ポビンは反時計方向に回転します。時計方向に回転した場合、ポビンの向きを上下逆に入れ替えてください。



## 6 ガイドに沿わせて引っ張りながら糸をかけ最後に内蔵カッター⑥で糸を切ります。

右手で軽く  
押えながら



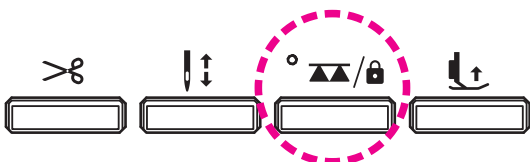
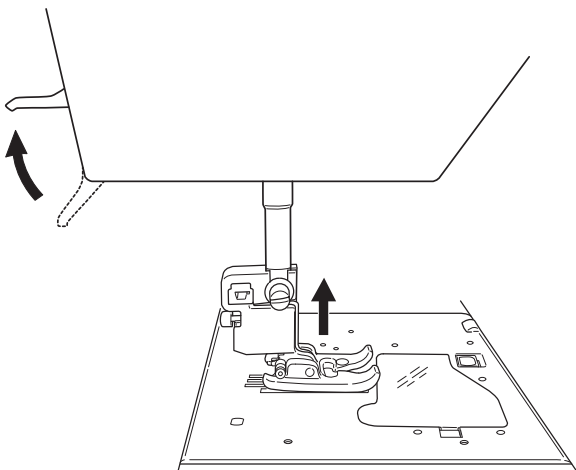
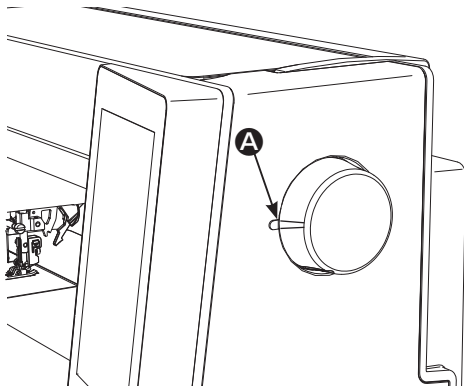
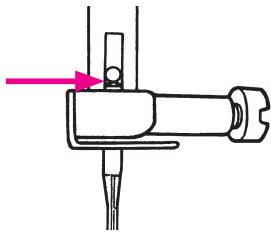
## 7 かまカバーを閉じます。

下糸は引き出さず、このままぬい始めることができますが、下糸を引き出してからぬう場合は上糸を通して「下糸の引き上げ方」(36ページ)を参照し、下糸を引き出してください。



## 4.11. 上糸の準備

### ■準備



**⚠** 電源 OFF

**1** 針が一番上まで突き当たっていることを確認します。

針が正しく取り付いていないと、針自動糸通しで糸が通りません。

※針は 11 番～ 16 番、糸は 30 番～ 90 番をご使用ください。

**2** はずみ車の指標 **A** を合わせます。

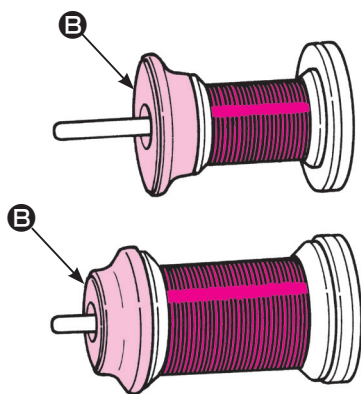
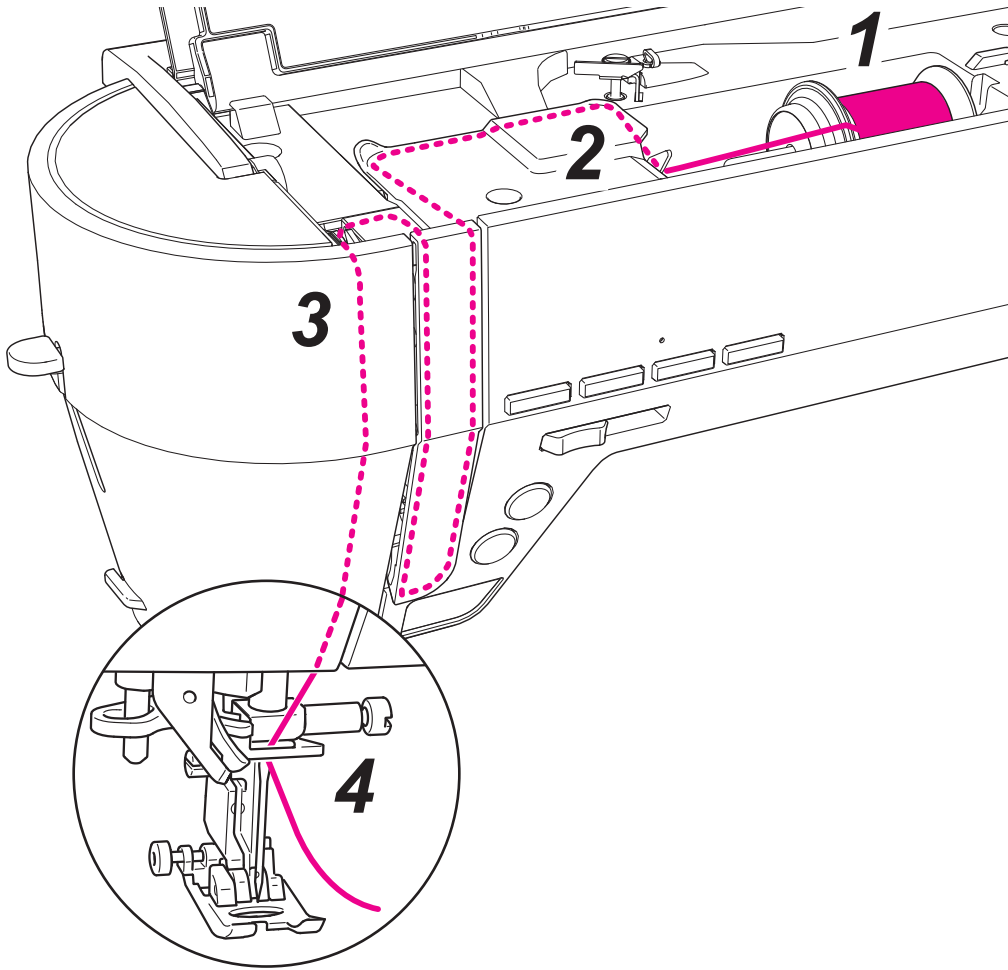
**3** 電源スイッチを入れます。

**4** 押えを上げます。

※電源が入り、かつ押えが上がっていないと、正しく糸をかけることができません。

**5** 送り歯上下/ロックモードボタンを長押ししてロックモードにします。

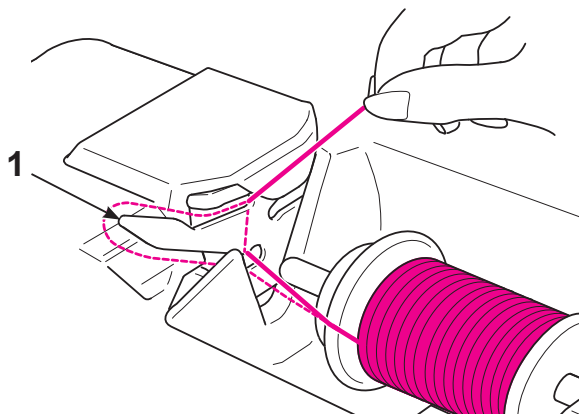
## ■上糸かけ



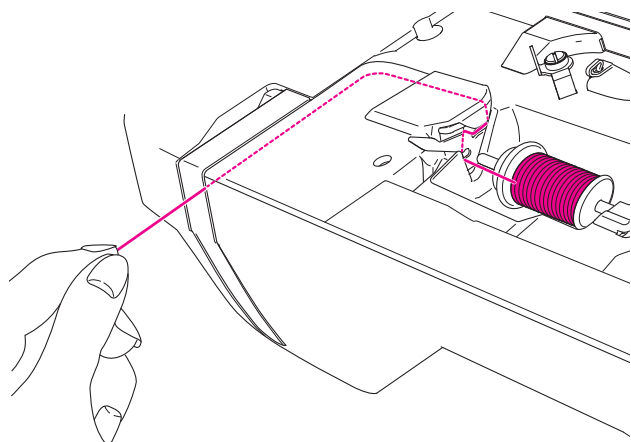
### 1 糸立棒に糸ゴマをセットします。

糸巻き当て座 **B** は大・中・小の3種類あります。  
糸ゴマのサイズに合わせて選び、向きを変えて使いま  
す。

※糸ゴマの糸残りが少ないものは、糸がらみや糸  
抜けの原因になる可能性がありますのでご注意  
ください。

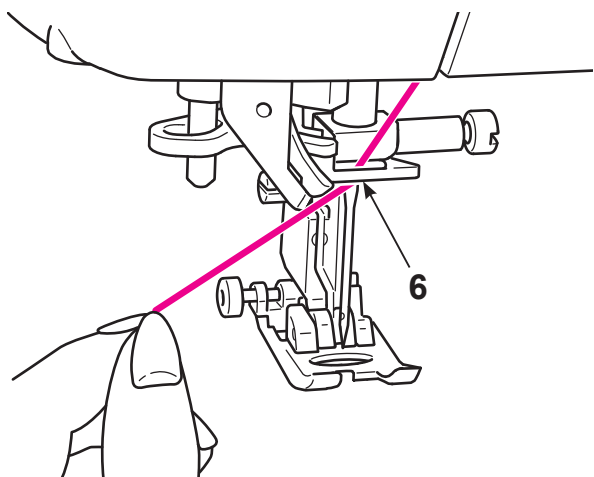
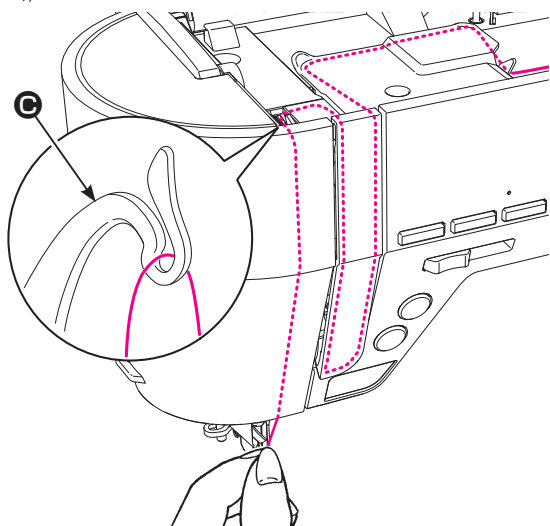


**2** 糸を1にかけます。



**3** 糸の先端をもち、矢印に沿ってかけていきます。

※天びん③に糸が正しくかかっているか確認してください。



**4** 6は、右側からかけます。

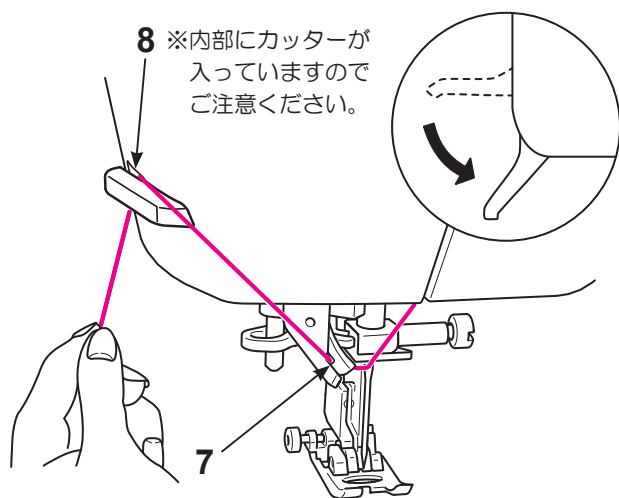
上糸は10 cmくらい引き出しておきます。

## ■針自動糸通し

**⚠** 電源 OFF または ロックモード

※ 2本針を使用するときには、針自動糸通しは使えません。

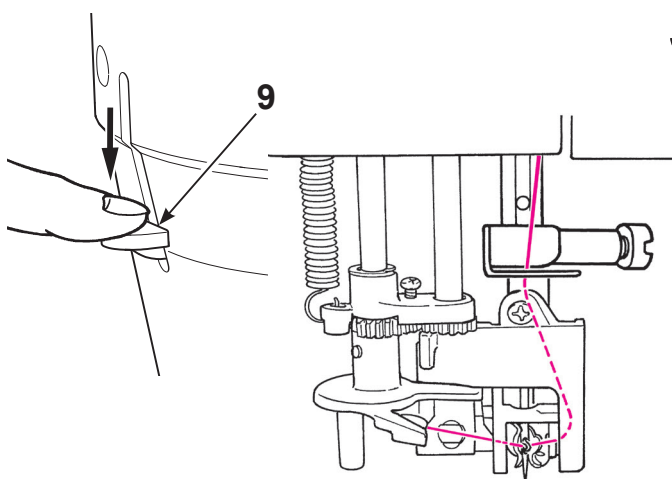
※ 針は 11 番～16 番、糸は 30 番～90 番をご使用ください。



**1** 押えを押え上げレバーで下げます。

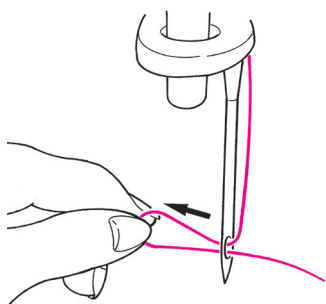
※ 押えが上がったままですと、糸が通らないことがあります。

**2** 糸を 7 につけ、面部糸切り 8 で切ります。

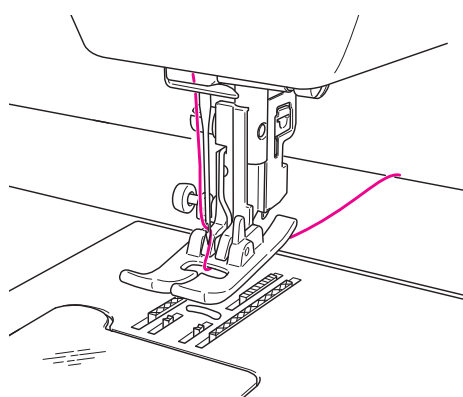


**3** 糸通しレバー 9 を、止まるまでいっぱいに下げます。

※ レバーはゆっくりと下げてください。



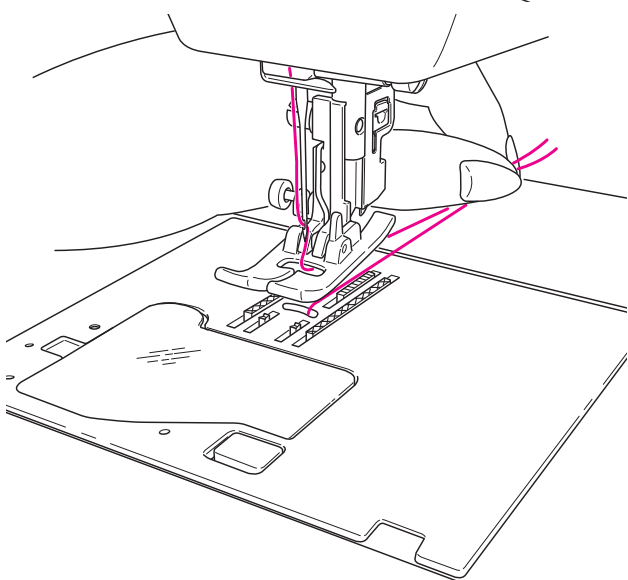
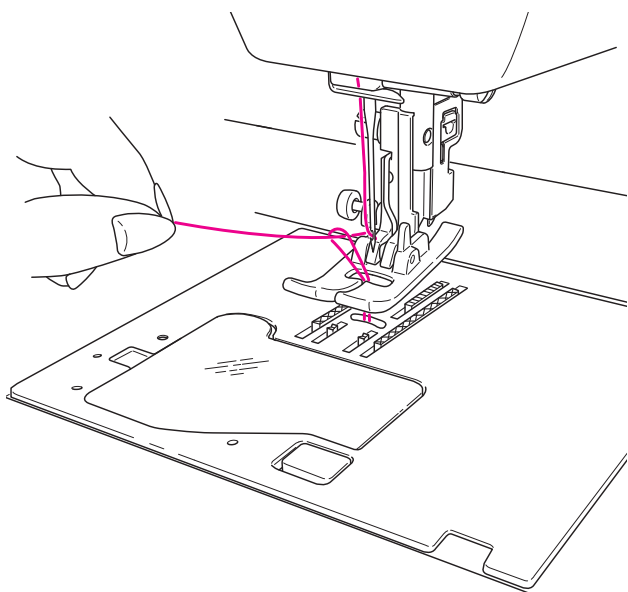
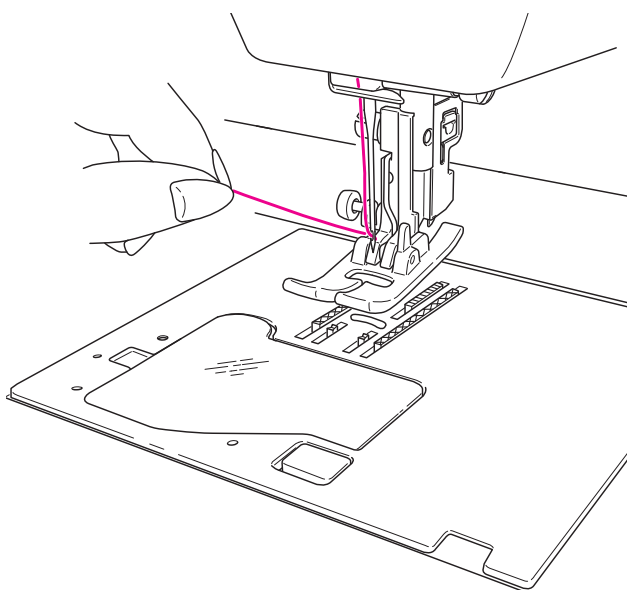
**4** 糸の輪を後ろ側へ引き、針穴から糸の端を引き出します。



**5** 押えを上げ、押えの下から糸を後ろへ 10cm くらい引き出します。

下糸を引き上げなくても  
ぬい始められます！

## ■下糸の引き上げ方



下糸は引き出さず、ぬうことができますが  
下糸を引き出してぬう場合は、下記のように  
行ってください。

**1** 押えを上げ、上糸の端を軽くもちます。

**2** はずみ車を手前に回し、針を上下させます。  
上糸を軽く引くと、下糸の輪が引き出され  
ます。

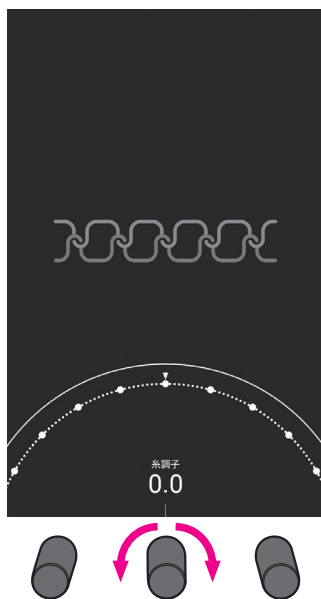
**3** 上・下糸を押えの下から向こう側に  
約10cmほど引き出して、そろえて  
おきます。

## 4.12. 糸調子の合わせ方

糸調子が正しく調整されていないと、ぬい目のバランスがくずれ、布地にしわが寄ったり、糸が切れたりします。デフォルトの値はほとんどの布地に適応します。素材やぬい方によって、糸調子設定画面にて設定します。ぬっている途中でも、糸調子を変更することができます。



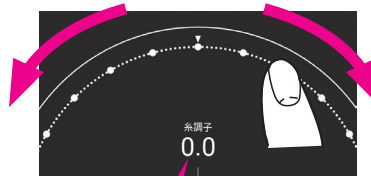
 を押します。



目盛り部分を指でスライドさせて、糸調子の調整をします。調節ダイヤルを回して調整もできます。(設定範囲：-5.0～5.0)

上糸調子が弱くなります

上糸調子が強くなります

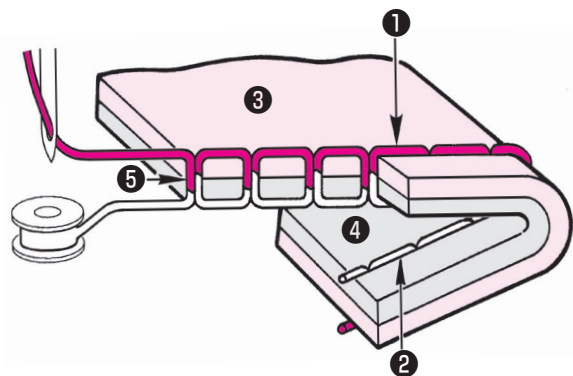


白色：初期設定  
青色：変更値

半円より上にタッチすると設定が確定し、元の画面に戻ります。

※模様を新たに選択すると、初期設定に戻ります。

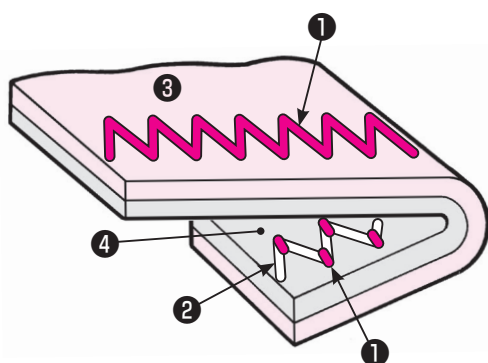
## ■ バランスのとれた糸調子



### <直線ぬい のとき>

上糸と下糸が布地のほぼ中央でまじわります。

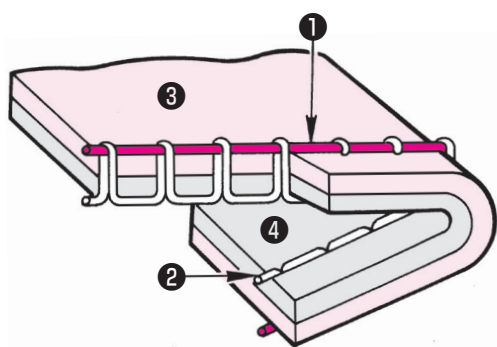
- ① 上糸
- ② 下糸
- ③ 布地（表）
- ④ 布地（裏）
- ⑤ 布地の中央



### <ジグザグぬい のとき>

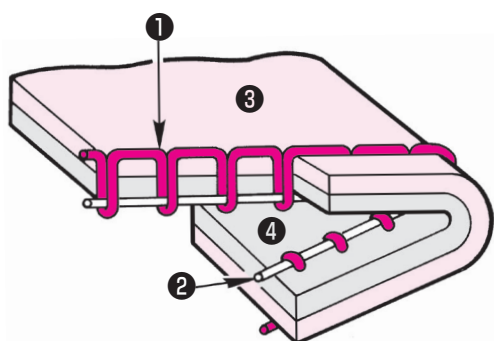
布地の裏側に上糸が少し出るくらいになります。

## ■ 上糸が強すぎる時



下糸が布地の表に引き出されます。  
糸調子の数値を小さく（上糸調子を弱く）します。

## ■ 上糸が弱すぎる時



上糸が布地の裏に引き出されます。  
糸調子の数値を大きく（上糸調子を強く）します。



## 4.13. 押え圧の設定

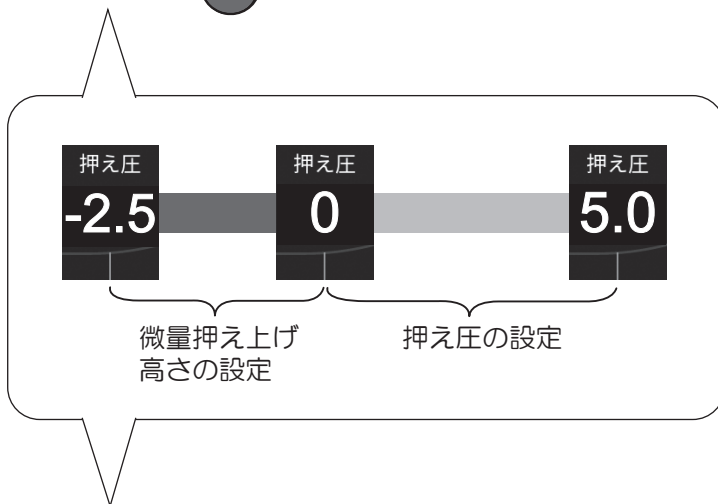
ぬっている途中でも、押え圧を変更することができます。



[ 押え圧 ] 表記下の調節ダイヤルを回して設定します。  
(設定範囲：0～5)

普通ぬいときは、押え圧を「3.6」(初期設定)にします。  
薄手の化繊地や伸縮性の布地をぬうとき、アップリケやキルティング、カーブぬいなど、ぬいずれしやすい場合は、押え圧の数字を小さく(押え圧を弱く)します。

押え圧が弱くなります  
押え圧が強くなります



## 4.14. 微量押え上げ高さ設定

布地の厚さに合わせて押えを浮かせた状態でぬうことができます。

キルティングやベルベットなど、ぬいずれしやすいものをぬうときに使います。

ぬっている途中でも、微量押え上げ高さを変更することができます。



押え高さは押え圧の数値で調整します。

[ 押え圧 ] 表記下の調節ダイヤルを回して設定します。  
(設定範囲：-2.5～0)

押えを浮かせないときは高さを「0」にします。  
調節ダイヤルを回して、布地がほどよく押えられる高さに設定します。マイナスの値が大きいほど押えを高く浮かせられます。

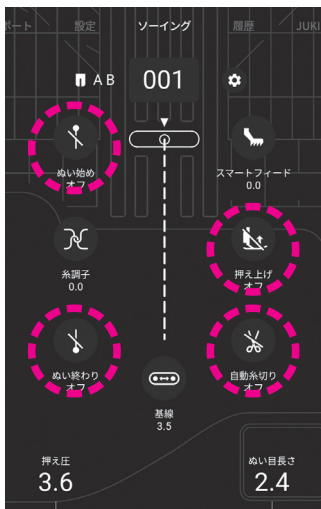
数値が小さくなります  
数値が大きくなります



実際にぬう布地と同じ布地(試しぬい用)をセットし、設定画面で高さを調整して試しぬいをします。  
高く浮かし過ぎると、布地が送られず糸絡みの原因となりますのでご注意ください。

## 4.15. 自動止めぬい糸切り押え上げ設定

ぬい始め、ぬい終わりの止めぬいの設定、ぬい終わりの自動糸切り、糸切り後自動押え上げの設定ができます。



模様を選び、画面上のボタンを押して各動作を設定します。

### ぬい始め止めぬいの設定

3つの中から選択できます。



 : オフ   
  : 返しぬい   
  : 玉止め

### ぬい終わり止めぬいの設定



3つの中から選択できます。

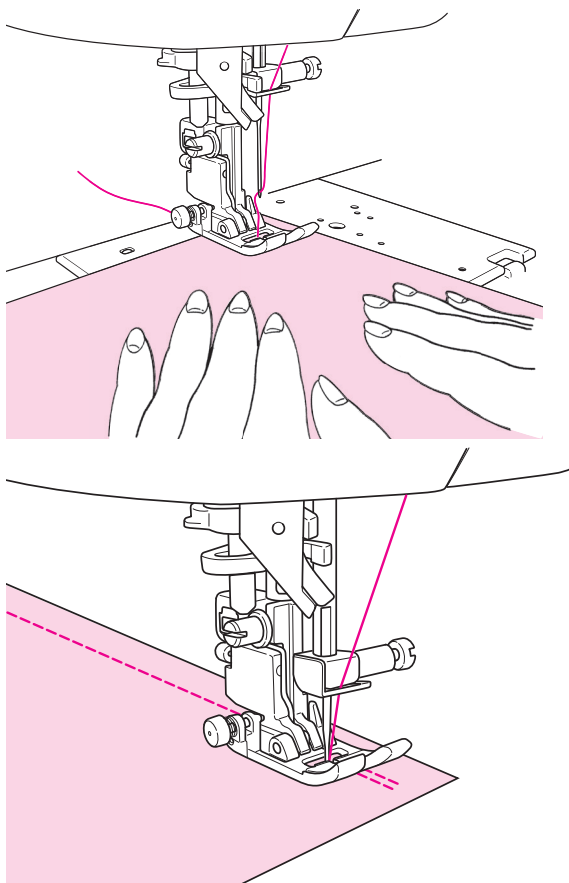
 : オフ   
  : 返しぬい   
  : 玉止め

### 糸切り後押え上げ設定

 : オフ    糸切り後押えを上げません  
 : オン    糸切り後押えを上げます

### 止めぬい糸切り設定

 : オフ    糸切りをしません  
 : オン    糸切りをします



### ●自動止めぬい設定時の

#### ぬい始め

布地をぬい始める位置に入れスタートさせます。  
ぬい始め止めぬい設定をしているときは、返しぬい、止めぬいボタンは作動しません。

#### ぬい終わり

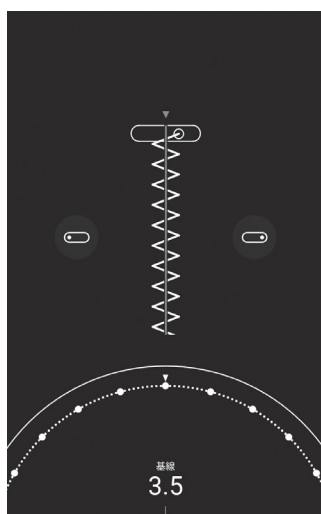
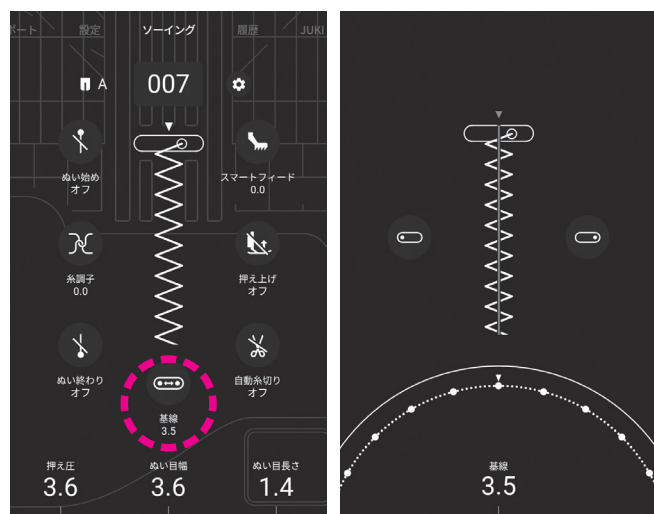
設定している止めぬいに合わせたボタンを押します。

(  /  )

設定している止めぬいと異なるボタンを押した場合、設定している止めぬいが行われます。

## 4.16. 針基線位置を変えるとき

ぬっている途中でも、針基線位置を変更することができます。



 を押します。

目盛り部分を指でスライドさせて、針基線を変えます。  
調節ダイヤルを回して針基線を変えることもできます。

針が左へ移動します      針が右へ移動します



白色：初期設定  
青色：変更値

 を押すと、針が左端へ移動します。

 を押すと、針が右端へ移動します。

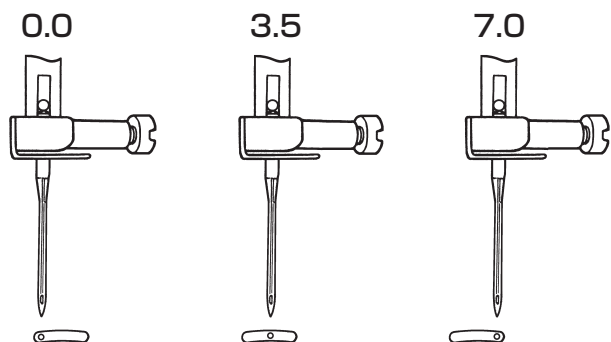
左端が「0.0」、右端が「7.0」です。

針基線は  の ▼ で示されます。

画面の数値：ミリメートル

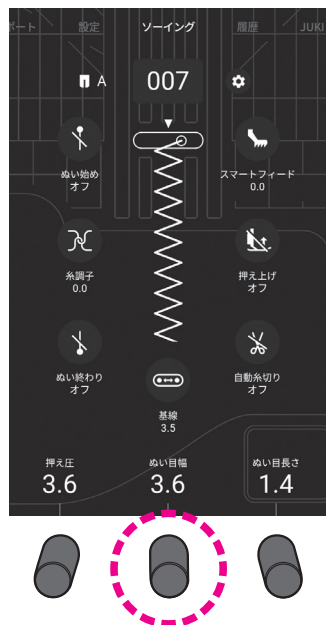
半円より上にタッチすると設定が確定し、元の画面に戻ります。

※模様を新たに選択すると、初期設定に戻ります。



## 4.17. ぬい目の幅を変えるとき

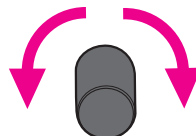
ぬっている途中でも、ぬい目の幅を変更することができます。



[ぬい目幅] 表記下の調節ダイヤルを回して、ぬい目の幅 **A** を変えます。

ぬい目の幅が  
せまくなります

ぬい目の幅が  
広くなります

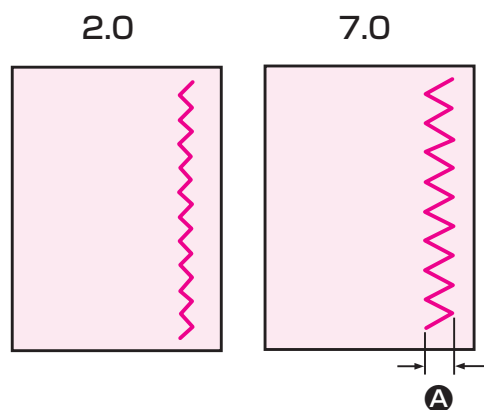


左へ回すと、表示される数値が小さくなり、ぬい目の幅がせまくなります。

右へ回すと、表示される数値が大きくなり、ぬい目の幅が広くなります。

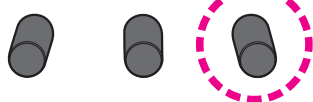
ぬい途中でも調整できます。

画面の数値：ぬい目の幅の目安（ミリメートル）



## 4.18. ぬい目の長さを変えるとき

ぬっている途中でも、ぬい目の長さを変更することができます。



[ぬい目長さ]表記下の調節ダイヤルを回して、ぬい目の長さを変えます。

ぬい目が  
短くなります

ぬい目が  
長くなります

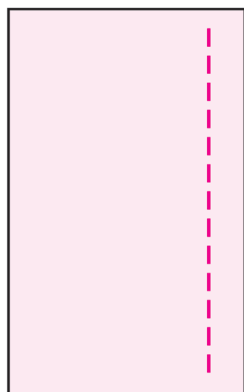


左へ回すと、表示される数値が小さくなり、ぬい目が短くなります。

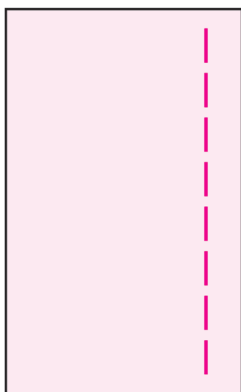
右へ回すと、表示される数値が大きくなり、ぬい目が長くなります。

画面の数値：ぬい目の長さの目安（ミリメートル）

1.0



5.0



## 4.19. 針停止位置設定

ミシンを止めたときの針の位置（上下）を設定できます。



[設定] から [針停止位置] を選びます。  
下停止・上停止を選びます。  
設定画面の枠外にタッチすると、共通設定画面に戻ります。

※ 針停止位置を「上停止」にすると、ピボット機能は自動的に OFF になります。

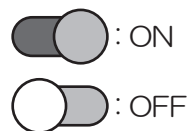
## 4.20. ピボット設定

ミシンを止めたとき、針が下停止のまま自動で押えが上がるように設定できます。



[設定] から [ピボット] を選びます。

- ピボット機能の ON・OFF 設定



- ピボット高さの設定

スライダーを左右にスライドさせて設定します。



設定画面の枠外にタッチすると、共通設定画面に戻ります。

## 5. 模様ぬいの設定

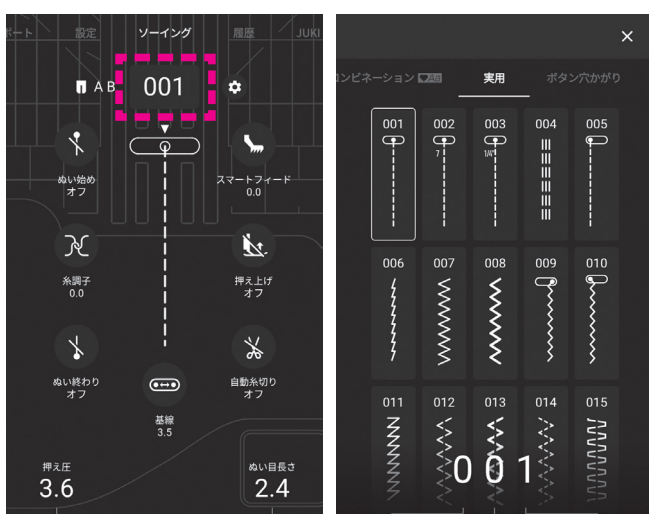
### 5.1. シングルモード／コンビネーションモード

モードにより一部ぬえない模様があります。  
ミシンの上面カバー内側に、模様の一覧表があります。

#### 5.1.1. シングルモード

選んだ模様をそのままぬいます。

##### ■ 模様の選択



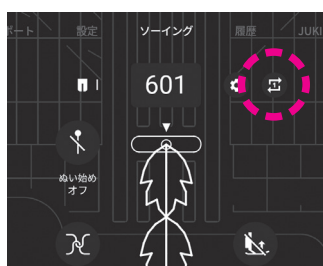
**001** (模様選択アイコン) を押します。

[ 実用 ] [ ボタン穴かがり ] [ アプリケ ]  
[ テーパリング ] [ キルトライン ] [ スカラップ ]  
[ ワンポイント ] [ かざり ] [ ヴィンテージ ]  
[ フェザー・レース ]  
の中から模様を選びます。

< 選び方 >


- 模様のアイコンを押します。
- 模様 No. を入力します。

##### ● 繰り返しぬい設定 (シングルモード)



アイコンを押して、設定を切り替えることができます。

 : 繰り返し (連続して) ぬいます。(初期設定)

 : 1 針分  
: 1 サイクル分 ぬいます。



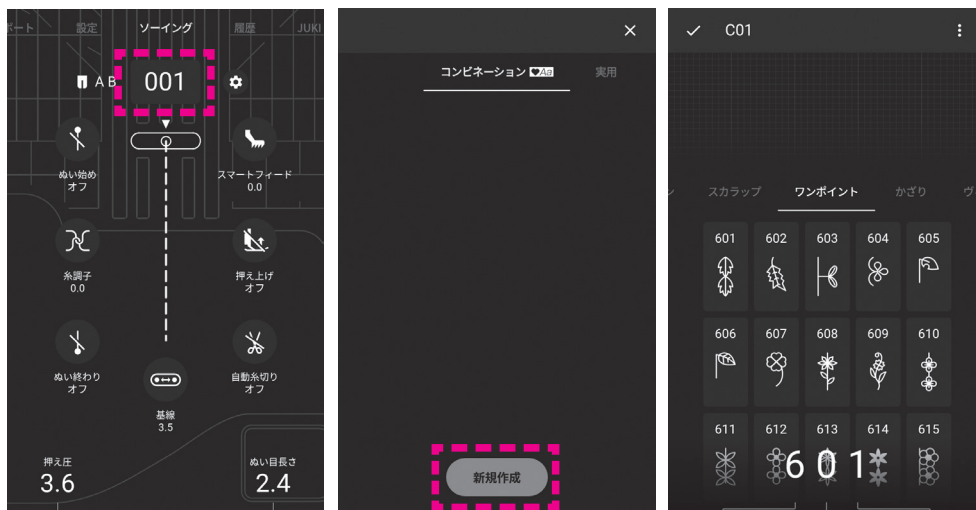
## 5.1.2. コンビネーションモード

模様を組み合わせてぬいます。

1つのコンビネーション内に、最大70個まで組み合わせが可能です。

最大10個のコンビネーションが保存できます。

### ■ 模様（文字）の選択



10個保存されている状態で「新規作成」を押すと、メッセージが表示されます。

⋮ を押して、コンビネーションを削除します。



**001**（模様選択アイコン）を押します。

[コンビネーション] を選びます。

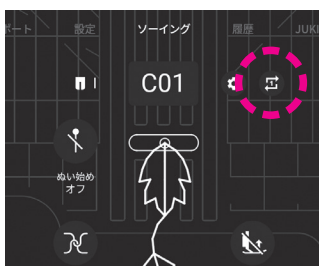
[新規作成] を押します。

[アップリケ][キルトライン][スカラップ]  
[ワンポイント][かざり][ウィンテージ]  
[フェザー・レース]「文字」  
の中から模様を選びます。

<選び方>

- 模様（文字）のアイコンを押します。
- 模様 No. を入力します。

### ● 繰り返しぬい設定（コンビネーションモード）



アイコンを押して、設定を切り替えることができます。



： 選択した模様、または選択した複数の模様の組み合わせを1回ぬいます。（初期設定）

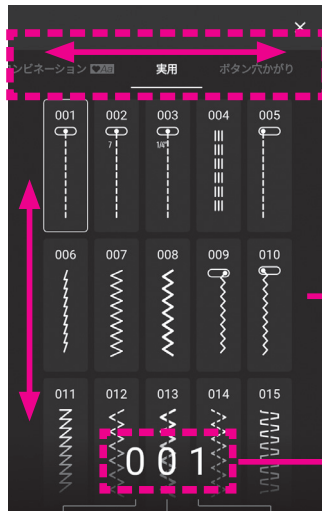


： 選択した模様、または選択した複数の模様の組み合わせを連続してぬいます。

## 5.2. シングルモードでの模様の種類と選び方

☆ 模様は 368 種類あります。

☆ 電源を入ると、中基線の直線ぬいが、自動的に選ばれ表示されます。



① 模様の種類を選びます。

[実用][ボタン穴かがり][アップリケ]  
[テーパリング][キルトライン][スカラップ]  
[ワンポイント][かざり][ヴィンテージ]  
[フェザー・レース][コンビネーション]

② 模様のアイコンを押します。

または

① 模様 No. を入力します。

- 数字の上に触れると、1 つづ数字が増えます。
- 調節ダイヤルを回して数字を変えることもできます。

② 入力した No. の模様が含まれた画面が表示されますので、選択したい模様アイコンを押します。

### 5.2.1. 実用

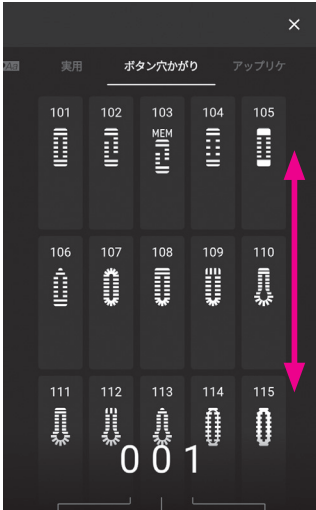
No.	模様	用途		参考ページ
001		中基線	直線ぬい	63
002		ピーシング 7mm		69
003		ピーシング 1/4"		69
004		直線強化ぬい		-
005		左基線	直線ぬい	63
006		中基線	伸縮直線ぬい	-
007		ジグザグぬい		-
008		三重ジグザグぬい		-

No.	模様	用途		参考ページ
009		右基線	ジグザグぬい	-
010		左基線		-
011		かざり模様		-
012		二点ジグザグ		-
013		三重二点ジグザグ		-
014		三点ジグザグ		-
015		突き合わせぬい		-
016		裁ち目かがり		70

No.	模様	用途	参考 ページ
017		裁ち目かがり	70
018		薄地用 裁ち目かがり	70
019		伸縮地用 裁ち目かがり	-
020			-
021			-
022		かざり模様	-
023			-
024			-
025			ブラインドステッチ
026		薄地用 ブラインドステッチ	71
027		伸縮地用 ブラインドステッチ	71
028		シェルタック	74
029			74
030		バック直線ぬい ※返しぬいボタンで前へ進みます。	-
031		バックジグザグぬい ※返しぬいボタンで前へ進みます。	-

No.	模様	用途	参考 ページ
032		かん止め	75
033		かん止め（メモリー） ※一度ぬったかん止めのサイズ を記憶することができます。	75
034		補強ぬい	-
035			-
036		アイレット	77
037			77
038			77
039			77
040			77
041		つくろいぬい	-
042			-
043			-
044		キルトスリーブ付け	101

## 5.2.2. ボタン穴かがり

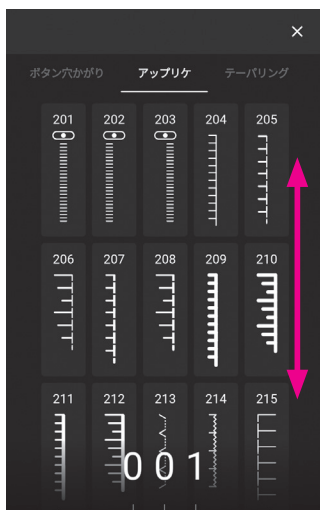


模様を選びます。

No.	模様	用途	参考ページ
101		両かん止め	85
102		手動ボタン穴かがり	92
103	MEM 	手動ボタン穴かがり（メモリー） ※一度ぬったボタン穴かがりのサイズを記憶することができます。	92
104		両かん止め	85
105			85
106			かざり用
107		ねむり穴	85
108			85
109			85

No.	模様	用途	参考ページ
110		はと目	85
111			85
112			85
113			85
114		ニット用	85
115			85
116			85
117			85
118		かざり用	85
119			85
120			85
121		ボタン穴かがり下ぬい	91
122		ボタン付け	94

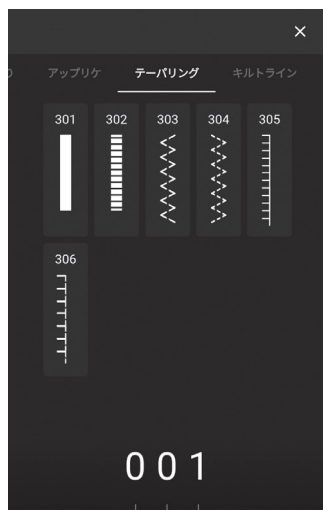
### 5.2.3. アプリケ



模様を選びます。

No.	模様	No.	模様	No.	模様	No.	模様	No.	模様
201		209		217		225		233	
202		210		218		226		234	
203		211		219		227		235	
204		212		220		228		236	
205		213		221		229		237	
206		214		222		230		238	
207		215		223		231		239	
208		216		224		232		240	

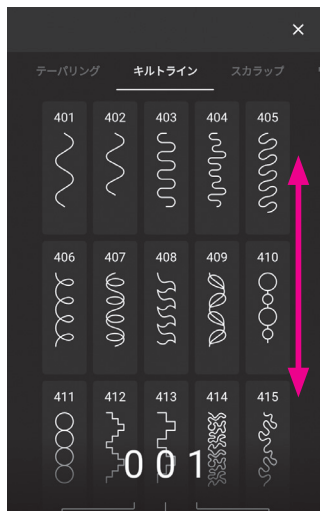
### 6.2.4. テーパリング



模様を選びます。

No.	模様	No.	模様	No.	模様
301		303		305	
302		304		306	

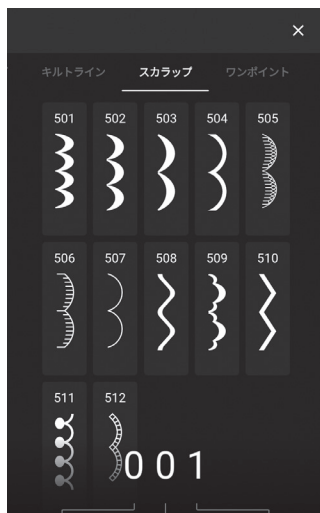
## 5.2.5. キルトライン



模様を選びます。

No.	模様	No.	模様	No.	模様	No.	模様	No.	模様
401		406		411		416		421	
402		407		412		417		422	
403		408		413		418			
404		409		414		419			
405		410		415		420			

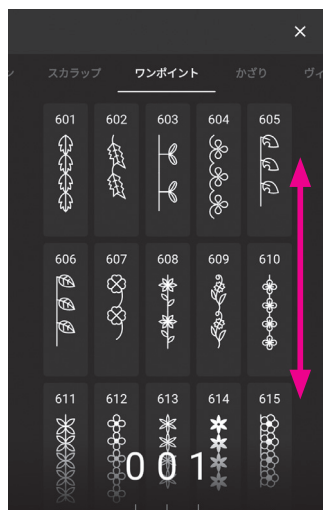
## 5.2.6. スカラップ



模様を選びます。

No.	模様	No.	模様	No.	模様	No.	模様
501		504		507		510	
502		505		508		511	
503		506		509		512	

## 5.2.7. ワンポイント

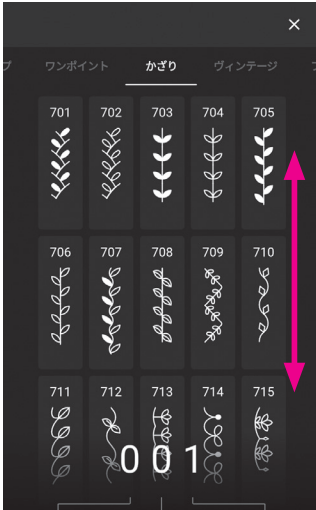


模様を選びます。

No.	模様	No.	模様	No.	模様	No.	模様	No.	模様
601		618		635		652		669	
602		619		636		653		670	
603		620		637		654		671	
604		621		638		655		672	
605		622		639		656		673	
606		623		640		657		674	
607		624		641		658		675	
608		625		642		659		676	
609		626		643		660		677	
610		627		644		661	<i>Sewing</i>	678	
611		628		645		662	<i>Handmade</i>	679	
612		629		646		663	<i>made by</i>	680	
613		630		647		664	<i>Thalpy</i>	681	
614		631		648		665	<i>collection</i>	682	
615		632		649		666	<i>Cuddly</i>	683	
616		633		650		667		684	
617		634		651		668			



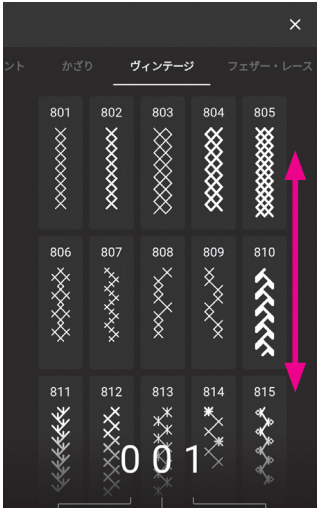
## 5.2.8. かざり



模様を選びます。

No.	模様	No.	模様	No.	模様	No.	模様	No.	模様
701		710		719		728		727	
702		711		720		729		728	
703		712		721		730		727	
704		713		722		731		726	
705		714		723		732		725	
706		715		724		733		724	
707		716		725		734		725	
708		717		726		735		726	
709		718		727		736		727	
				728		737		728	
				729		738		729	
				730		739		730	
				731		740		731	
				732		741		732	
				733		742		733	
				734		743		734	
				735		744		735	
				736		745		736	
				737		746		737	
				738		747		738	
				739		748		739	
				740				740	
				741				741	
				742				742	
				743				743	
				744				744	
				745				745	
				746				746	
				747				747	
				748				748	
				749				749	
				750				750	
				751				751	
				752				752	
				753				753	
				754				754	
				755				755	
				756				756	
				757				757	
				758				758	
				759				759	
				760				760	
				761				761	
				762				762	
				763				763	
				764				764	
				765				765	
				766				766	
				767				767	
				768				768	
				769				769	
				770				770	
				771				771	
				772				772	
				773				773	
				774				774	
				775				775	
				776				776	
				777				777	
				778				778	
				779				779	
				780				780	
				781				781	
				782				782	
				783				783	
				784				784	
				785				785	
				786				786	

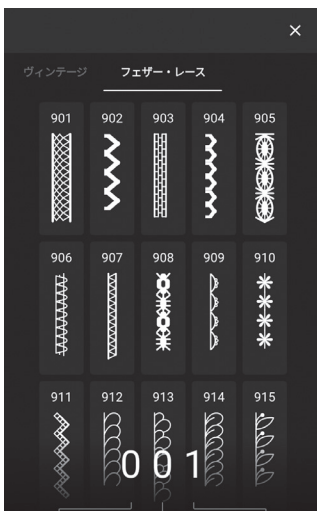
## 5.2.9. ヴィンテージ



模様を選びます。

No.	模様	No.	模様	No.	模様	No.	模様	No.	模様
801		809		817		825		833	
802		810		818		826		834	
803		811		819		827		835	
804		812		820		828		836	
805		813		821		829		837	
806		814		822		830			
807		815		823		831			
808		816		824		832			

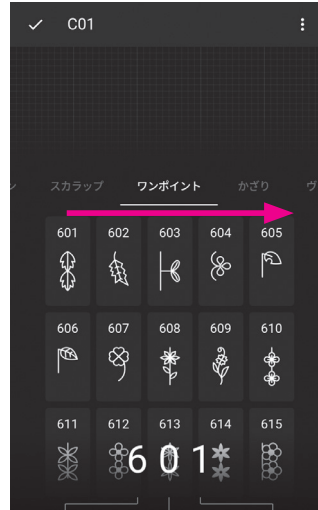
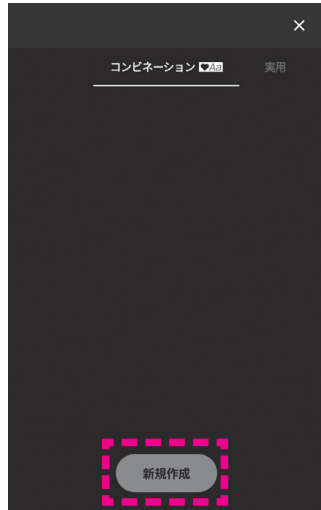
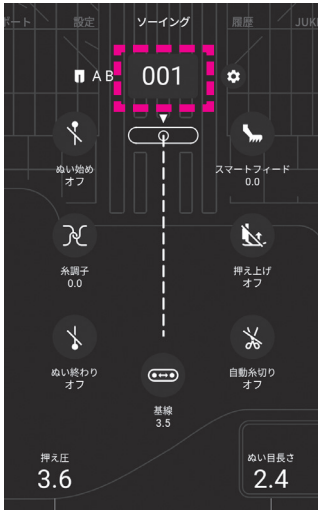
## 5.2.10. フェザー・レース



模様を選びます。

No.	模様	No.	模様	No.	模様	No.	模様	No.	模様
901		904		907		910		913	
902		905		908		911		914	
903		906		909		912		915	

## 5.2.11. 文字

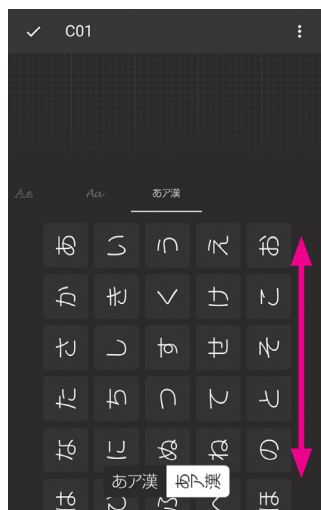
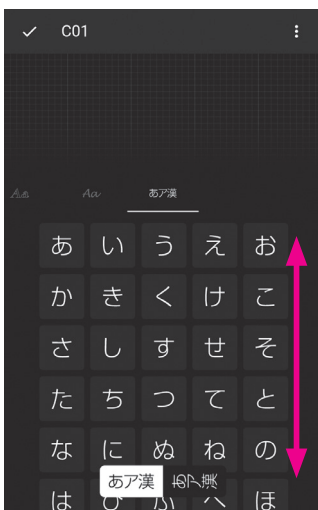
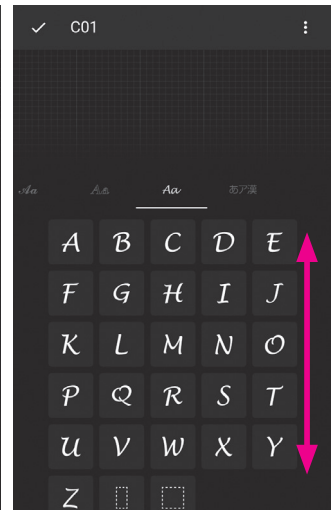
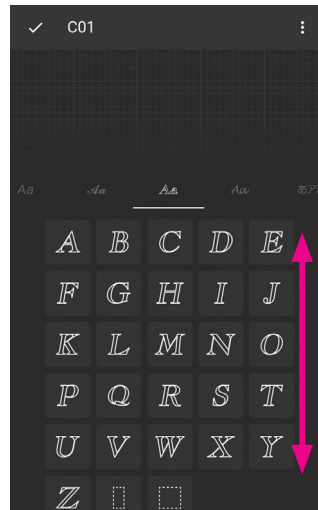
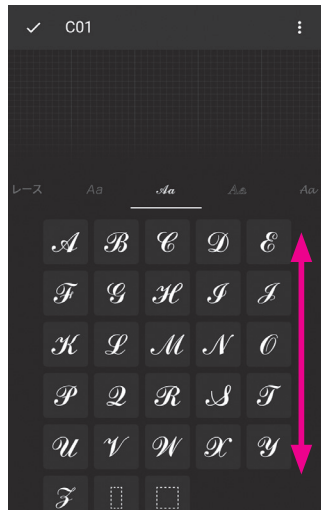
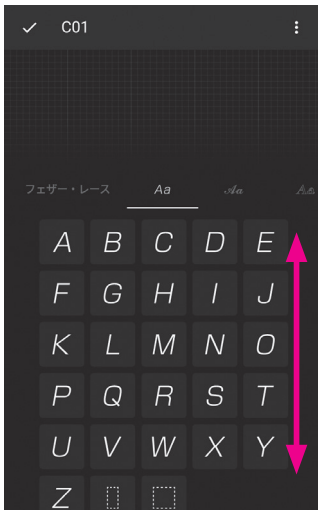


**001** (模様選択アイコン) を押します。

[コンビネーション] を選びます。

[新規作成] を押します。

文字の種類 (書体) を選びます。



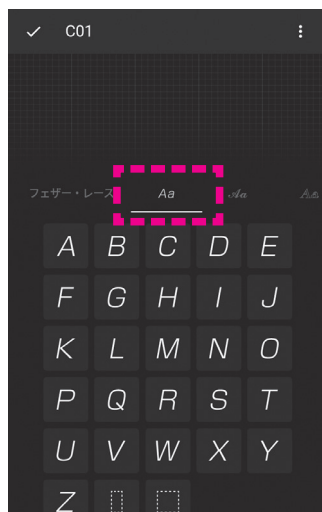
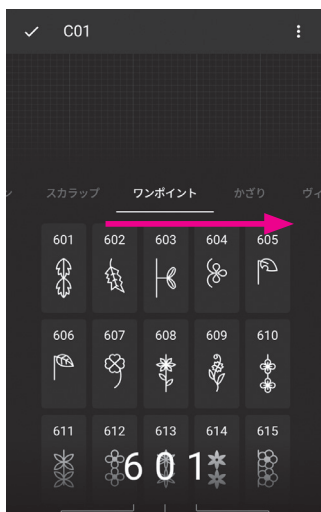
文字を選びます。

よこ/たての切り替えは **あア漢** **あア漢** で選びます。

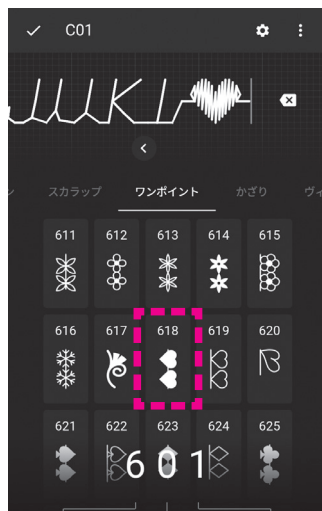
## 5.3. コンビネーションモードでの模様を組み合わせ

### (1) 模様（文字）の選択・組み合わせ

(例：JUKI♥)



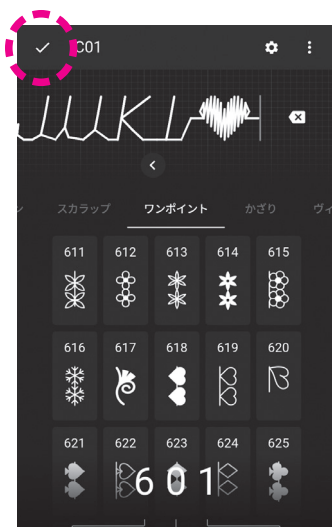
文字の種類（書体）を選びます。



アイコンを押して「JUKI」と入力します。

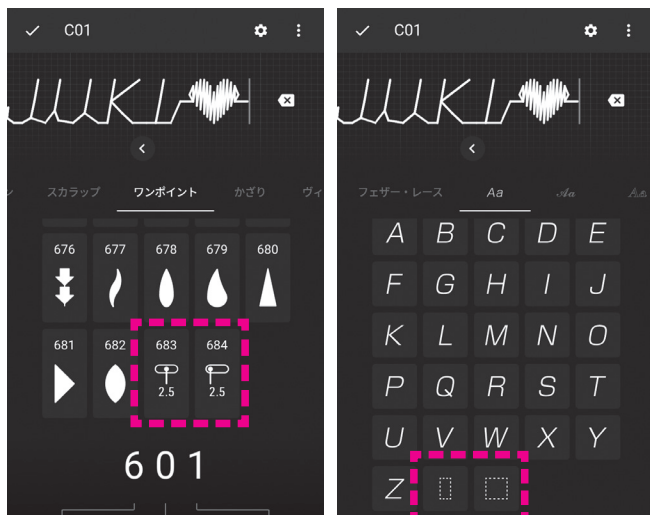
[ワンポイント]を選びます。

模様（No.618）を押します。



を押すと、模様組み合わせが保存され、縫製画面が表示されます。

## (2) スペースの選択



模様（文字）と模様（文字）の間に、次の模様を入れて組み合わせてください。

- 模様 No.683 (  )
- 模様 No.684 (  )
-  (小スペース)
-  (大スペース)

## (3) 模様（文字）の追加

色付きの縦線部分に、模様（文字）を追加することができます。

### ● 間に模様（文字）を追加するとき

(例：J♥UKI)

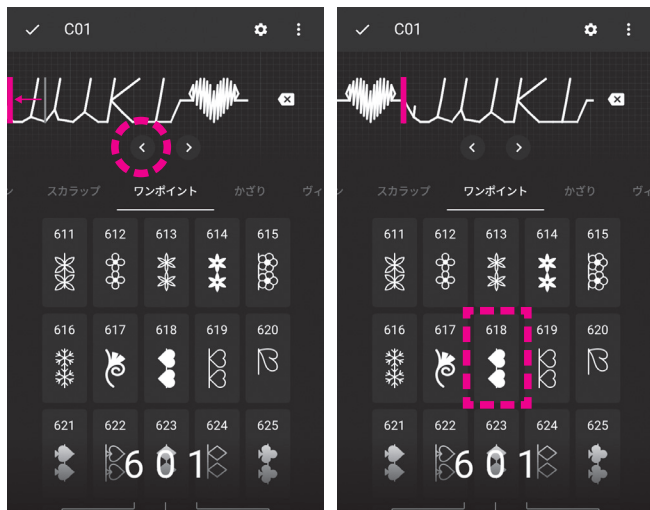


◀ で、色付きの縦線を「J」と「U」の間に移動します。

模様 (No.618) を押します。

### ● 先頭に模様（文字）を追加するとき

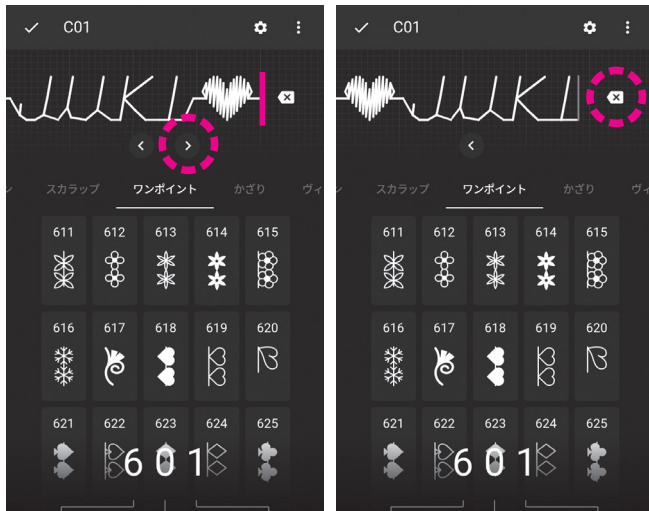
(例：♥JUKI♥)



◀ で、色付きの縦線を「J」の前に移動します。

模様 (No.618) を押します。

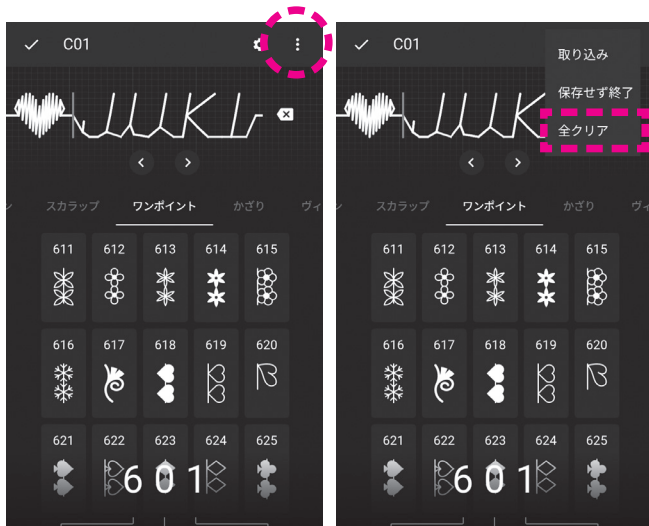
#### (4) 模様（文字）の削除



(例：♥JUKI♥ ⇒ ♥JUKI)

▶で、色付きの縦線を、削除したい模様の右側に移動します。

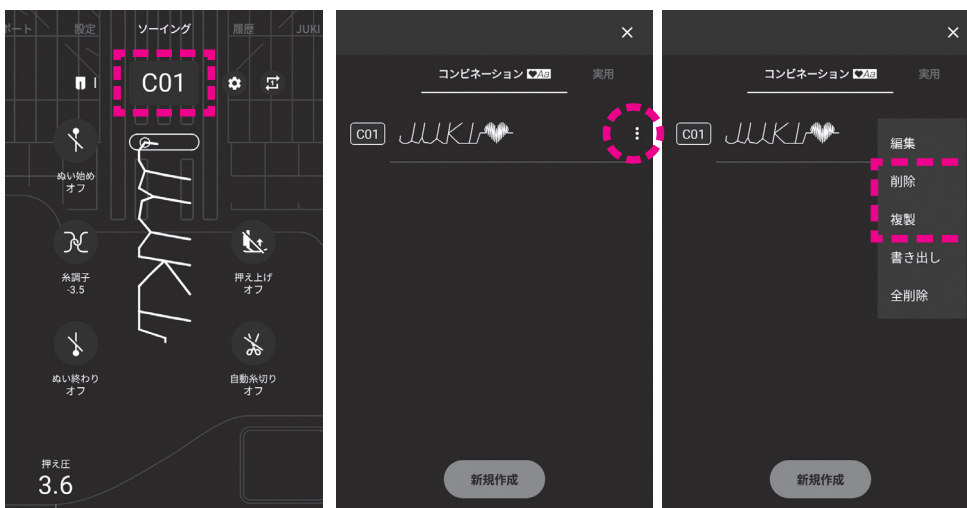
✕を押します。



<まとめて削除する場合>

⋮を押して、[全クリア]を選ぶと組み合わせた模様をまとめて削除することができます。

#### (5) 組み合わせた模様の削除・複製



**C01** を押します。


削除（複製）したいコンビネーション表示の ⋮ を押します。






[削除] または [複製] を選びます。



## 5.4. 編集機能の種類と使い方

選んだ模様によって、編集できる種類が異なります。

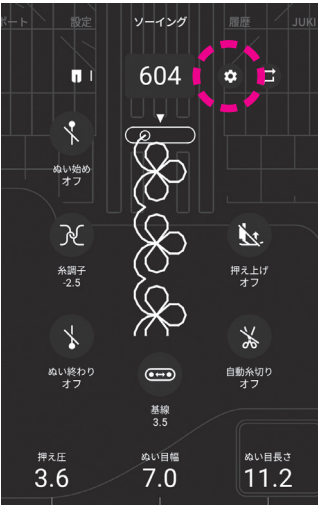
	機能	参照ページ
	糸調子	37
	基線	41
 : オフ  : オン	左右反転	60
 : オフ  : オン	上下反転	60
	エロンゲーションサイズ変更	99

	機能	参照ページ
 	テーパリング角度、サイズ変更	83
	ボタン穴かがりのメス幅変更	90
	模様間隔設定	61
	設定リセット	61
	模様データの書き出し・取り込み	62

### ● 編集画面の表示方法


#### シングルモード

##### ソーイング画面




#### コンビネーションモード


##### 組み合わせ選択画面




##### ソーイング画面



##### 模様選択画面



 を押します。

 を押して [編集] を選びます。


 を押します。

 を押します。




## 5.4.1. 模様反転

### ●左右反転

左右反転した模様をぬうときは  を押します。  
左右反転した模様が表示されます。

### ●上下反転

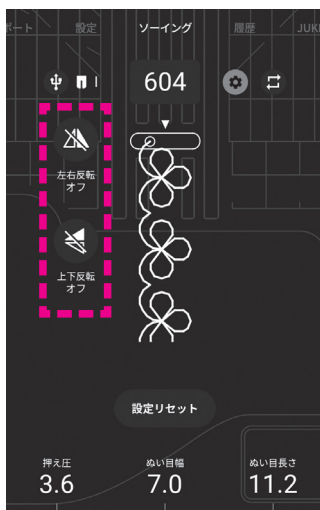
上下反転した模様をぬうときは  を押します。  
上下反転した模様が表示されます。

※左右反転、上下反転できない模様があります。

※「左右反転したものを上下反転させる」または「上下反転したものを左右反転させる」もそれぞれ行うことができます。

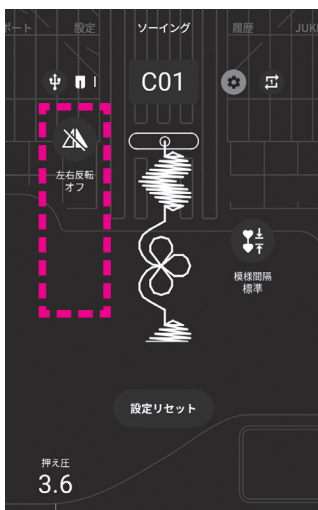
#### シングルモード

##### ソーイング画面から



#### コンビネーションモード

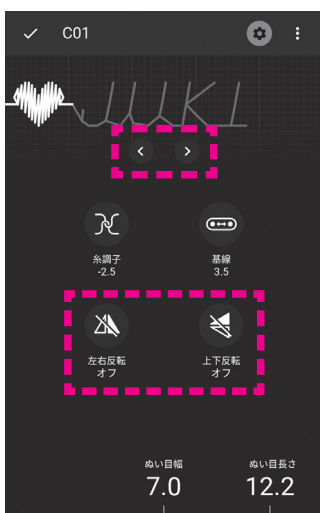
##### ソーイング画面から



シングルモード：模様が反転します。  
コンビネーションモード：組み合わせた模様がまとめて反転します。

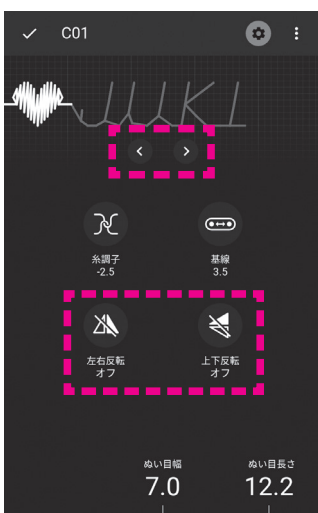
#### コンビネーションモード



##### 組み合わせ選択画面から



#### コンビネーションモード

##### 模様選択画面から



組み合わせた模様の中から、各模様ごと反転できます。  
  で、編集したい模様を選択します。

## 5.4.2. 模様間隔設定

### コンビネーションモード

#### ソーイング画面から



 を押すと、模様と模様の間隔が狭まります。

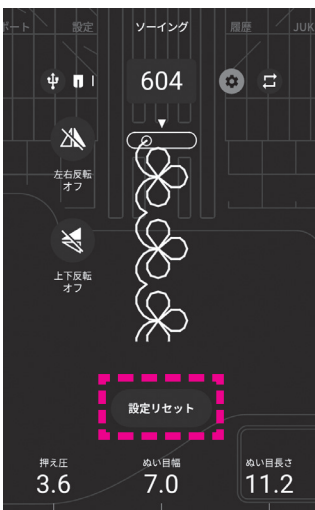
もう一度押すと、標準設定に戻ります。

標準では模様間に玉止めが設定されていますが、ステッチ間隔を狭めると模様間の玉止めが省略されます。

## 5.4.3. 設定リセット

### シングルモード

#### ソーイング画面から



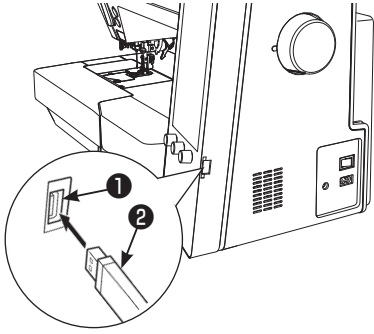
### コンビネーションモード

#### ソーイング画面から



[設定リセット] を押すと、編集画面での設定をすべてリセットします。

## 5.4.4. 模様データの書き出し・取り込み



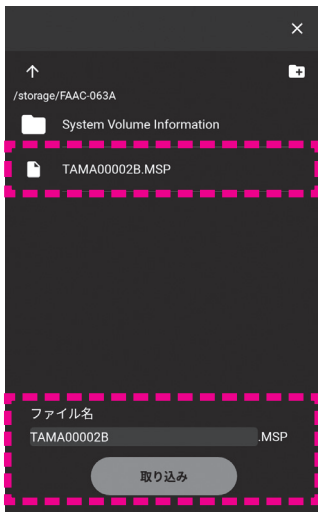
USB を使用して、模様情報の取り込みや書き出しができます。

USB メモリ<sup>②</sup>を USB 差し込み口<sup>①</sup>に差し込みます。



 を押します。

[取り込み] か [書き出し] を選びます。



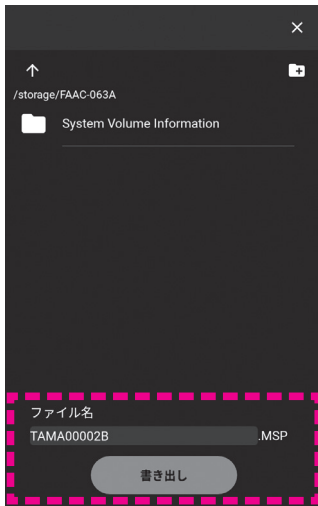
### ● [取り込み] の場合

取り込みたいファイルを選び、[取り込み] を押します。

取り込み中（保存中）は電源を切らないでください。

取り込みが正常に行われると「電源スイッチを切ってください」のメッセージが表示されます。

ミシンの電源を切り、再度電源を入れます。




### ● [書き出し] の場合

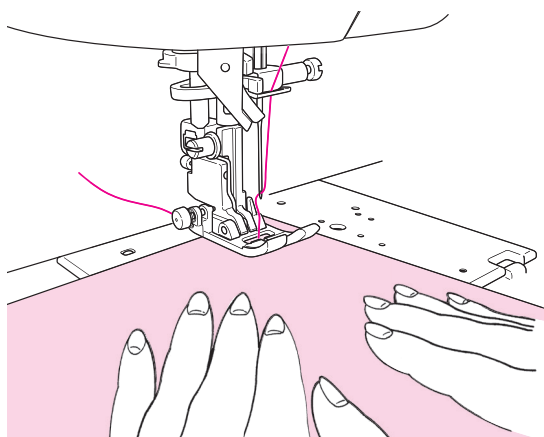
任意のファイル名を入力し、[書き出し] を押します。

## 6. ソーイング

### 6.1. 直線ぬい

模様 No.	模様	押え
001		基本押え (A)

 ロックモード



#### ■ぬい始め

押えを下げてぬい始めます。

設定>セーフティ解除

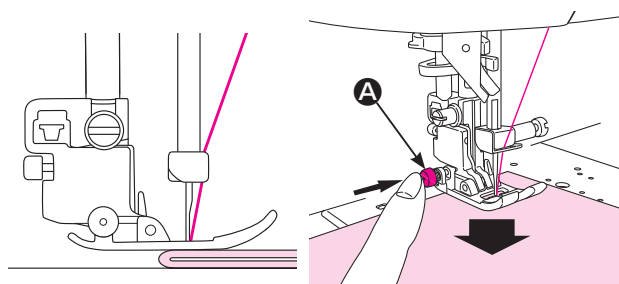
押え上昇時操作設定

押えが上がった状態でもぬい始めることができます。  
(109 ページ参照)

設定>速度

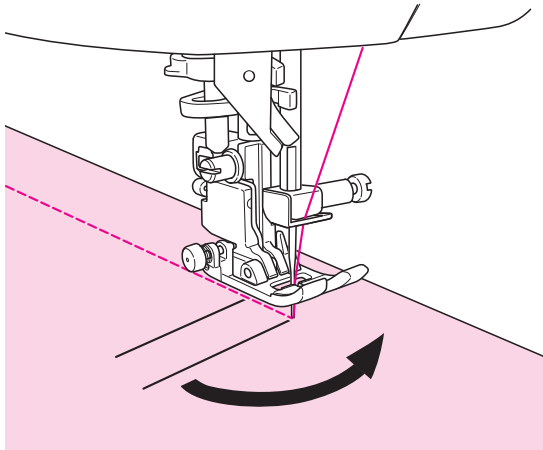
ぬい始め速度設定

ぬい始めの速度を変更できます。  
(108 ページ参照)



#### ★厚手の布端のぬい始め

ぬい始めの位置に針を下ろし、基本押えの黒色ボタン **A** を押し込みます。ボタンを押したままで押えを下げます。ボタンから手を離し、ぬい始めます。押えが完全に布地の上になると、黒色ボタンの押し込みは自動的に解除されます。



## ■ぬい方向を変えるには

- ① 布地の方向を変える位置まできたらミシンを停止します。
- ② 布地に針がささっていない場合は、針上下ボタンを押して針を布地にさし、押えを上げます。  
※工場出荷時は、ミシンを停止すると針が布地にささった状態になっています。
- ③ 針を布地にさしたままぬい方向を変え、押えを下げてぬい始めます。

### 設定>針停止位置

#### 針停止位置切り替え

ミシンを止めたときの針の停止位置を変更することができます。

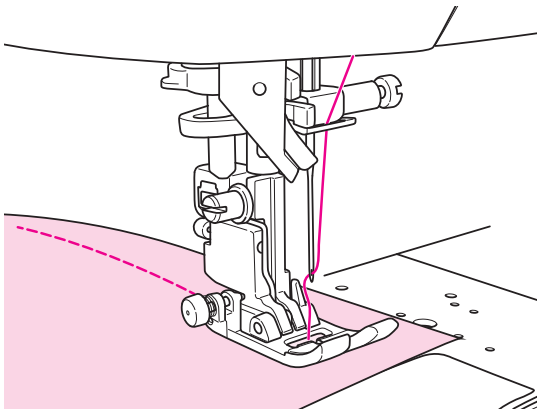
(106 ページ参照)

### 設定>ピボット

#### ピボット設定

ミシンを止めたとき、針が下停止のまま自動で押えが上がるように設定できます。

(106 ページ参照)



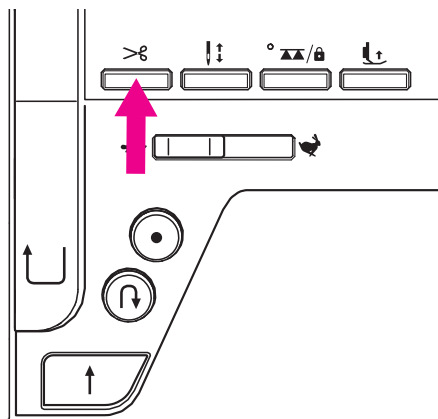
## ■ぬい終わり

ミシンを止めます。

## ★糸切り

### ＜糸切りボタンを使う＞

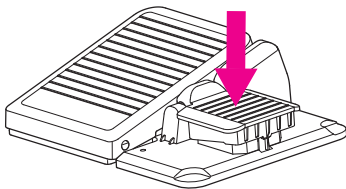
糸切りボタンを押して糸を切ります。  
押えを上げて布地を取り出します。



### 【糸切りの注意事項】

1. 30番より太い糸は、使用しないでください。
2. 糸切り後は、下糸は引き出さなくてもぬうことができます。
3. 糸切り後の次のぬい始めには、一旦下糸を引き上げて下糸と上糸を押えの後ろに引き出してぬい始めると、きれいにぬい始めることができます。
4. 糸切り部に糸くすがたまると故障の原因となりますので、ミシンのお手入れをしてください。(124ページ参照)

### ＜フットスイッチを使う＞



### 設定＞フットスイッチ設定

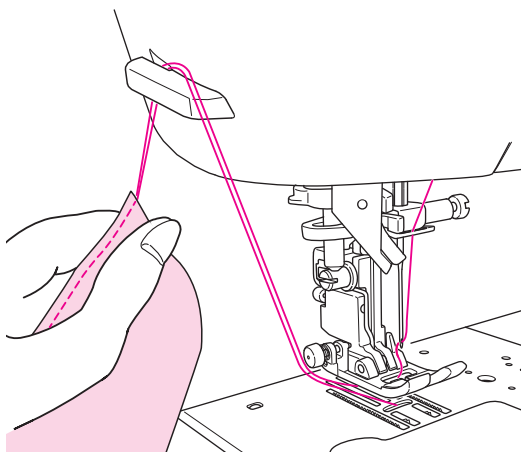
#### フットスイッチ設定

フットスイッチを踏んで糸を切る設定にできます。  
(109ページ参照)

フットスイッチを踏んで糸を切ります。

### ＜面部糸切りを使う＞

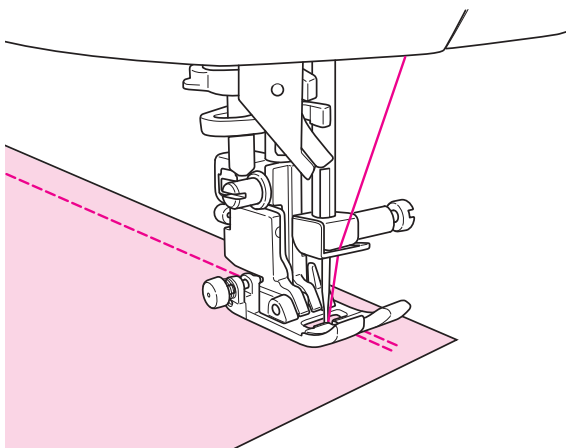
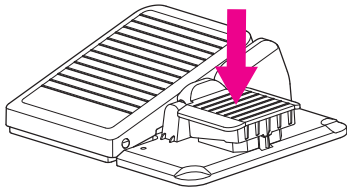
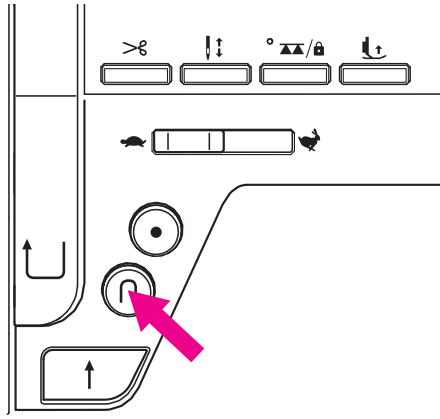
針を上げ、押えをあげてから面部カバーに付いている面部糸切りで糸を切ることができます。



### ソーイング>

#### 糸切り後押え上げ設定

糸切り後に自動で押えを上げることができます。  
(40ページ参照)



## ■返しぬい

ぬい始めとぬい終わりにしっかりとしたほつれ止め（返しぬい）をするときに使います。

### 設定>フットスイッチ設定

#### フットスイッチ設定

フットスイッチを踏んで返しぬいをする設定にできます。（109 ページ参照）

#### 【スタート・ストップボタン使用時】

返しぬいボタンを押している間だけ返しぬいをして、離すと止まります。

#### 【フットコントローラー使用時】

返しぬいボタンを押している間だけ返しぬいをして、離すと、前進に変わります。

ワンポイントや文字ぬいのときは、止めぬいが終わると、止まります。

### 設定>速度

#### 返しぬい速度設定

返しぬいの速度を変更できます。

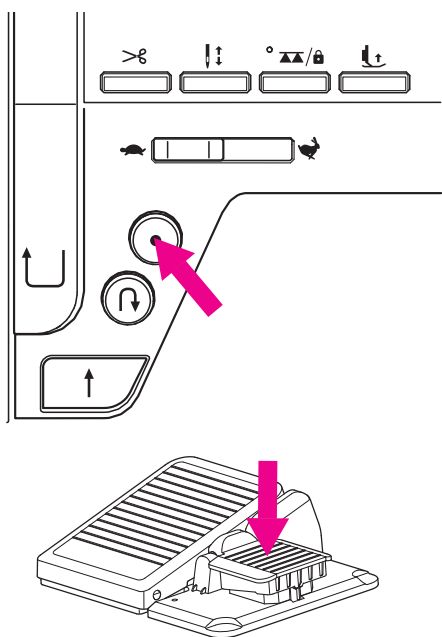
（108 ページ参照）

### ソーイング>各アイコン

#### 自動止めぬい糸切り押え上げ設定

ぬい始め、ぬい終わりの自動止めぬいの設定、ぬい終わりの自動糸切り、糸切り後自動押え上げの設定ができます。（40 ページ参照）





## ■玉止めぬい

ぬい始めとぬい終わりに目立たないほつれ止め（玉止めぬい）をするときに使います。

### ★ぬい始め

玉止めしたい位置で玉止めボタンを押します。  
玉止めをして止まります。

設定>フットスイッチ設定

#### フットスイッチ設定

フットスイッチを踏んで玉止めをする設定にできます。  
(109 ページ参照)

### ★ぬい終わり

【スタート・ストップボタン使用時】

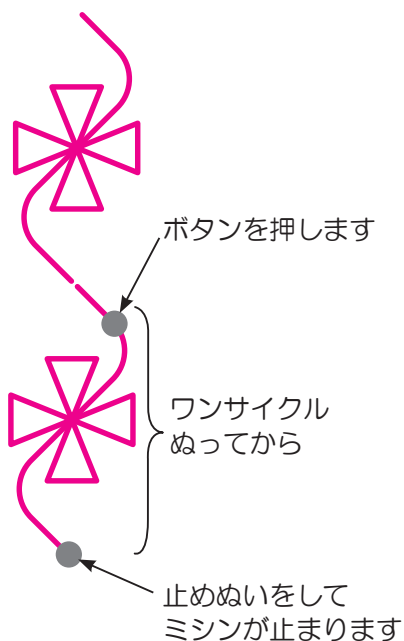
ぬい終わりにきたら、玉止めボタンを押します。  
玉止めをして止まります。

【フットコントローラー使用時】

ぬい終わりにきたら、フットスイッチを踏みます。  
玉止めをして止まります。

※ワンポイントや文字ぬいのときは、ボタンを押すと模様  
のワンサイクルをぬい終わってから、止めぬいをして止  
まります。ワンサイクルぬい途中はスタート・ストップ  
ボタンが橙色に点灯します。

※例)



設定>速度

#### 返しぬい速度設定


返しぬい・玉止めの速度を設定できます。  
(108 ページ参照)

ソーイング>各アイコン

#### 自動止めぬい糸切り押え上げ設定

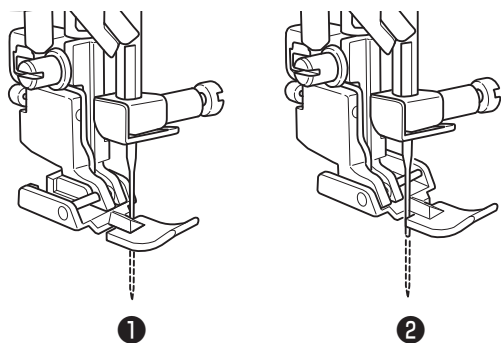
ぬい始め、ぬい終わりの自動止めぬいの設定、ぬい終  
わりの自動糸切り、糸切り後自動押え上げの設定がで  
きます。(40 ページ参照)

## 6.2. ファスナーつけ

模様 No.	模様	押え
001		ファスナー押え (B)

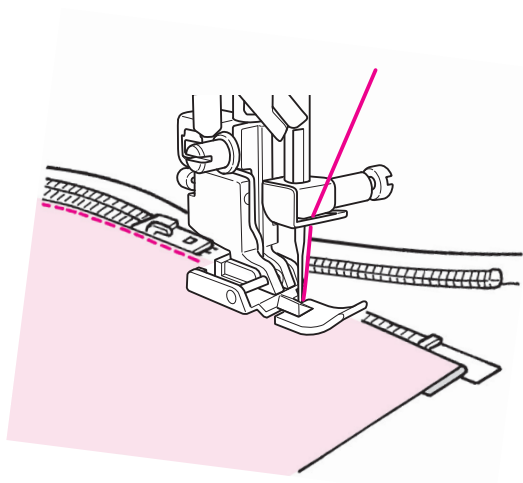
 ロックモード

※ 必ず中基線の直線 (模様 No.001) でぬってください。






### 1 ファスナー押え (B) をセットします。

ファスナーの左側をぬうときは、  
押えの右へセット①します。  
右側をぬうときは、左へセット②します。



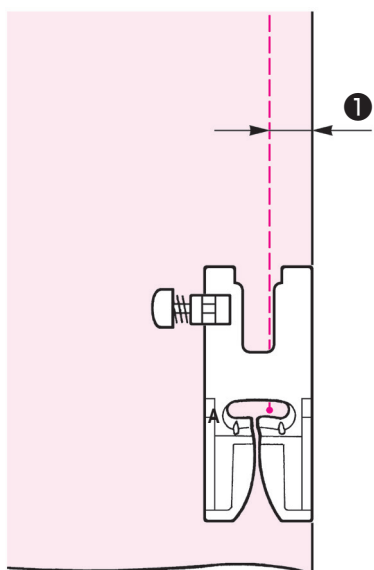
### 2 スライダーの手前までぬったら、スライダーを向こう側へ下げて、端までぬいます。

## 6.3. パッチワークピーシング（ぬい合わせ）

模様 No.	模様	押え
002		基本押え（A）
003		 ロックモード

パッチワークで、布地と布地をぬい合わせることをピーシングといいます。

ピーシングのときは、ぬいしろを通常7mmまたは1/4インチでぬいます。







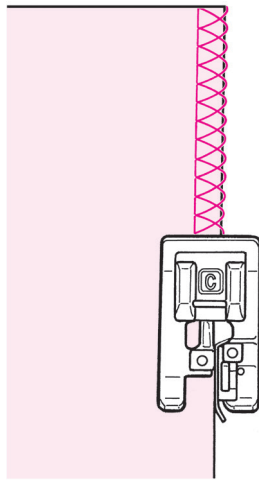
**1** 布地は、ぬいしろをつけたサイズでカットしておきます。

**2** 布地と押えの右端を合わせてぬいます。

押えの右端から7mm **1**（1/4インチ）の位置に針が落ちるのでぬいしろ7mm（1/4インチ）でぬうことができます。

## 6.4. 裁ち目かがり

模様 No.	模様	押え
016		裁ち目かがり押え (C)
017		 ロックモード
018	 薄地用	






布地がほつれるのを防ぐために用います。

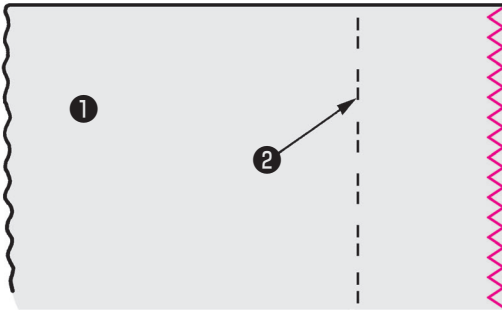
布端を裁ち目かがり押えのガイドに当ててぬいます。  
布地とガイドがはなれていると、きれいなぬいできませんのでゆっくりとぬってください。

※ぬいの前に必ず、押えに針が当たらないことを、  
確認してください。

## 6.5. ブラインドステッチ (まつりぬい)

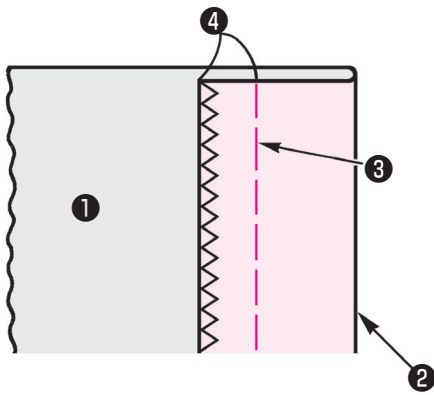
模様 No.	模様	押え
025		ブラインドステッチ押え (D)
026	 薄地用	⚠️ ロックモード
027	 伸縮地用	

### ■ 布地の折り方



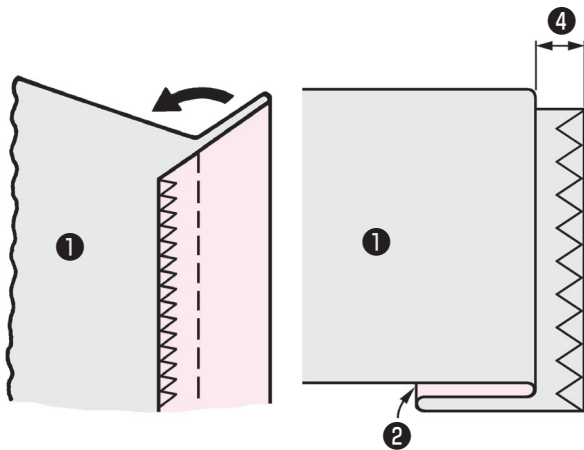
**1** 布端には裁ち目かがりをしておきます。  
(裁ち目かがりは 70 ページ参照)

- ① 布地 (裏)
- ② できあがり線

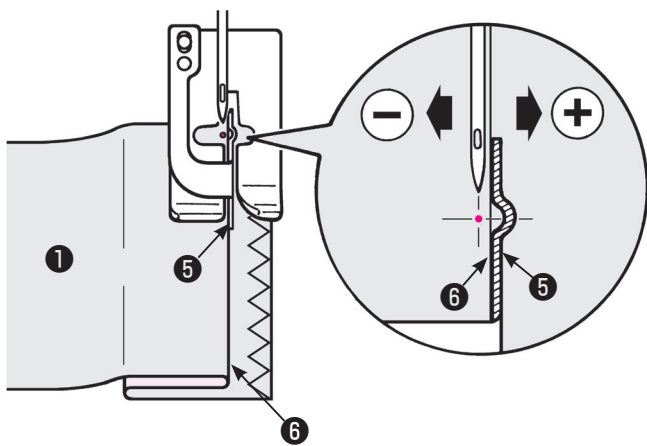


**2** 手ぬいでしつけ③をします。

- ④ 0.5 ~ 0.6cm

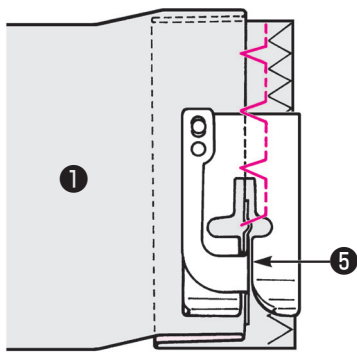


**3** しつけより折ります。  
0.5 ~ 0.6cm 出します。

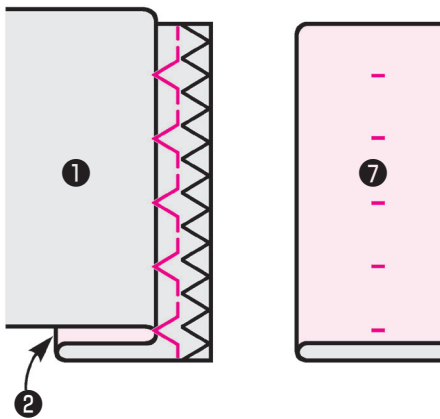


**4** 押えのガイド⑤を折り山⑥に合わせ、はずみ車を回して、調節ダイヤルで折り山にぬい目がかかるように調整します。

※針が押えに当たらないように注意してください。



**5** ガイド⑤を折り山に当ててぬいます。

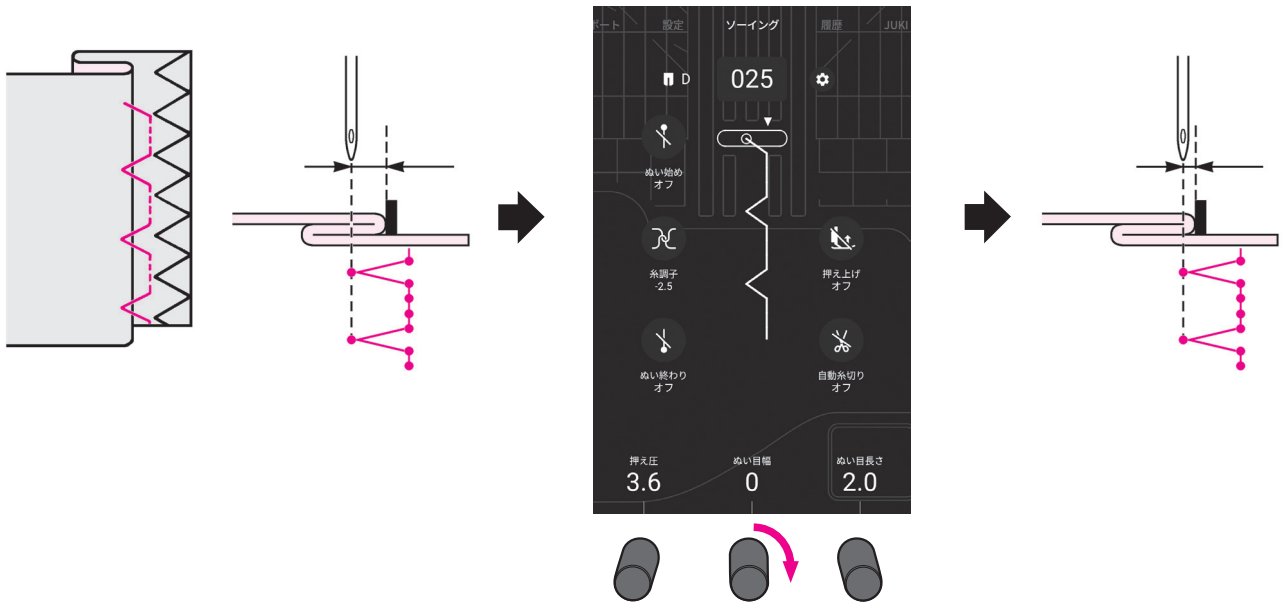


**6** ぬい終わったら布地を返します。

⑦ 布地（表）

## ■針落ち位置を変えたいとき

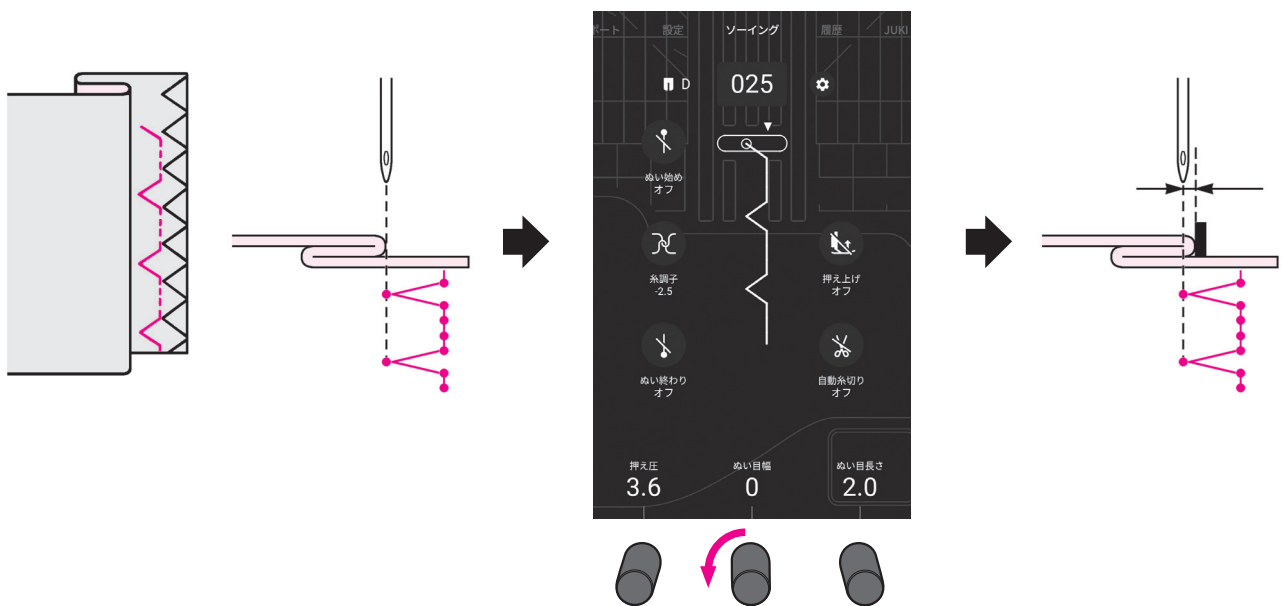
### 1. 折り山にぬい目がかかりすぎたとき



調節ダイヤルを右へ回します。

(はずみ車をまわして針落ちを確認し、針を上に向けてから調整してください。)

### 2. 折り山にぬい目がかからないとき






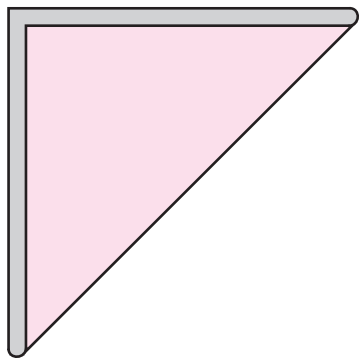
調節ダイヤルを左へ回します。

(はずみ車をまわして針落ちを確認し、針を上に向けてから調整してください。)

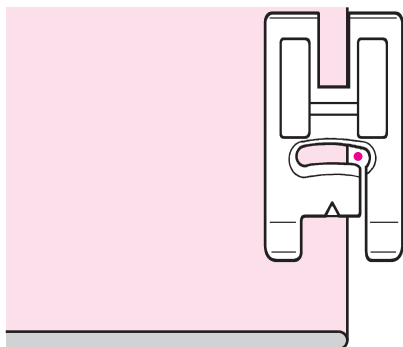


## 6.6. シェルタック

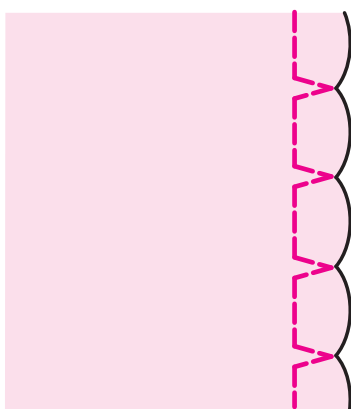
模様 No.	模様	押え
028		手動ボタン穴かがり押え (I)
029		 ロックモード



**1** 布地をバイヤス方向に折ります。



**2** 布地の折り山の端よりも右に針が落ちるようにぬいます。



**3** 貝殻形のシェルタックになります。

## 6.7. かん止め

模様 No.	模様	押え
032		手動ボタン穴かがり押え (I)
033	MEM 	ロックモード

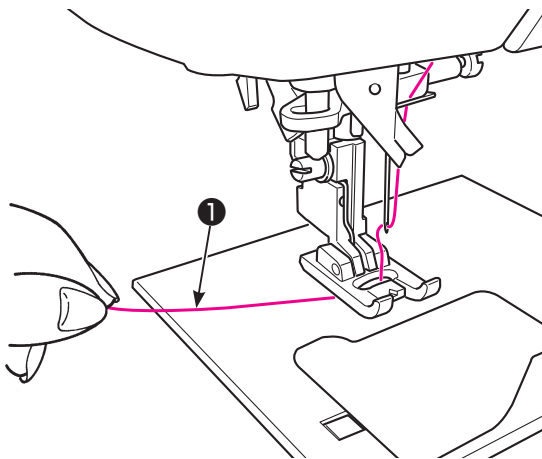
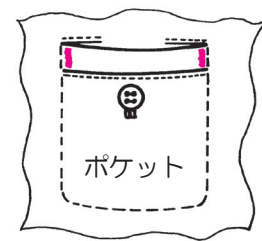
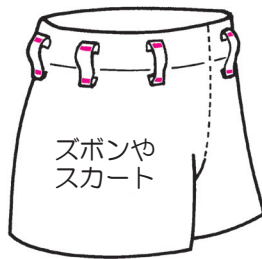
ほつれやすい部分に使うとぬい目がしっかりします。

\*かん止めの長さは、返しぬいボタンを押すことで決まりますが、

最長20針までで自動的にUターンします。

\*段部などで押えが水平にならないときは、あて布や厚紙をご使用ください。

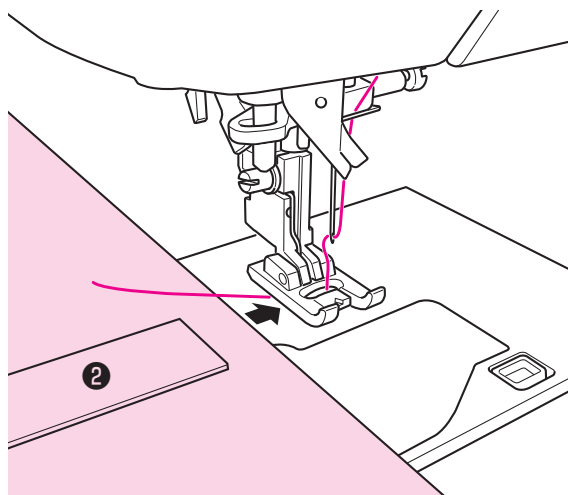
使用例)



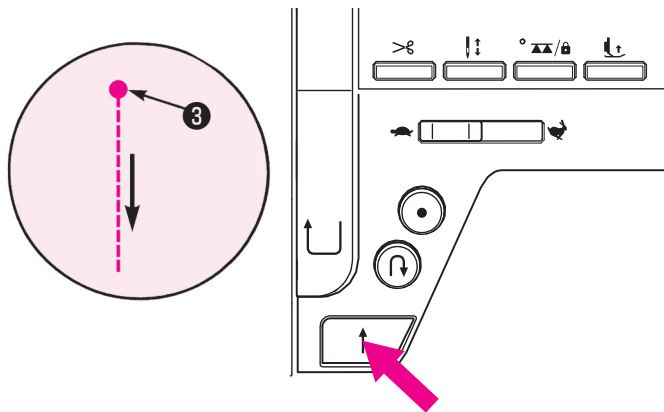
**1** 糸を横に出します。

上糸を押えの下へくぐらせます。

① 10 cm



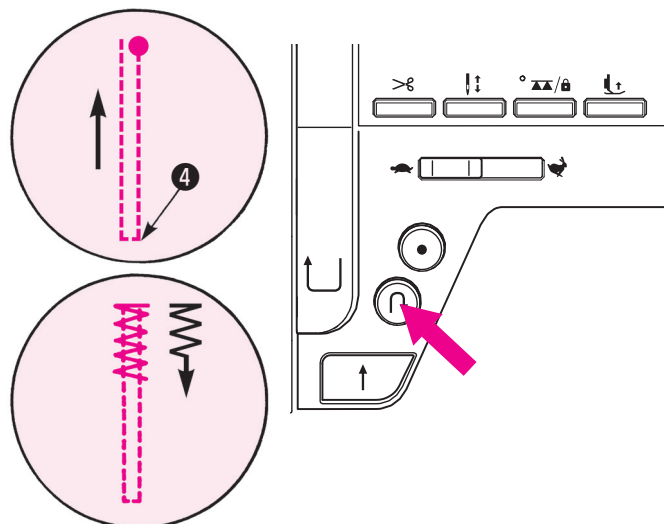
**2** 布地②を入れます。



### 3 スタートさせます。

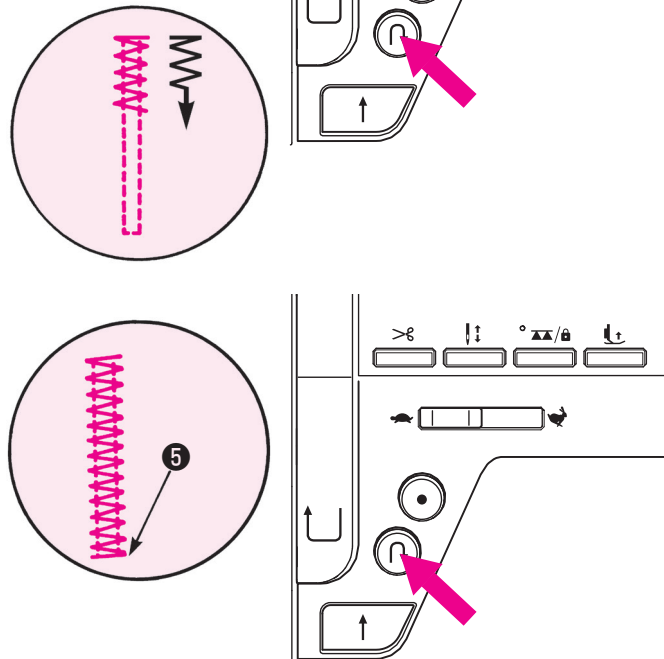
スタート・ストップボタンを押すと直線ぬいが始まります。

③スタート位置



### 4 かん止めの終わりの位置④で返しぬいボタンを押します。

スタート位置へ直線ぬいで返り、再び自動的にジグザグぬいで戻ってきます。



### 5 ぬい終わりの位置まで戻ったら返しぬいボタンを押します。

止めぬい⑤をして止まります。






MEM

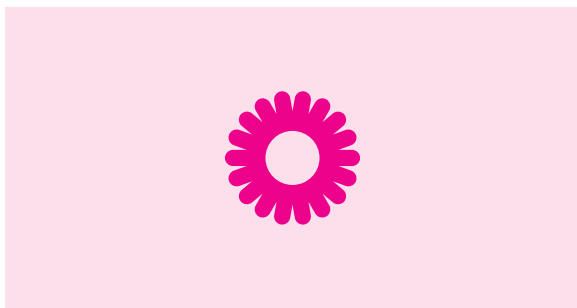
※  No. 033 かん止め（メモリー）の場合

最初にぬった長さが記憶されるので、2回目からは **4** の操作は必要ありません。

記憶された長さを変更したいときは、もう一度模様を選び直してください。

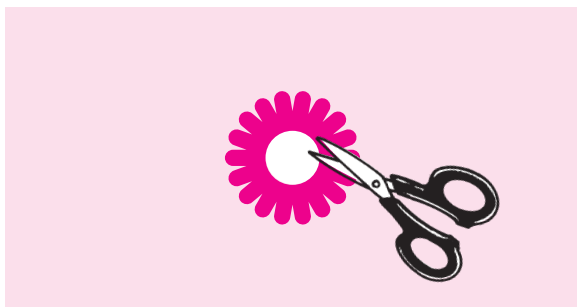
## 6.8. アイレット

模様 No.	模様	模様 No.	模様	押え
036		039		手動ボタン穴かがり押え (I)
037		040		⚠️ ロックモード
038				



### 1 アイレットをぬいます。

最後は自動で玉止めが入って停止します。



### 2 アイレットパンチやはさみで穴をあけます。

ひもやりボンを通したり、フラワーホールとして利用できます。

## 6.9. かざりぬい

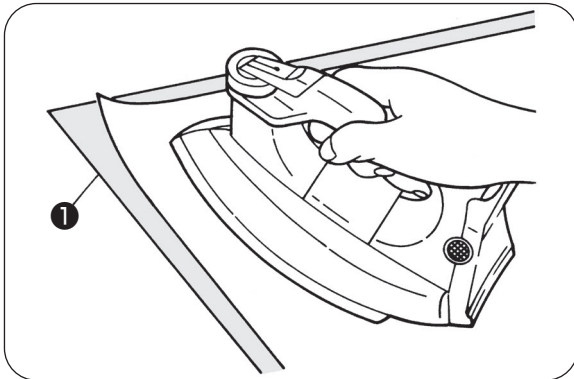
模様 No.	押え
201~240, 301~306, 401~422, 501~512, 601~684, 701~786, 801~837, 901~915, 文字など	手動ボタン穴かがり押え (I)

 ロックモード

※模様の種類は「12. 模様一覧」を参照ください。

### ■ぬう前の準備

きれいに模様をぬうために、薄い布地①には芯地をはり、試しぬいをしてください。



裏面に接着芯地をアイロンで接着させます。

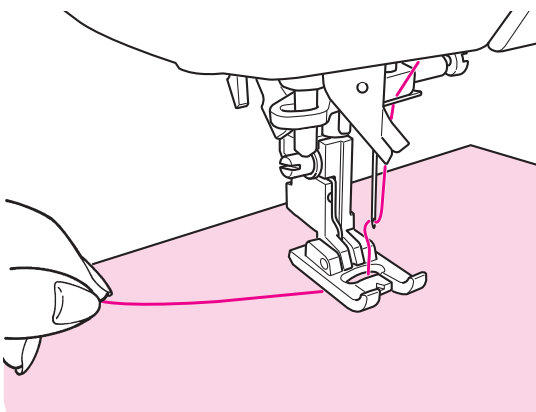
※ぬい目が細くなりすぎると、下糸が布地の表に出たり、場合によっては、ぬい詰まることがあります。必ずダーニング調整をして、試しぬいをしてください。

設定>ダーニング調整

**ダーニング調整**

試しぬいをし、模様を確認しながら調整します。  
(105 ページ参照)

### ■模様（文字）のぬい



上糸を押えの穴から下に通し、横に引き出します。布地を入れてスタートさせます。

ぬい終わると自動的に止まります。

※模様（文字）によってぬい速度が変わりますのでご注意ください。

※ぬい途中で、自動糸切りを使用した場合最初の模様（文字）からぬい始めます。

※密着ぬいなどは、ピッチを細かくしすぎるとぬい詰まることがあります。

### ■渡り糸の始末のしかた



いらぬ部分の糸をハサミなどで始末します。

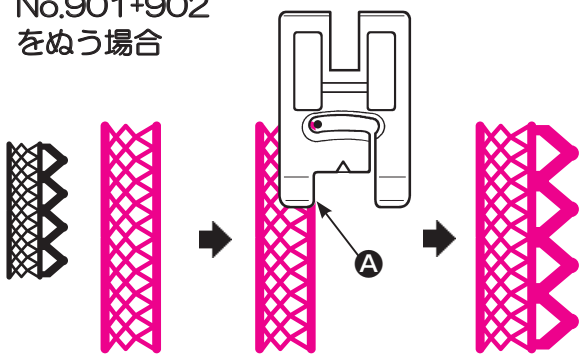
## 6.10. レース/フェザー/重ね並べ合わせ（ブラックワーク）模様

模様 No.	模様	模様 No.	模様	模様 No.	模様	模様 No.	模様	押え	
901		904		909		913		手動ボタン穴かがり押え (I)	
902		906		910		914		⚠ ロックモード	
903		907		911		915			
904		908		912					

模様を並行にぬうと、レースやフェザー風模様をつくる  
ことができます。  
また、上記以外のかざり模様などを重ねたり、並べてぬ  
うことで、模様のバリエーションを楽しめます。

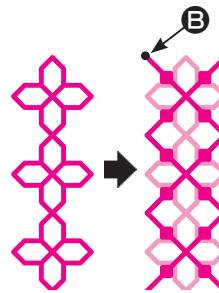
### ■ぬい方

- No.901+902  
をぬう場合



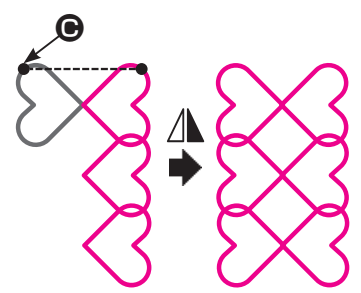
- ① 模様 No.901 をぬいます。
- ② 模様 No.902 を選択し、押えの内側 **A** と模様の端を合わせてぬいます。

- No.772+776  
をぬう場合



- ① 模様 No.772 をぬいます。
- ② ぬい始めの位置 **B** を合わせ、模様 No.776 を重ねぬいします。

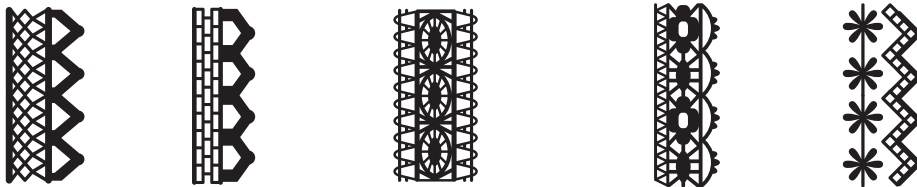
- No.778 ▲ +778  
をぬう場合



- ① 模様 No.778 をぬいます。
- ② 約 7mm の間隔をあげ、ぬい始めの位置 **C** を合わせ、模様 No.778 を左右反転してぬいます。

注意：並べぬいは、組み合わせる模様や生地、糸、ぬい方によって若干ズレが生じます。













例) No.901+902    903+904    906▲+905+906    907+908+909    910+911



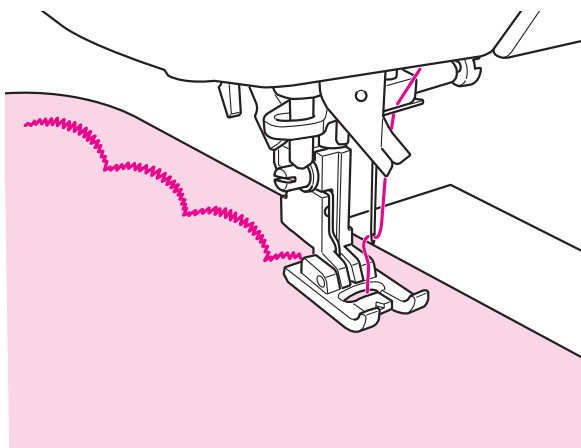
No.912▲+912    913▲+913    914▲+914    915▲+915    772+776    778▲+778    782▲+782



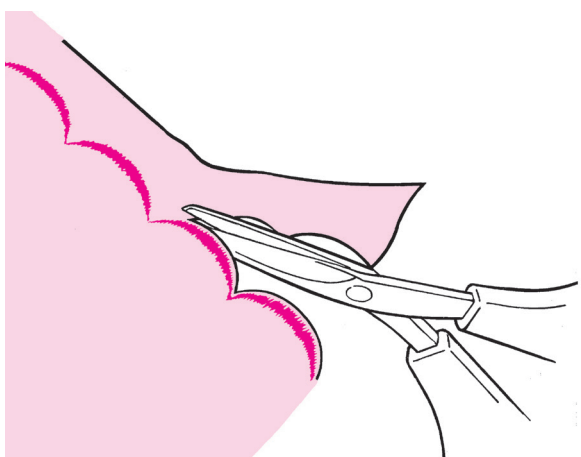
## 6.11. スカラップ

模様 No.	模様	模様 No.	模様	模様 No.	模様	模様 No.	模様	押え
501		504		507		510		手動ボタン穴かがり押え (I)
502		505		508		511		⚠ ロックモード
503		506		509		512		

テーブルクロスやブラウスの衿など、ふちかざりに使います。



- 1 布端に模様がかからないように端を残してぬいます。



- 2 糸を切らないようにぬい目にそって切ります。

### エロンゲーション

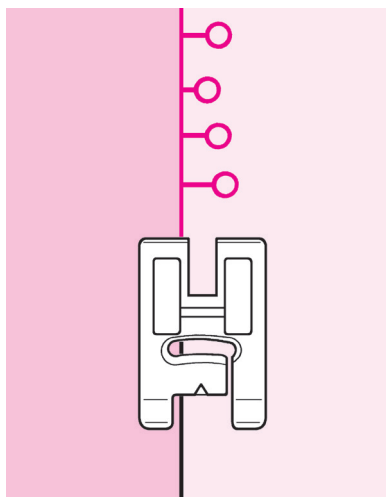
模様の長さを変更することができます。  
(模様 No.501 以外) (99 ページ参照)



## 6.12. ランダム模様

模様 No.	模様	模様 No.	模様	模様 No.	模様	模様 No.	模様	押え	
206		217		225		233		手動ボタン穴かがり押え (I)	
208		219		227		235		⚠️ ロックモード	
210		221		229		237			
212		223		231					

例)



ランダム模様は、1区切りごとに幅が自動で変わりますので、遊び心のある模様が楽しめます。

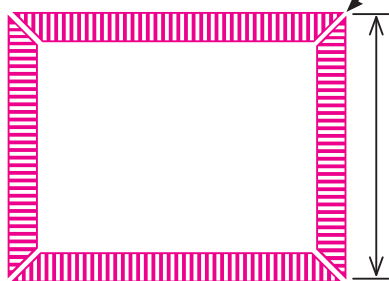
## 6.13. テーパリング

模様 No.	模様	模様 No.	模様	模様 No.	模様	押え	
301		303		305		手動ボタン穴かがり押え (I)	
302		304		306		⚠️ ロックモード	

模様のぬい始めは徐々に振り幅が大きくなり、ぬい終わりは徐々に小さくなるように設定できます。額縁ぬいなどに利用します。

### 使用例)

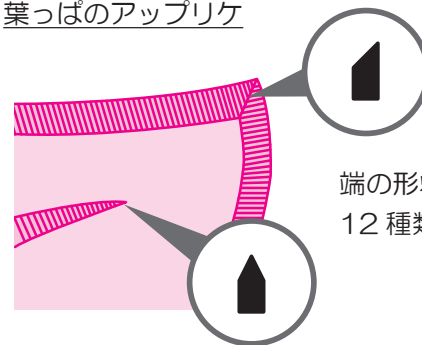
額縁ぬい



ぬい合わせの角度を設定できます。

模様の長さを設定できます。

葉っぱのアップリケ



端の形状は12種類あります。

### テーパリングの角度と形状)

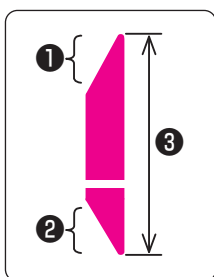
テーパリング (上)

<input checked="" type="radio"/> ▲ 30°	<input type="radio"/> ▲ 15°
<input type="radio"/> ▲ 45°	<input type="radio"/> ▲ 30°
<input type="radio"/> ▲ 60°	<input type="radio"/> ▲ 45°
<input type="radio"/> ▲ 30°	<input type="radio"/> ▲ 60°
<input type="radio"/> ▲ 45°	<input type="radio"/> ▲ 90°
<input type="radio"/> ▲ 60°	<input type="radio"/> ▲ 120°

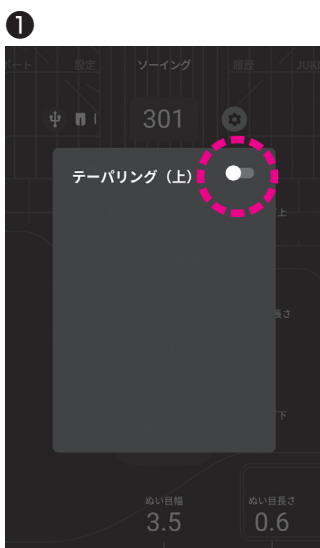
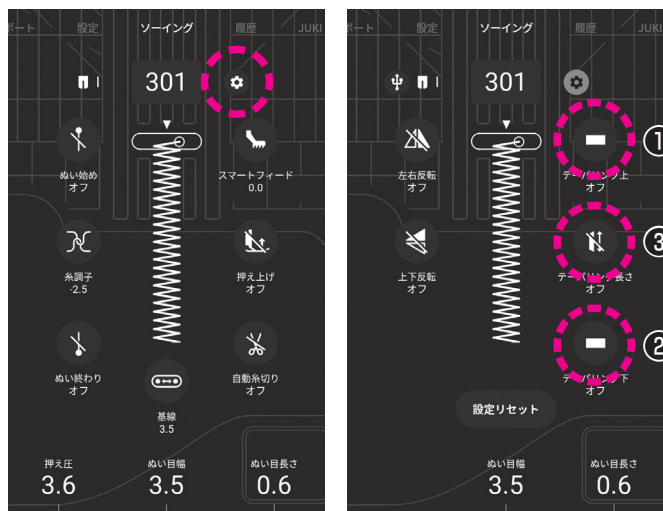
テーパリング (下)

<input checked="" type="radio"/> ▼ 30°	<input type="radio"/> ▼ 15°
<input type="radio"/> ▼ 45°	<input type="radio"/> ▼ 30°
<input type="radio"/> ▼ 60°	<input type="radio"/> ▼ 45°
<input type="radio"/> ▼ 30°	<input type="radio"/> ▼ 60°
<input type="radio"/> ▼ 45°	<input type="radio"/> ▼ 90°
<input type="radio"/> ▼ 60°	<input type="radio"/> ▼ 120°

## ■テーパリングサイズ設定



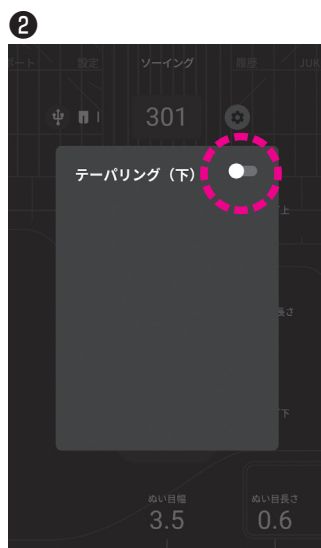
ぬきたいものに合わせて、  
テーパリングの角度①②と長さ③を設定できます。



① [テーパリング (上)]  
をONにします。



② テーパリングの角度と  
形状を選びます。



③ [テーパリング (下)]  
をONにします。



④ テーパリングの角度と  
形状を選びます。



調節ダイヤルを回し  
て、テーパリングの長さ  
を設定します。

### ●ぬい方

- 模様をスタートさせます。
- ① 徐々に振り幅が大きくなります。
- ③ 設定された長さをぬいます。
- ② 徐々に振り幅が小さくなり玉止めをしてから自動停止します。

## ■手動ぬい

①②の角度を設定します。

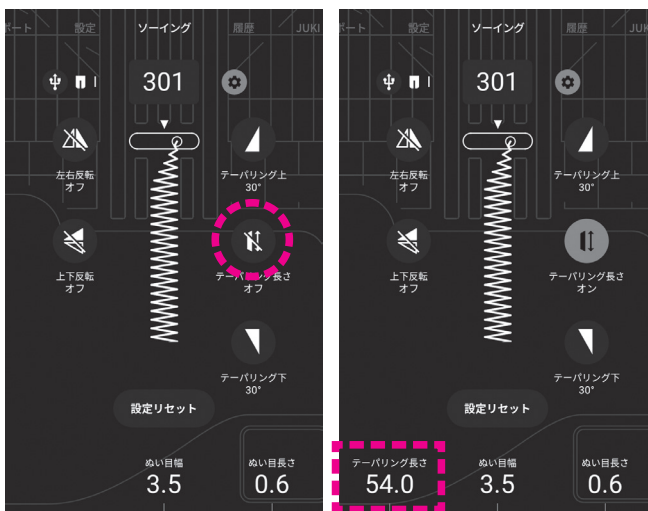
模様をスタートさせます。

① 徐々に振り幅が大きくなります。  
設定された振り幅に達すると、そのままぬい続けます。

②を開始したいところで玉止めボタンを押します。

② 設定された角度で、徐々に振り幅が小さくなり、玉止めをしてから自動停止します。

## ●テーパリング長さの記憶



手動ぬいを行ったあと、[テーパリング長さ]をオンにすると、直前にぬった長さを確認できます。そのまま再度ぬい始めると、同じ長さのテーパリングを繰り返してぬうことができます。

### ◆履歴

[テーパリング長さ]がオンの状態では、テーパリング長さも一緒に記憶され、履歴タブから呼び出すことができます。

履歴タブでは、模様変更直前にぬわれた設定が記憶されます。

一つの模様複数の設定を記憶したい場合は、その都度模様を変更して記憶し直してください。

## 6.14. ボタン穴かがりぬい

※ ボタン穴かがりの長さは、使用するボタンをボタン受け台にはさみ込むと決まります。

※ ボタンの直径 0.7 ～ 3.2cm まで、ボタン穴かがりができます。

※ 伸縮性のある布地には、裏に伸びにくい芯地を貼ります。

※ 必ず、試しぬいをして、正しくぬえることを確認してください。

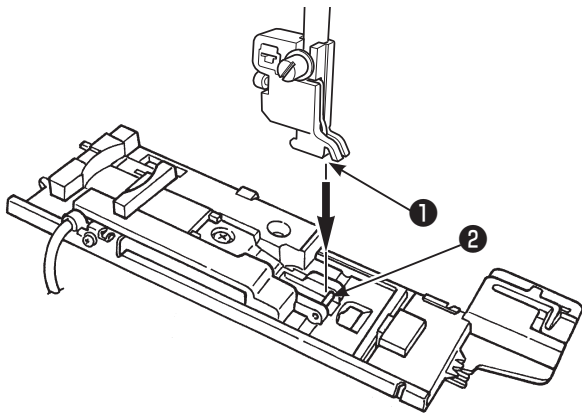
※ ボタン穴かがりの No.114 ～ 117 はニット布地用ですので、ニット針をご使用ください。

押え
ボタン穴かがり押え (E)

 ロックモード
--

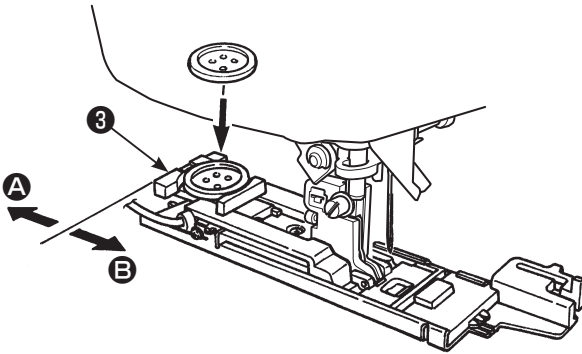
模様 No.	模様	用途	
101		両かん止め	一般的なボタン穴かがりあらゆる用途に使用
102			手動ボタン穴かがり (2ステップ) (92 ページ参照) 布地に段差がある場合や大きな穴かがりをぬいたい場合などに
103			手動ボタン穴かがり (メモリー) ※一度ぬったボタン穴かがりのサイズを記憶することができます。
104			厚地用ボタン穴かがりぬい目の密度がアラク、コートなどに使用
105			両かん止め二重ぬい 2回重ねてぬうことで、丈夫なボタン穴かがりに
106		かざり用	かざり用ボタン穴かがり
107		ねむり穴	薄地用ボタン穴かがりブラウス、子供服などに
108			
109			

模様 No.	模様	用途	
110		はと目	厚地 (ジャケット、コート、ズボンなど) に
111			はと目穴が正円になるボタン穴かがり
112			厚地素材で、大きく厚めのボタンを使う場合に
113			パンツの前開き部分のボタンなどに
114		ニット用	薄地ニット用 下ぬい 1 回 かざりボタン穴かがりとしても
115			普通地ニット用 下ぬいを 2 回入れることで伸縮防止に
116			薄地ニット用 414 のぬい模様を 2 回重ね伸縮の大きい布地に
117			普通地ニット用 415 のぬい模様を 2 回重ね伸縮の大きい布地に
118		かざり用	かざり用ボタン穴かがり フラワーホールやジャケットなどの開き見せに
119			
120			
121			ボタン穴かがり下ぬい (91 ページ参照)



# 1 押えをセットします。

針を上げ、押えを上げます。  
押えホルダーのみぞ①と押えのピン②を合わせ、  
押えを下げてセットします。

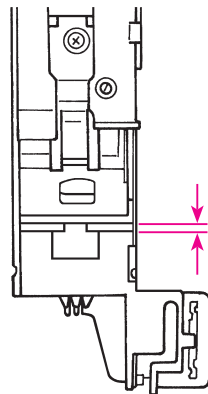


# 2 ボタンをセットします。

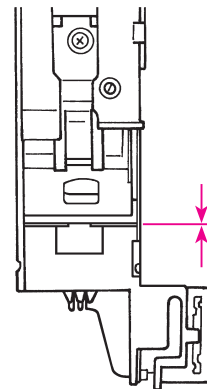
ボタン受け台③をAの方へ引き、ボタンを乗せてB  
方向に戻して、はさみ込みます。

※厚さ4mmを超えるボタンはセットできません。

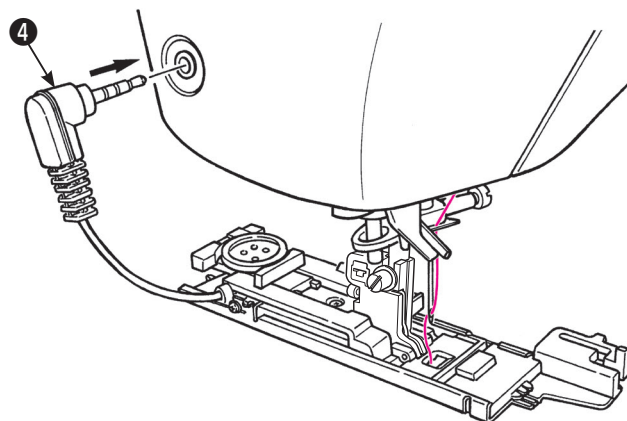
※押えをセットしたとき、  
次のことを確認してから  
ぬい始めてください。



すき間があいて  
いることを確認  
してください。



すき間がないと  
きれいなぬい目  
になりません。



# 3 ボタン穴かがり用センサーピン④を セットします。

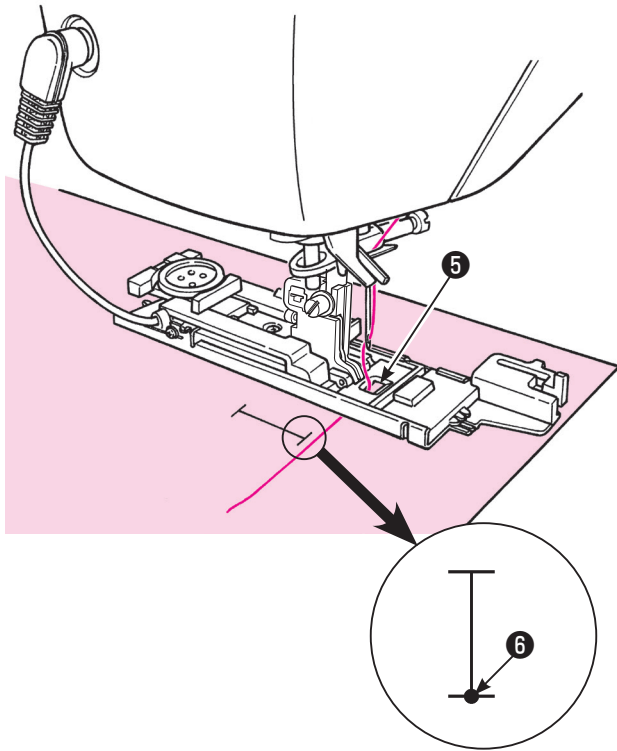
ミシン面部のセンサーピン穴に差し込みます。

※ しっかり奥まで差し込んでください。

※ センサーピンをセットしないでスタートさせると、メッセージが表示されます。



センサーピンをセットして  
再度スタートさせます。



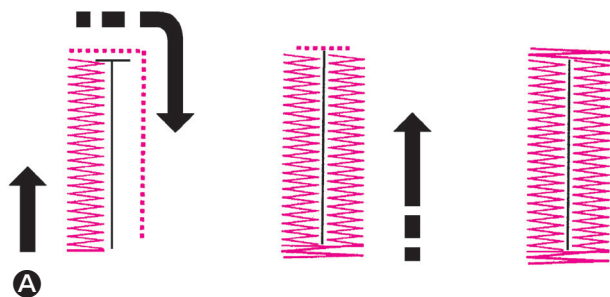
## 4 布地を入れます。

押えを上げて、上糸を押えの穴⑤から下に通し、横に引き出します。

布地を入れ、ぬい始めの位置⑥に針を下ろして押えを下げます。

## 5 ミシンをスタート **A** させます。

ボタン穴かがりをぬい終わったところで、自動的に止まります。



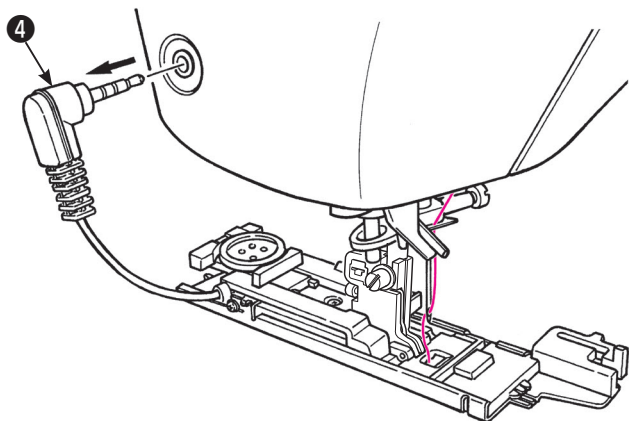
※ 引き続き同じサイズのボタン穴かがりをぬう場合、糸切りボタンを押して糸を切り、押えを上げます。別の場所にそのままの状態では押えを下ろし、スタートさせます。

※ ボタン穴かがりぬい途中は、ぬい目の長さや振り幅を変更しないでください。ぬいが乱れることがあります。

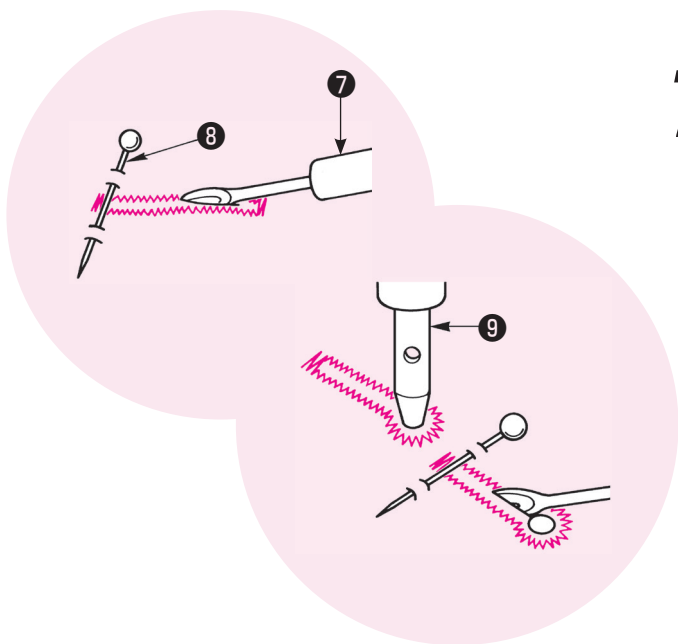
※ ボタン穴かがりをぬい終わるまでに糸切りボタンを押したり、押えを上げると続きをぬうことはできません。

※ 生地の種類や生地の方向によって、側ぬい部の振り幅に多少ばらつきがでることがあります。





**6** ぬい終わったら、センサーピン④を抜きます。



**7** リッパー⑦で穴をあけます。

**【両かん止め】**

かん止めの所にまち針⑧をわたして、リッパー⑦でぬい糸を切らないように中央の布地を切り開きます。

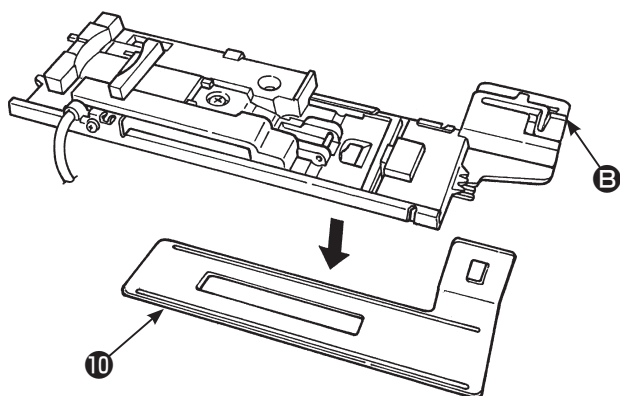
**【はと目ボタン穴かがり】**

厚紙などを下に置いて、はと目パンチ⑨で穴をあけてから、リッパーで中央の布地を切り開きます。

● ボタン穴かがり固定板

**⚠** ロックモード

薄地や段部近辺のぬいにくいボタン穴かがりには、固定板をセットするとスムーズにぬうことができます。



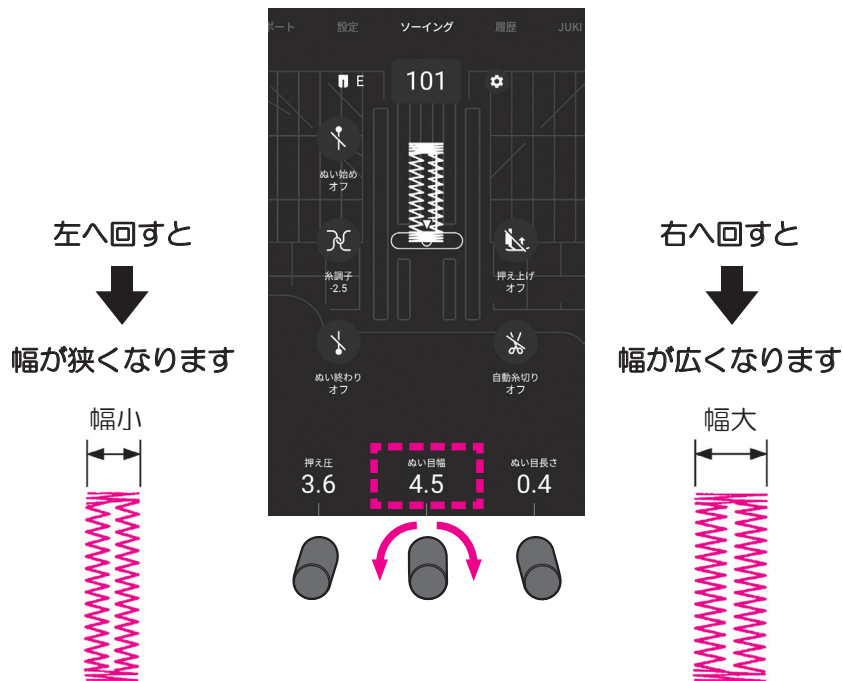
1. ボタン穴かがり押えに固定板⑩をセットしたまま、押えを取り付けます。
2. 押えと固定板の間に布地を入れてぬいます。

※ ③の樹脂をつまむと固定板の取り外しができます。

## ■ぬい目の幅を変えるとき

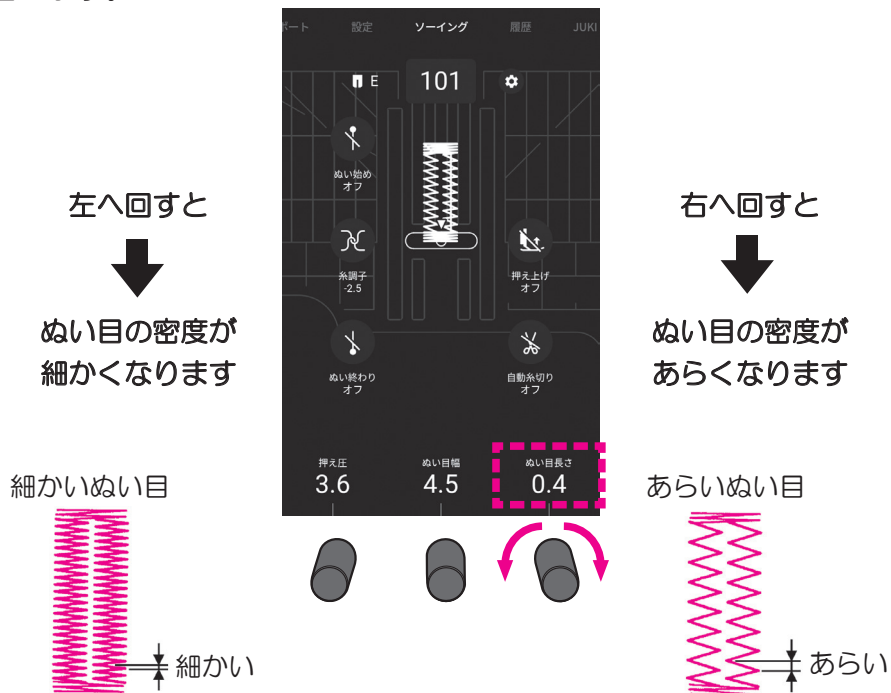
調節ダイヤルを回します。

※ 電源を切ったときや、他の模様を選択した場合、ぬい目の幅、ぬい目の長さのセットはリセットされます。



## ■ぬい目の長さを変えるとき

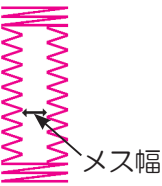
調節ダイヤルを回します。



※ 電源を切ると、メス幅はリセットされます。

## ■ ボタン穴かがりのメス幅変更

ボタン穴かがりのメス幅を変更することができます。



標準

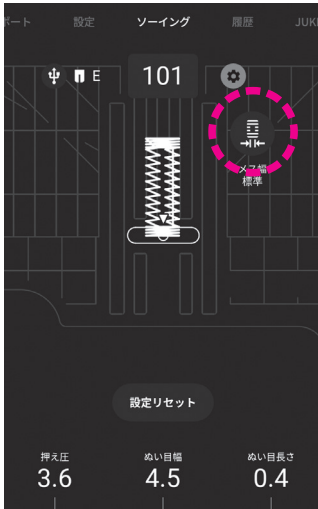
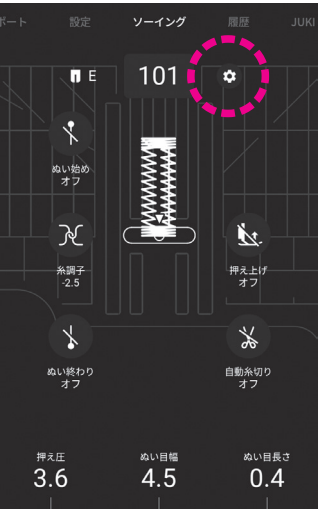



広い



狭い

※ 初期設定は「標準」です。



模様を選択した後に  を押します。

アイコンを押すと、メス幅を3段階で変更できます。



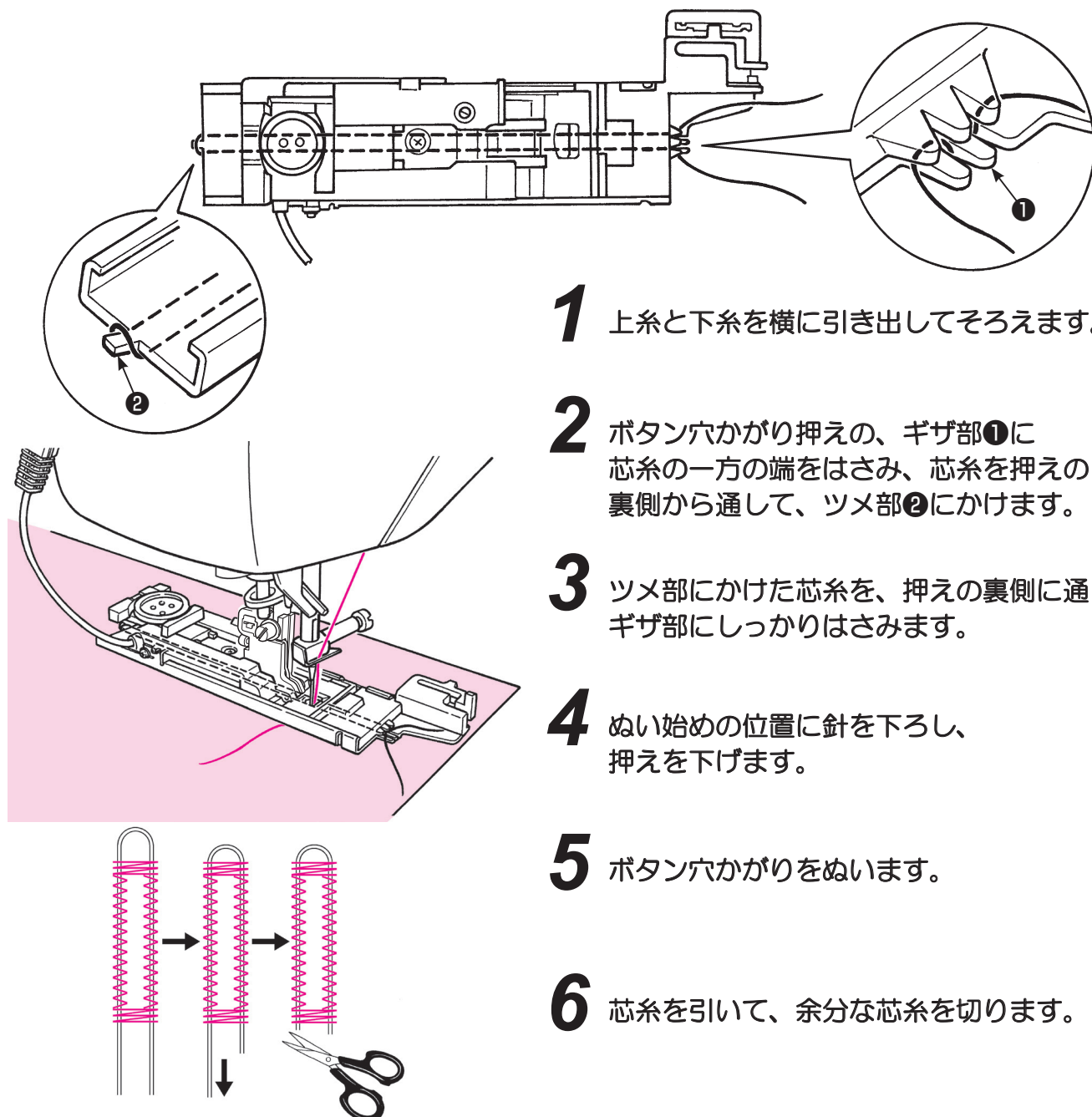
## ■ 芯入りボタン穴かがり

模様 No.	模様	押え
101		ボタン穴かがり押え(E)

 ロックモード


芯糸を入れてぬうとボタン穴かがりの伸びを防ぎ、丈夫なボタン穴かがりができます。

※ 芯入りボタン穴かがりは両かん止め模様（模様 No.101）でぬってください。



- 1** 上糸と下糸を横に引き出してそろえます。
- 2** ボタン穴かがり押えの、ギザ部①に芯糸の一方の端をはさみ、芯糸を押えの裏側から通して、ツメ部②にかけます。
- 3** ツメ部にかけての芯糸を、押えの裏側に通してギザ部にしっかりはさみます。
- 4** ぬい始めの位置に針を下ろし、押えを下げます。
- 5** ボタン穴かがりをぬいます。
- 6** 芯糸を引いて、余分な芯糸を切ります。

## ■ ボタン穴かがり下ぬい

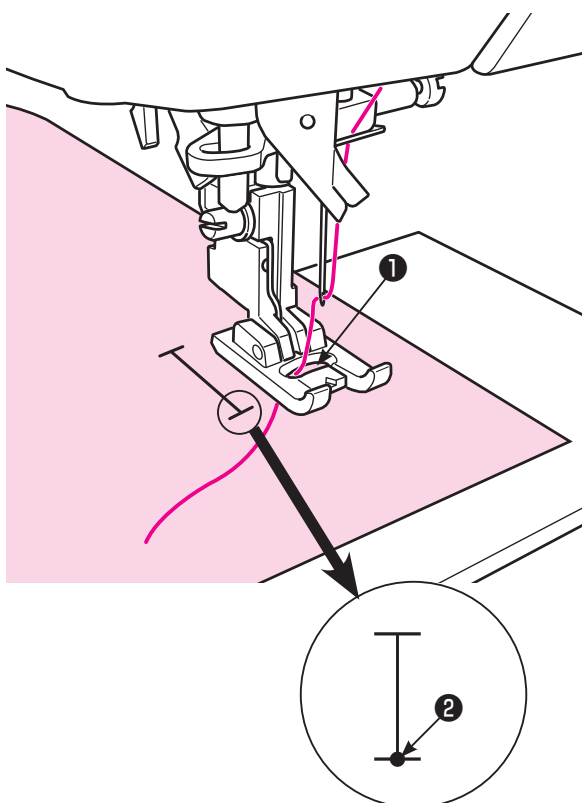
模様 No.	模様
121	

模様 No. 101 ボタン穴かがりの下ぬいに使います。  
玉縁ボタン穴かがりぬいにも使えます。

## 6.15. 手動ボタン穴かがり（2ステップ）

模様 No.	模様	押え
102		手動ボタン穴かがり押え (I)
103	MEM 	ロックモード

※ボタン穴かがりのぬい目の幅や、ぬい目の長さを変えたいときは 89 ページを参照ください。



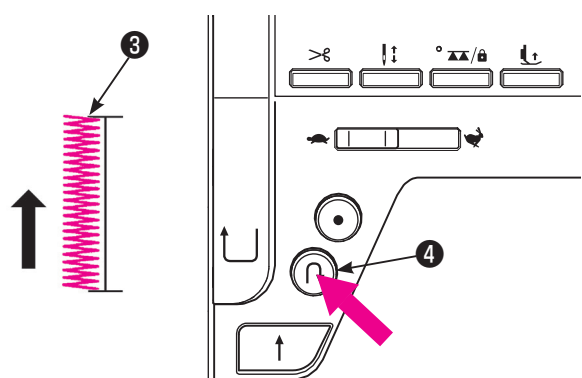
**1** 手動ボタン穴かがり押え (I) をセットします。

**2** 上糸を押えの穴①から下に通し、横に引き出します。

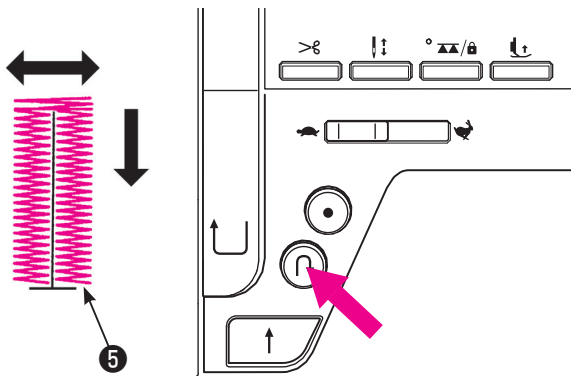
**3** ぬい始めの位置②に針を下ろし、押えを下げます。

**4** スタートストップボタンを押し、ぬい始めます。

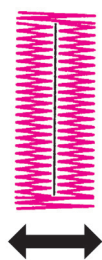
※途中、スタートストップボタンを押すとミシンが止まります。再度スタートストップボタンを押すと、続けてぬいます。



ボタン穴かがりの左側を必要な長さ③までぬったら、返しぬいボタン④を押しかん止めと右側をぬいます。

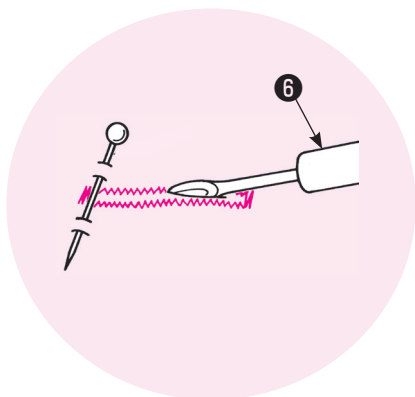


**5** ぬい始めの位置⑤に戻ったら、返しぬいボタンを押します。



**6** かん止めと止めぬいをし、自動的に止まります。

糸を切り、押えを上げて布地を取り出します。



**7** リッパー⑥で穴をあけます。

※ 手動ボタン穴かがりは、左と右側のぬい方向が異なりますので、布地によっては左右の密度が異なって見える場合があります。


MEM  
 ※ No. 103 手動ボタン穴かがり（メモリー）の場合

最初にぬった長さが記憶されるので、2回目からは **4** の操作は必要ありません。

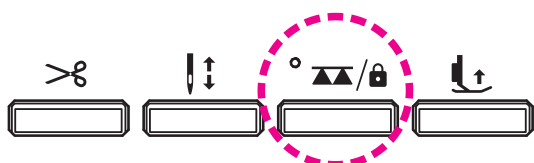
記憶された長さを変更したいときは、もう一度模様を選び直してください。

## 6.16. ボタン付け

模様 No.	模様	押え
122	⊖	手動ボタン穴かがり押え (I)

 **ロックモード**

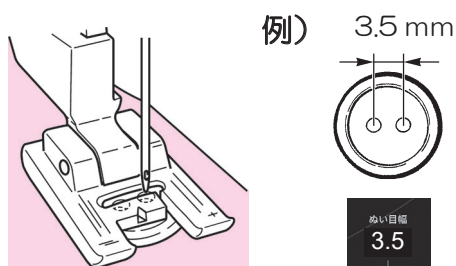
※ ボタン付けの際は自動糸切りを使用しないでください。



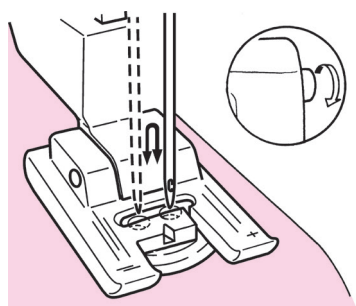
**1** 送り歯上下/ロックモードボタンを押して、送り歯を下げます。

ランプ点灯：送り歯下位置

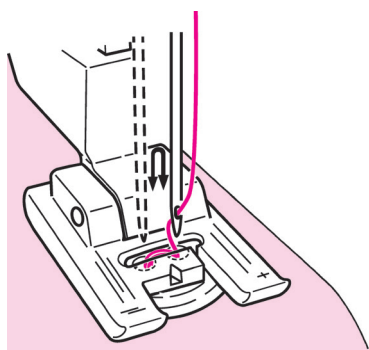
ランプ消灯：送り歯上位置



**2** 押えの下にボタンをセットし、ボタン穴の間隔とぬい目の幅が一致するように調整します。



**3** 針がボタン穴に落ちるようにはずみ車（プリー）を回して確認します。



**4** はずみ車を手で回しながらぬいます。


 生地を引っ張ると、ボタンがずれて針が折れる危険があります。

別売品のボタン付け押え（125 ページ参照）を使用すると、より確実にボタン付けをすることができます。

**5** 上糸と下糸を 10 cm くらい残して切ります。ぬい終わりの下糸を引いて互いに結びます。



## 6.17. キルティング（フリーモーション）

模様 No.	模様	押え
001		キルト押え（ルーラー用）

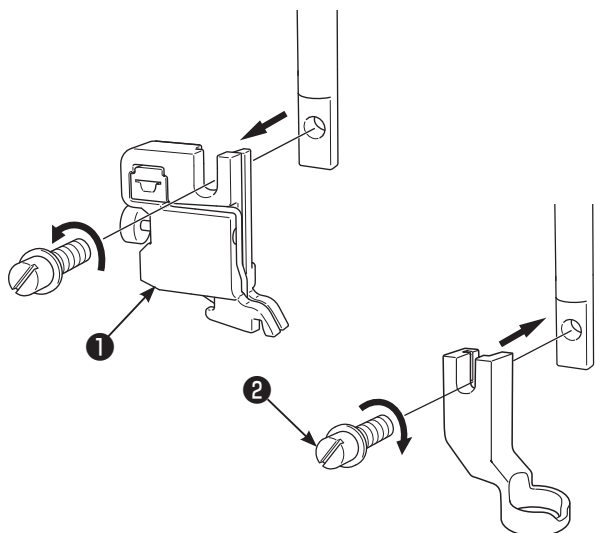
 ロックモード

※ 必ず直線（中基線）模様でぬってください。

シグザグ模様でフリーモーションをする場合、別売品のキルト押え（シグザグタイプ）と押えジョイントをご使用ください。

ミシンの送りを使わず自由な方向に布地を動かしてキルトステッチを入れることを、フリーモーションキルティングといいます。

送り歯を下げた（ドロップフィード）状態で、手で布地を動かすことにより、自由な曲線など、360度の様々な方向にぬうことができます。



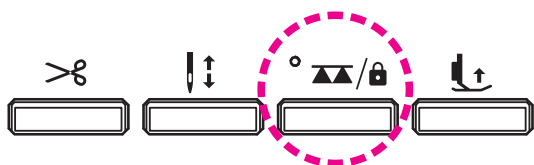
**1** 表布、キルト綿、裏布を重ね、ピンやしつけで止めておきます。

**2** キルト押えを取り付けます。

押えホルダー①を外します。（21 ページ参照）  
キルト押えをセットし、押えホルダー締めネジ②をしっかりとしめます。

**3** 送り歯上下／ロックモードボタンを押して、送り歯を下げます。

ランプ点灯：送り歯下位置  
ランプ消灯：送り歯上位置



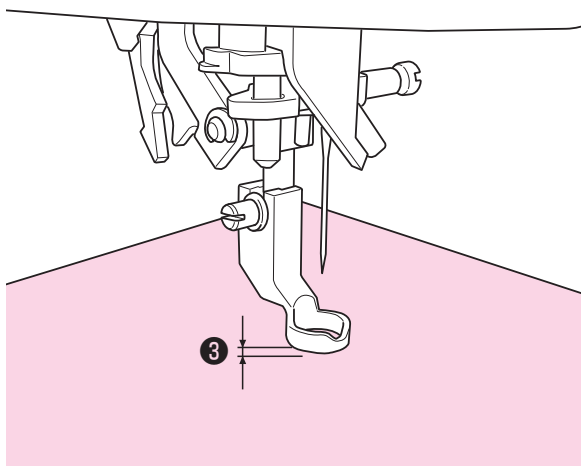
**4** 布地を押えの下に入れ、押えを下げます。

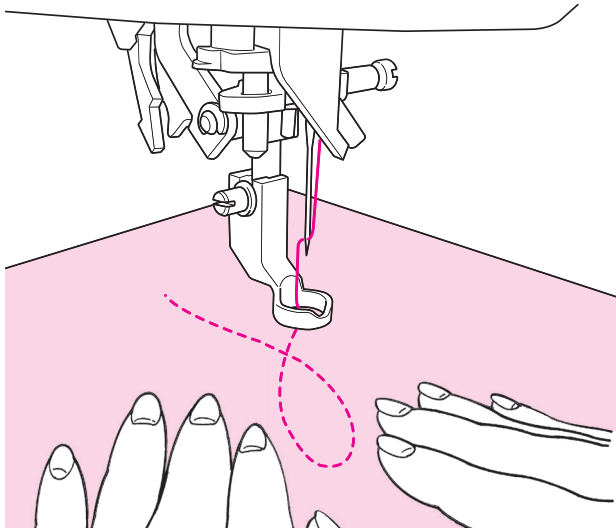
**5** 布地の厚さに合わせ、押えの高さを調整します。

- ・ 押えのネジ止めで高さ調整できます。
- ・ 微量押え上げ高さ設定を使っても調整できます。（39 ページ参照）

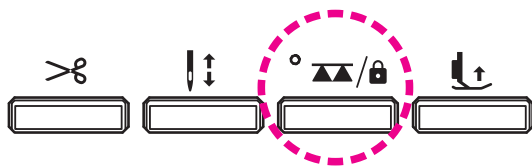
布上 1 mm③くらいの位置に合わせて、抵抗なくスムーズに動かせます。

※ 押え圧を弱くすることにより段差部でもきれいにぬうことができます。





- 6** 両手で布地を持ち、布地がたるまないように動かします。  
ぬい目の長さは、1.5~2.0mmくらいが目安です。



- 7** フリーモーションが終わったら、送り歯上下/ロックモードボタンを押して、送り歯を上げます。

次にミシンが動きはじめると同時に送り歯が上がります。

※ キルト定規を使うこともできます。

## ポイント


### ●止めぬいのしかた

- ぬい始めは、下糸を布地の上に引き上げ、上糸と下糸を一緒に持った状態で、その場で3針ほどぬって止めます。その後、布地を動かし始めると布地の裏もきれいです。
- ぬい終わりも、その場で3針ほどぬって止めます。

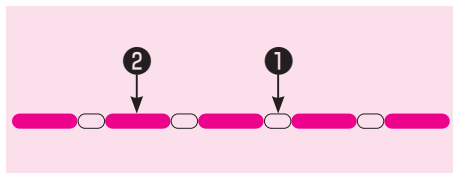
### ●ぬい目の長さの揃え方

- フットコントローラを使うと、両手を布地に添えることができるので、布地をらくに動かせます。
- まず、スピードコントロールつまみを中低速~中速に設定し、コントローラを一番下まで踏み込み、布地を動かしてみます。
  - ぬい目があらかくなってしまった場合は、スピードコントロールを「はやくなる」に
  - ぬい目が細かくなってしまった場合は、スピードコントロールを「おそくなる」に調節してください。

## 6.18. ハンドステッチ

模様 No.	模様	押え
418		手動ボタン穴かがり押え (I)

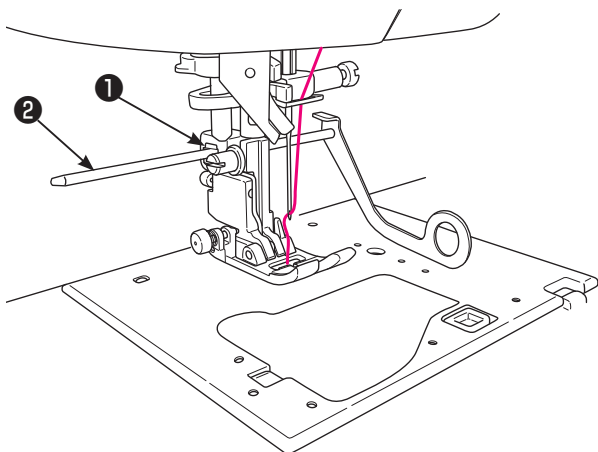
 ロックモード



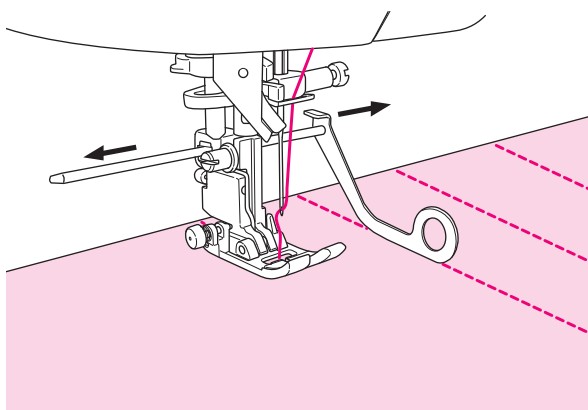
上糸に透明な糸を使用することによって、ぬい目を手ぬい風にすることができます。

- ① 上糸
- ② 下糸

## 6.19. キルティング（棒定規）



**1** 押えホルダーの穴①に棒定規②を差し込みます。



**2** 間隔を一定に保ちながらぬうことができます。

左右の間隔が自由に調節できます。

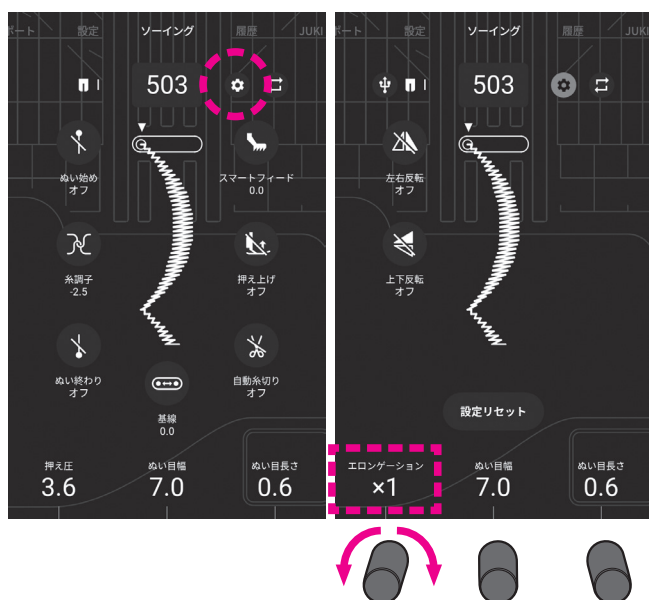
## 6.20. エロンゲーション

模様 No.	模様	模様 No.	模様	模様 No.	模様	模様 No.	模様	押え
502		510		680		836		手動ボタン穴かがり押え (I)
503		677		681		837		⚠️ ロックモード
508		678		682				
509		679		835				

模様のぬい密度を変えることなく模様の長さを変更することができます。

設定範囲：1～5  
※ 初期設定は「1」です。

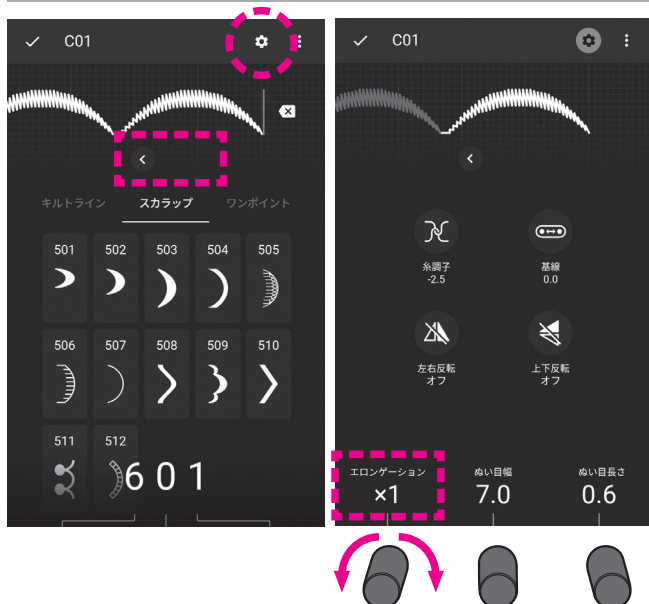
### シングルモード



模様を選択した後に を押します。

調節ダイヤルを回して、エロンゲーションのサイズを設定します。

### コンビネーションモード




で、編集したい模様を選びます。

を押します。

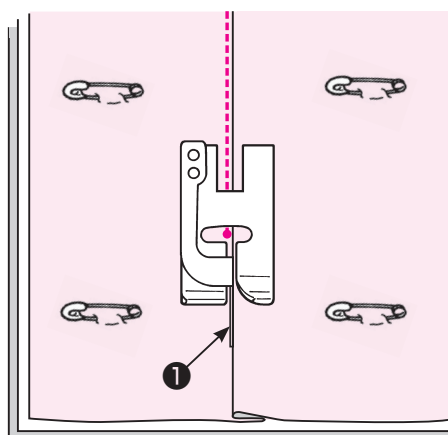
調節ダイヤルを回して、エロンゲーションのサイズを設定します。

## 6.21. 落としキルト

模様 No.	模様	押え
001		落としぬい押え (R)

 ロックモード

パッチワークやアップリケの周りを、キルティングすることを「落としキルト」といいます。布の重なりに対して低いほうに針を落としてぬっていきます。キルトのデザインに立体感を出したり強調する効果もあります。

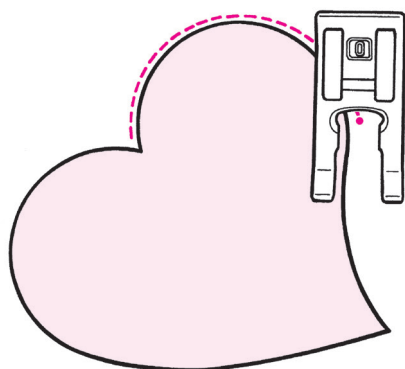


**1** パッチワークやアップリケをした表布、キルト綿、裏布を重ね、ピンやしつけで止めておきます。

**2** パッチワークの折り山に押えのガイド①を当ててぬいます。

ガイドの後ろに針が落ちるので、折り山のきわをぬうことができます。

※希望の位置がぬえない場合は、針基線を調節してください。(41 ページ参照)




### ●曲線の落としキルトの場合

手動ボタン穴かがり押え (I) またはオープン押え (O) を使用し、こまめに押えを上げて方向を変えながらぬいます。

キルト押え (Q) を使ったフリーモーションでもできます。  
⇒ 95 ページ参照

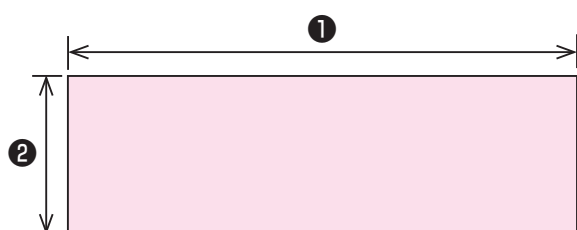
## 6.22. キルトスリーブ付け

模様 No.	模様	押え
044		落としぬい押え (R)

 ロックモード

キルトスリーブ（キルトタペストリー裏側の棒通し用生地）を付けるための幅の狭いまつりぬいです。幅が狭いまつりぬいなので、ぬい目がキルトの表から見えにくくなります。

### ■キルトスリーブの作り方



**1** キルトスリーブ用の生地を準備します。

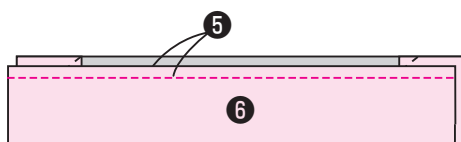
- ①キルトの幅
- ② 22cm



**2** 両端を 2cm 折り、3 点ジグザグぬい（幅 0.7cm、長さ 0.1cm）でぬいます。

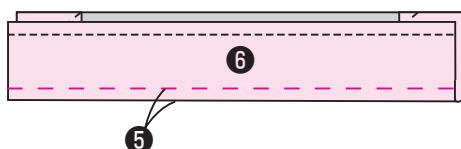
※ ぬいジワを防ぐため、ゆっくりぬいます。

- ③ 2cm
- ④キルトスリーブ（裏）



**3** 図のようにぬいます。

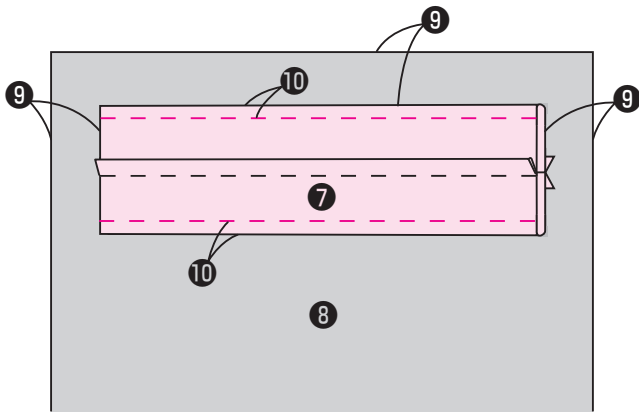
- ⑤ 1cm
- ⑥キルトスリーブ（表）



**4** 輪になった方に、手でしつけをします。

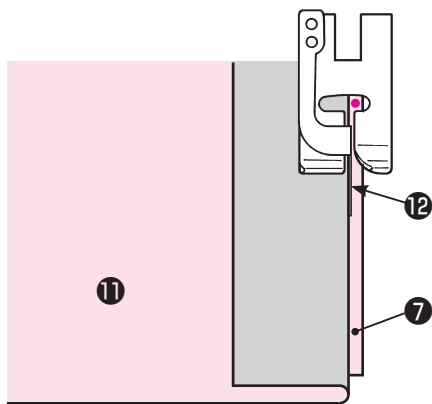
- ⑤ 1cm
- ⑥キルトスリーブ（表）

## ■キルトにキルトスリーブを付ける



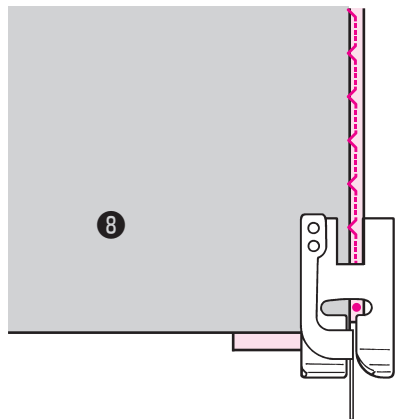
**5** 図のようにしつけをします。

- ⑦キルトスリーブ（表）
- ⑧キルト（裏）
- ⑨ 2cm
- ⑩ 0.2cm

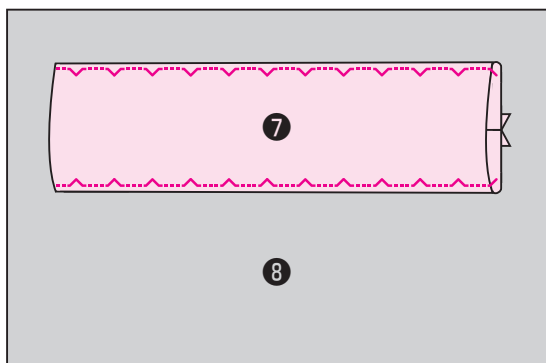


**6** キルトをしつけより折り、  
押えのガイドを折り山に当ててぬいます。  
ぬい始めとぬい終わりで、返しぬいボタンを  
押して止めぬいをします。

- ⑦キルトスリーブ（表）
- ⑪キルト（表）
- ⑫ガイド



**7** 逆側もキルトをしつけより折り、  
押えのガイドを折り山に当ててぬいます。  
ぬい始めとぬい終わりで、返しぬいボタンを  
押して止めぬいをします。



**8** ぬい終わったらしつけを外します。



# 7. パネル操作

















## 7.1. サポート

ミシンの主な使い方を確認できます。  
確認したい項目を選びます。



## 7.2. 設定

機能（17 種類）の設定変更ができます。

		用途	初期設定
①	 ダーニング調整	模様を調整できます。	0
②	 針停止位置	ミシンを止めたときの針の位置（上下）を設定できます。	下停止
③	 ピボット	ミシンを止めたとき、針が下停止のまま自動で押えが上がるように設定できます。	OFF
④	 音量	立ち上げ時や、パネルのアイコンを押すときに鳴る音の音量を変えることができます。	-
⑤	 明るさ	パネルや縫製エリアの明るさを調節できます。	-
⑥	 速度	ぬい始め、返しぬいの速度を設定できます。	低速
⑦	 押え上げ高さ	押え上げ量を設定できます。	6mm
⑧	 セーフティ解除	押え上げ状態でも操作できるように設定できます。	-
⑨	 フットスイッチ設定	フットスイッチに割り当てる操作を設定できます。	返しぬい
⑩	 2本針	2本針でぬう設定にできます。	OFF
⑪	 無線LAN	無線 LAN につながることができます。	-
⑫	 初期化	ミシンのデータを初期化できます。	-
⑬	 ソフトウェアバージョン表示	ソフトウェアのバージョンを確認できます。 ※ソフトウェアの更新もできます。	-
⑭	 ミシンLOG表示	ミシンログを確認できます。 ※バックアップデータの書き出しや取り込みもできます。	-
⑮	 言語	メッセージなどの言語を変更できます。	日本語
⑯	 ユーザー補助	画面の色を変えることができます。	OFF
⑰	 シャットダウン	データを保護して電源を落とすことができます。	-

## ① ダーニング調整

模様を調整できます。

調整範囲：-20～20

模様をきれいにぬいたい場合、布地や糸、芯地を変えたときに送りの前後バランスを確認します。

この調整値は全模様に反映されます。

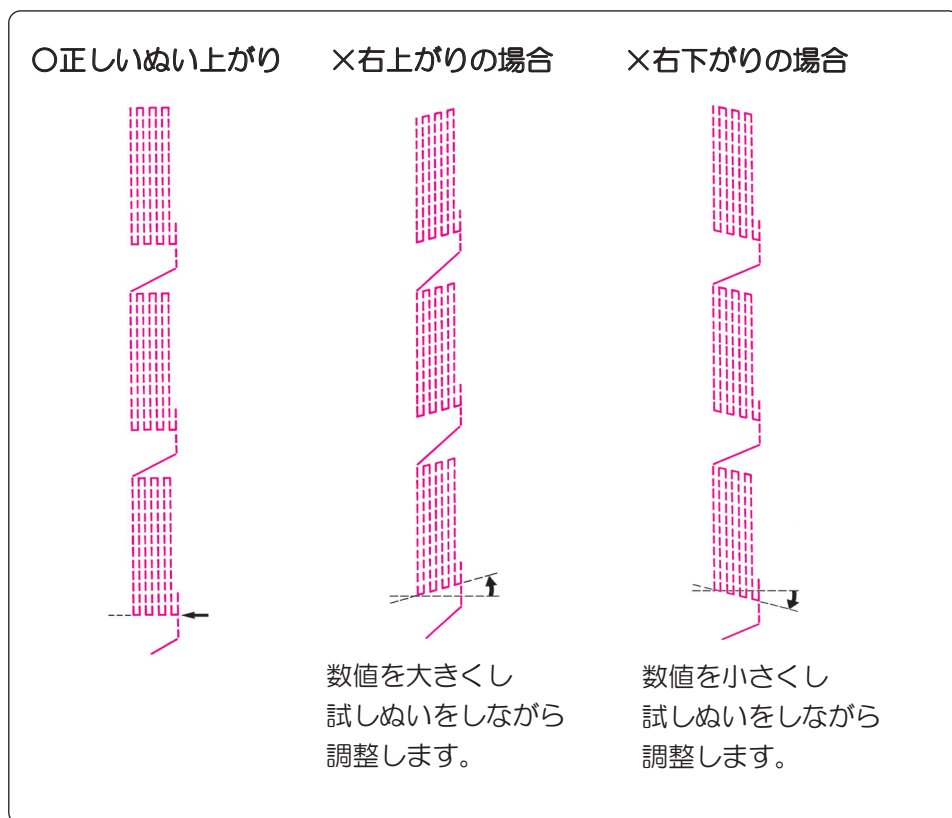


[設定] から [ダーニング調整] を選びます。

試しぬいをし、模様を確認しながら調整します。  
スライダーを左右にスライドさせて調整します。



設定画面の枠外にタッチすると、共通設定画面に戻ります。



## ② 針停止位置

ミシンを止めたときの針の位置（上下）を設定できます。



[設定] から [針停止位置] を選びます。

下停止・上停止を選びます。

設定画面の枠外にタッチすると、共通設定画面に戻ります。

## ③ ピボット

ミシンを止めたとき、針が下停止のまま自動で押えが上がるように設定できます。



[設定] から [ピボット] を選びます。

### • ピボット機能の ON・OFF 設定



: ON



: OFF

### • ピボット高さの設定

スライダーを左右にスライドさせて設定します。



設定画面の枠外にタッチすると、共通設定画面に戻ります。

## ④ 音量

立ち上げ時や、パネルのアイコンを押すときに鳴る音の音量を変えることができます。



[設定] から [音量] を選びます。

スライダーを左右にスライドさせて調整します。

小さくなります 大きくなります



設定画面の枠外にタッチすると、共通設定画面に戻ります。

## ⑤ 明るさ

パネルや縫製エリアの明るさを調節できます。



[設定] から [明るさ] を選びます。

スライダーを左右にスライドさせて調整します。

暗くなります 明るくなります



画面を明るくすると、パネルがあたたかくなる場合があります。

生地や糸の色に合わせて変更すると、見やすくなります。

青みが強くなります

赤みが強くなります

設定画面の枠外にタッチすると、共通設定画面に戻ります。

パネル操作が3分ないと、画面が暗くなります。画面にタッチすると、元に戻ります。

## ⑥ 速度

ぬい始め、返しぬいの速度を設定できます。

※ 初期設定は「低速」です。



[設定] から [速度] を選びます。

ぬい始め速度と返しぬい速度を設定します。

設定画面の枠外にタッチすると、共通設定画面に戻ります。

## ⑦ 押え上げ高さ

押え上げ量を設定できます。

※ 初期設定は「6mm」です。




[設定] から [押え上げ高さ] を選びます。

6mm、8mm、10mm から選びます。

設定画面の枠外にタッチすると、共通設定画面に戻ります。

## ⑧ セーフティ解除

押え上げ状態でも操作できるように設定できます。

 <b>注意</b>	セーフティ解除をする場合は、ミシンの操作に十分注意してください。
---	----------------------------------



[設定] から [セーフティ解除] を選びます。

解除したい項目にチェックを入れると、セーフティ解除となり、押え上げ状態でも操作できるようになります。

設定画面の枠外にタッチすると、共通設定画面に戻ります。

## ⑨ フットスイッチ設定

フットスイッチに割り当てる操作を設定できます。

※ 初期設定は「返しぬい」です。



[設定] から [フットスイッチ設定] を選びます。

フットスイッチに割り当てる操作を選びます。

設定画面の枠外にタッチすると、共通設定画面に戻ります。

※ 自動止めぬい糸切り押え上げを設定している状態で、フットスイッチを「返しぬい」または「止めぬい」に設定すると、フットスイッチ操作でぬい終わりの止めぬい糸切り押え上げができます。

## ⑩ 2本針

2本針でぬう設定にできます。

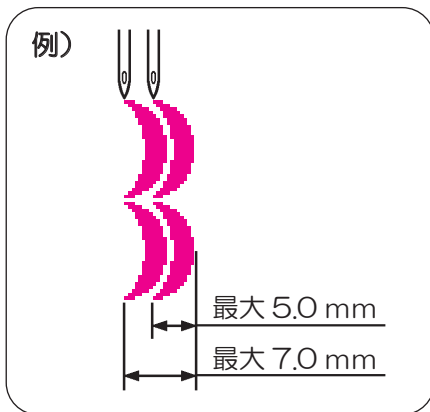


**注意**

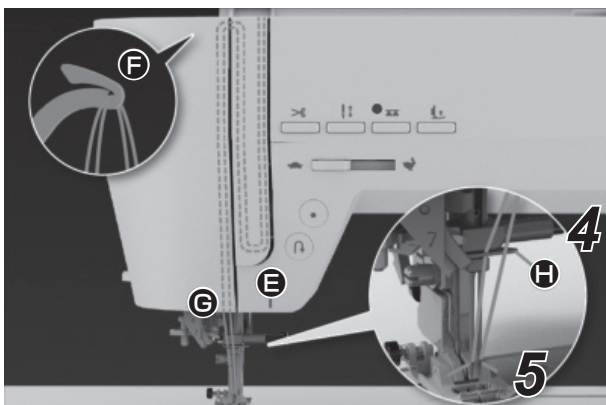
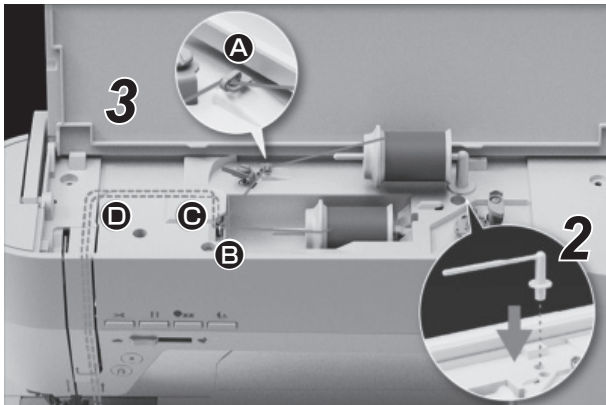
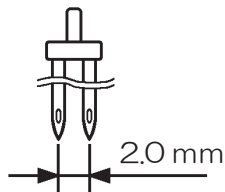
針や押えの交換のときは、電源スイッチを切るか、ロックモードにしてください。

注意：2本針ぬいを行う場合は、模様を選択をする前に必ず2本針の設定を行ってください。

001	004	005	006	007	008	009	010	012	014	030	押え 基本押え(A) 手動ボタン穴かがり押え(I)
031	201	502	503	508	509	510	677	835	836		



2本針を使って、きれいなかざり模様をぬうことができます。  
2本針設定にすると、ぬい目の幅設定は最大5mmに制限されます。



### 1 針を2本針に交換します。

※2本針は必ず針幅が2.0 mmの針を使用してください。

※2本針は別売品です。

### 2 付属の補助糸立棒を立てます。

### 3 糸立棒から引き出した糸は、最初に糸案内Aにかけます。

その後は、B～Cまで同じ糸道です。

※2本針ぬいのときは、糸は60番より細い糸を使用してください。

### 4 右針の糸は、針棒糸かけHにかけません。

### 5 2本針に左右に分けて糸を通します。

※針穴に糸を通すときは、自動糸通しは使えませんので、針の手前から向こう側に手で通してください。

※2本針のときは、自動糸切りは使えません。





## 6 2本針設定をします。

[設定] から [2本針] を選びます。

[ON] を選び、[設定する] を押します。

[消去] を押すと設定が確定します。

## 7 模様を選びます。

2本針に設定すると、2本針でぬえる模様が表示されます。

## ⑪ 無線 LAN

無線 LAN につながることができます。



[設定] から [無線 LAN] を選びます。

### • 無線 LAN 設定

: ON

: OFF

設定を ON にすると、アクセス可能なアドレスが表示されます。

つなぐ無線 LAN を選びます。

左上の ✓ を押すと設定が確定し、元の画面に戻ります。

## ⑫ 初期化

ミシンのデータを初期化できます。



[設定] から [初期化] を選びます。

模様データを削除しない場合は、□に☑を入れます。

[初期化] を押すと、データが初期化されます。

[キャンセル] を押すと、初期化がキャンセルされます。

## ⑬ ソフトウェアバージョン表示

ソフトウェアのバージョンを確認できます。

※ソフトウェアの更新もできます。



[設定] から [ソフトウェアバージョン表示] を選びます。

ソフトウェアバージョンが表示されます。

設定画面の枠外にタッチすると、共通設定画面に戻ります。

ソフトウェアの更新をする場合は、[ソフトウェア更新] を押します。

## ● ソフトウェアの更新

 ソフトウェアの更新中は、電源を切らないでください。

ソフトウェアは販売店にお問合せください。

### < USB 使用の場合 >

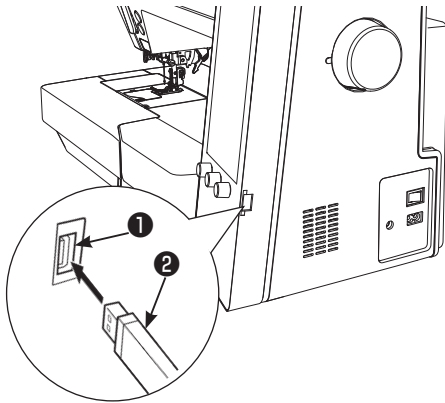
#### USB メモリに保存する際の注意点

※ダウンロードしたソフトウェアは、そのまま USB メモリの直下に保存してください。

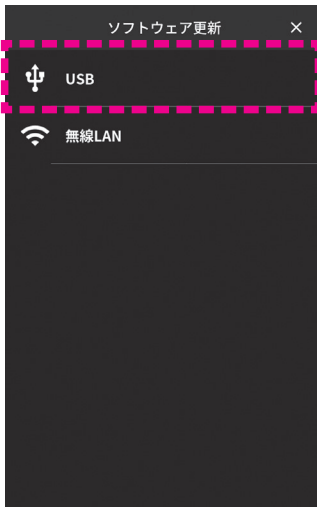
フォルダ「prog」と Zip ファイル「HZLUX8\_PANEL\_\*\*\*\*\*.zip」の 2 つが保存されます。

※USB メモリ内に以前のソフトウェアが残っている場合は予め削除してください。

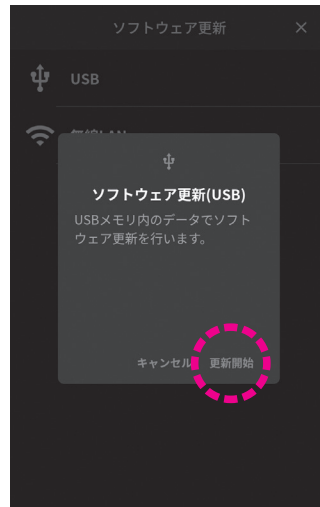
※USB メモリは、1 G以上の容量が必要です。



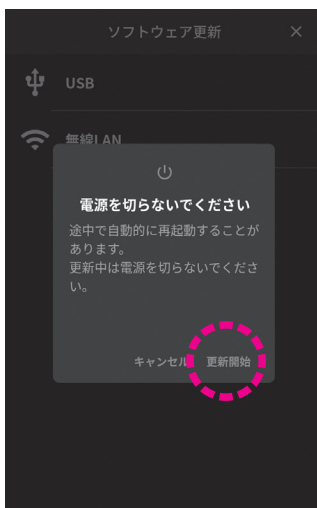
USB メモリ②を USB 差し込み口①に差し込みます。




[USB] を選びます。



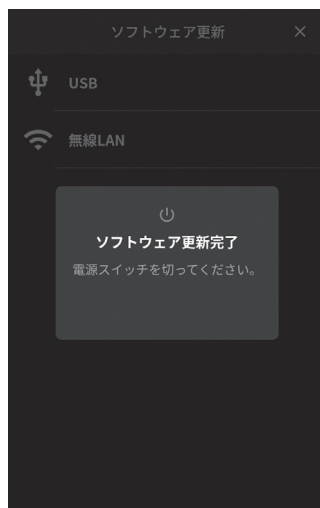
[更新開始] を押します。



次の画面で [更新開始] を押すと、ソフトウェアの更新が始まります。

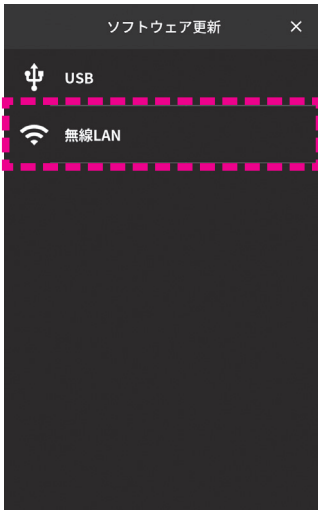
 ソフトウェアの更新中は、電源を切らないでください。

更新が正常に行われると「ソフトウェア更新完了」のメッセージが表示されます。



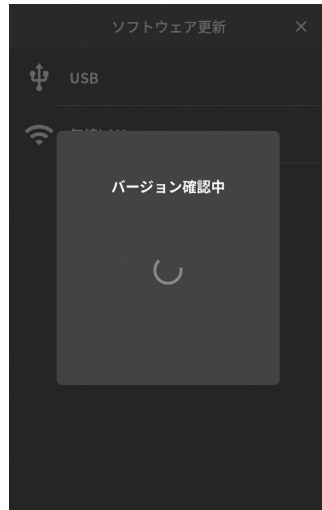
USB メモリを外し、ミシンの電源を切り、再度電源を入れます。

## ＜無線 LAN 使用の場合＞



[無線 LAN] を選びます。

バージョンが確認されます。



[ダウンロード] を押します。

次の画面で [更新開始] を押すと、ソフトウェアの更新が始まります。

※ 通信環境により、ダウンロードに時間がかかる場合があります。

**!** ソフトウェアの更新中は、電源を切らないでください。



更新が正常に行われると「ソフトウェア更新完了」のメッセージが表示されます。

ミシンの電源を切り、再度電源を入れます。



### ● バックアップデータの取り込み

ソフトウェアの更新を行っても設定は保持されますが、万が一設定が全て初期化された場合は、バックアップデータを取り込むことで設定を元に戻すことができます。

バックアップデータの書き出し・取り込みは、次ページを参照ください。

## ⑭ ミシンLOG 表示

ミシンLOGを確認することができます。

※バックアップデータの書き出しや取り込みもできます。

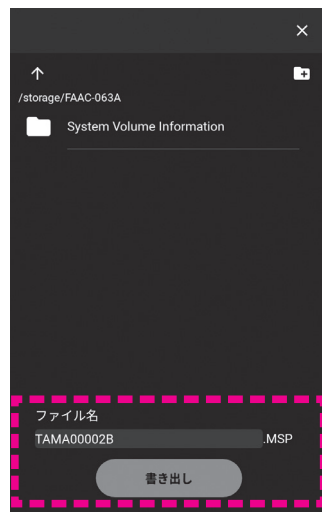
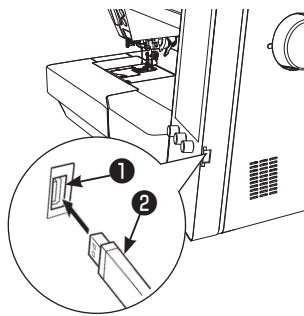


[設定] から [ミシンLOG表示] を選びます。

ミシンLOGが表示されます。

設定画面の枠外にタッチすると、共通設定画面に戻ります。

## ● バックアップデータの書き出し



USBメモリ②をUSB差し込み口①に差し込みます。

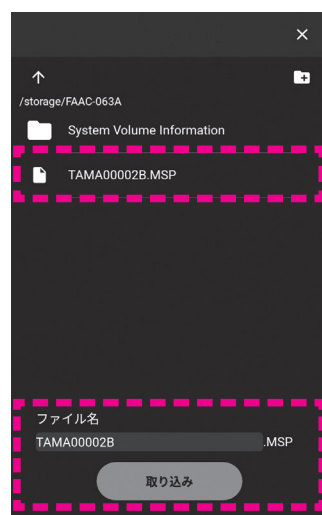
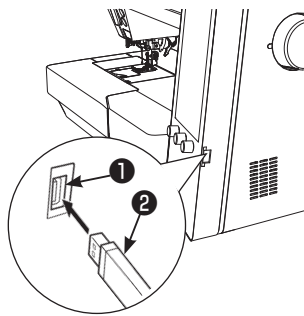
[バックアップ書き出し] を押します。

任意のファイル名を入力し、[書き出し] を押します。

※ファイル名の初期値は、製品のシリアル番号になります。

※本機器には時計機能がないため、保存されたファイルの更新日時については、差異が生じます。

## ● バックアップデータの取り込み



USBメモリ②をUSB差し込み口①に差し込みます。

[バックアップ取り込み] を押します。

取り込みたいファイルを選び、[取り込み] を押します。

取り込み中（保存中）は電源を切らないでください。

取り込みが正常に行われると「電源スイッチを切ってください」のメッセージが表示されます。

ミシンの電源を切り、再度電源を入れます。

## ⑮ 言語

メッセージなどの言語を変更できます。

※ 初期設定は「日本語」です。



[設定] から [言語] を選びます。

表示させたい言語を選びます。

設定画面の枠外にタッチすると、共通設定画面に戻ります。

## ⑯ ユーザー補助（表示白黒反転）

画面の色を変えることができます。



[設定] から [ユーザー補助] を選びます。

### • ユーザー補助設定

: ON

: OFF

設定画面の枠外にタッチすると、共通設定画面に戻ります。

## ⑰ シャットダウン

データを保護して電源を落とすことができます。



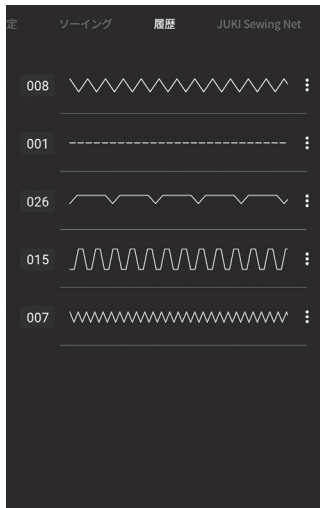
[設定]から[シャットダウン]を選びます。

「電源スイッチを切ってください」のメッセージが表示されたら、電源スイッチを切ります。

## 7.3. ソーイング

詳細は「5. 模様ぬいの設定」を参照ください。

## 7.4. 履歴



ぬった模様や設定などが、履歴に残ります。

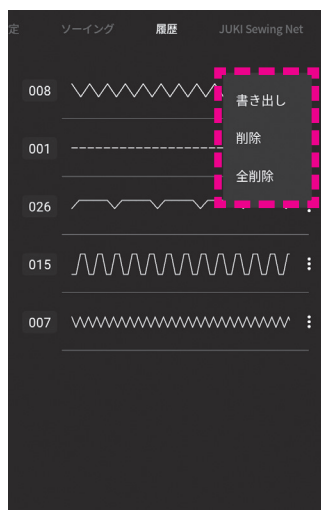
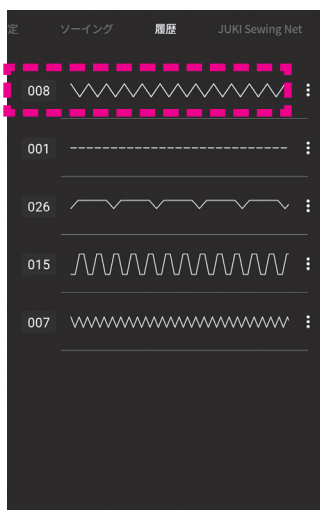
(最大履歴数：10)

※一度ぬった後、別の模様を選択した時点で[履歴]に表示されます。


同じ設定の模様をぬいたいときに、[履歴]の中から選びます。

設定値も保存されているので、過去にぬった模様と設定値が再現できます。

初期設定から変更されている設定は、ソーイング画面で青色で表示されます。

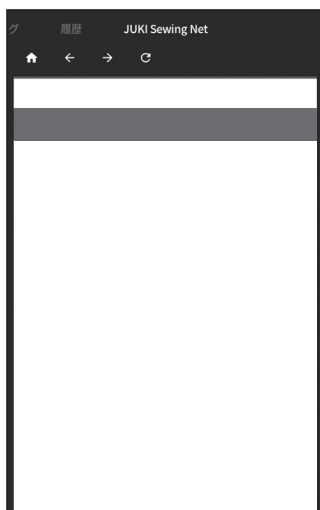


履歴画面でぬいたい模様を選ぶと、その模様が選択され、ソーイング画面が表示されます。

を押すとメニューが表示されます。

履歴の削除と、USBメモリへの書き出しが行えます。

## 7.5. JUKI Sewing Net



無線LANにつながっている場合、JUKIのホームページが表示されます。



## 8. メッセージ一覧

※ メッセージの操作を行うか、画面上のボタンを押すとメッセージは消えます。

			
<p>起動時、針が動くとき。 [OK] を押すと針が動き、最初の画面が表示されます。</p>	<p>ボタン穴かがり模様を選択時、ボタン穴かがりセンサーピンをセットしないでスタートさせたとき。</p>	<p>ボタン穴かがり模様以外の模様を選択時、ボタン穴かがりセンサーピンをセットした状態でスタートさせたとき。</p>	<p>押え上昇時の安全装置が働いたとき。</p>
			
<p>「JUKI スマートフィード」に対応していない模様を選択されている状態で、「JUKI スマートフィード」検知センサーが検出されたとき。</p>	<p>下糸が少なくなってきたとき。 この状態でもそのまま 30 針ぬい続けることができます。</p>	<p>フットコントローラーがセットされている状態で、スタート・ストップボタンを押してスタートさせようとしたとき。</p>	<p>1 本針設定・直線仕様から、標準仕様に変更するとき。</p>

			
<p>標準仕様から、1本針設定・直線仕様に変更するとき。</p>	<p>標準針板で2本針仕様時に、直線針板を装着したとき。</p>	<p>標準針板で1本針設定時に、直線針板を装着したとき。</p>	<p>2本針設定を変更するとき。</p>
			
<p>履歴のページで [全削除] を選んだとき。</p>	<p>ミシンのデータを初期化するとき。</p>	<p>これ以上コンビネーションを保存できないとき。</p>	<p>コンビネーションのページで [全削除] を選んだとき。</p>

			
<p>直線仕様で使用できないロックモード状態のとき。模様や機能が選択されたとき。</p>	<p>2本針仕様で使用できない模様や機能が選択されたとき。</p>	<p>ロックモード状態のとき。</p>	<p>針板が外れているとき。針板を外した状態のとき。</p>
			
<p>データを保護して電源を落とす準備中のとき。</p>	<p>データを保護して電源を落とす準備が完了したとき。</p>	<p>USBメモリにアクセスする機能を使用しようとしたときに、USBメモリが挿入されていないとき。</p>	<p>USBメモリ内に必要なデータが存在しないとき。</p>

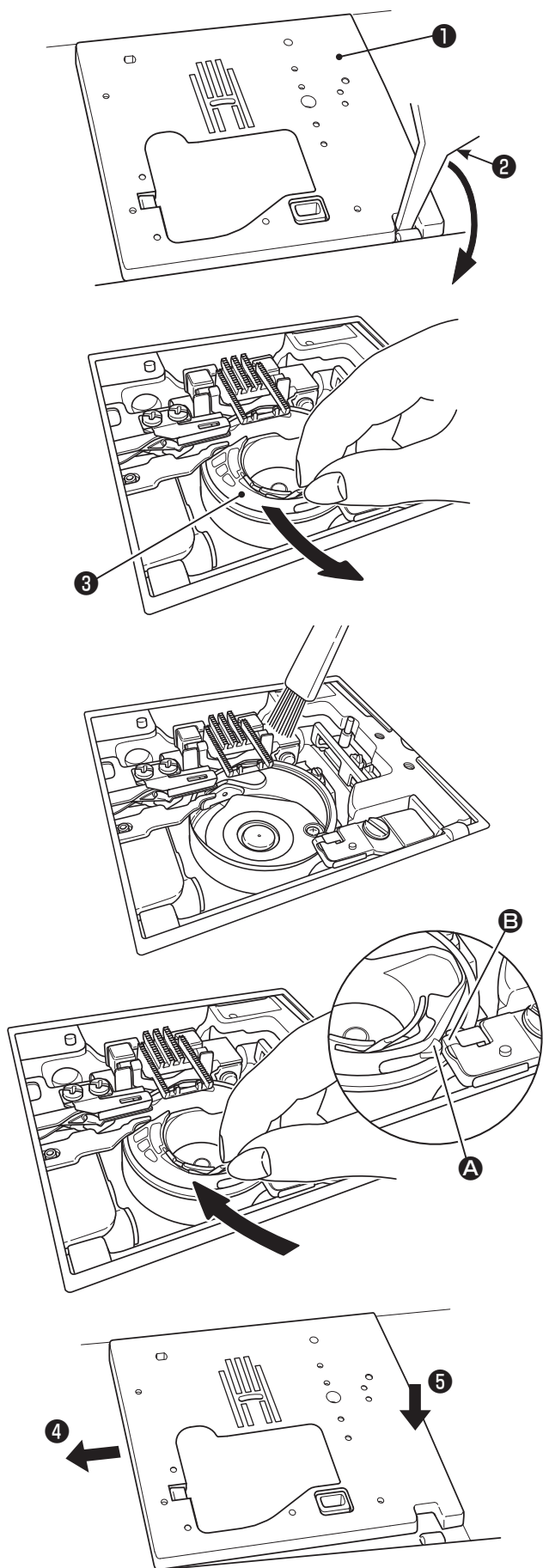
			
<p>無線 LAN への接続が必要な機能を使用しようとしたときに、無線 LAN に未接続のとき。</p>	<p>データを保存中のとき。</p>	<p>選択したデータに互換性が無く、使用できないとき。</p>	<p>現在のソフトウェアバージョンを確認しているとき。</p>
			
<p>ソフトウェアバージョンを確認した結果、すでに最新のバージョンであるとき。</p>	<p>ソフトウェアバージョンを確認した結果、より新しいバージョンが存在するとき。</p>	<p>USB メモリ内のデータでソフトウェアを更新するとき。</p>	<p>無線 LAN でダウンロードしたデータでソフトウェアを更新するとき。</p>

 <p>ソフトウェア更新</p> <p>USB</p> <p>無線LAN</p> <p>電源を切らないでください 途中で自動的に再起動することがあります。 更新中は電源を切らないでください。</p> <p>キャンセル 更新開始</p>	 <p>ソフトウェア更新</p> <p>USB</p> <p>無線LAN</p> <p>ソフトウェア更新完了 電源スイッチを切ってください。</p>	 <p>初期位置調整</p> <p>電源を切ってください アプリケーションに問題が発生したため、ミシンを再起動する必要があります。</p> <p>OK</p>
<p>ソフトウェア更新を開始するとき。</p>	<p>ソフトウェア更新が完了したとき。</p>	<p>アプリケーションに何らかの問題が発生し、復帰するためにミシンの再起動が必要になったとき。</p>

## 9. ミシンのお手入れ

糸くずやほこりがたまると、故障の原因になることがあります。常にきれいにしておきましょう。

**⚠ 電源 OFF または ロックモード**



**1** 押えと針を取り外します。  
針板を外します。

針板①手前の溝に専用ドライバー②を差し込み、押し下げると外れます。

**2** 内がま③を取り外します。

**3** 糸くずやほこりを取り除きます。

送り歯や、内がまの周辺のコブやほこりを、付属品の掃除用ブラシを使ってきれいにします。

**4** 内がまを取り付けます。

ⒶとⒷがあたるように内がまを入れます。

**5** 針板をはめ込みます。

針板左側を下に傾けながら入れ(④)、右側中央を押し下げてしっかりはめ込みます(⑤)。

## 10. 別売品のご紹介

ホームソーイングをさらに楽しくします！  
お買い上げの販売店でお求めください。

### ●三ツ巻き押え

布端を三つ折りにしながらぬっていく方法で、シャツやブラウスの裾、フリルやハンカチの縁の始末などに使います。

### ●ボタン付け押え

2つ穴、4つ穴のボタン付けができます。

### ●パール付け押え

ひも状につながったパールやビーズ、太めのコードをジグザグでぬい付けることができます。

### ●ガイド押え

押えに2mm間隔の印が付いていますので、ステッチの間隔の目安になります。

### ●バインダー押え

バイアステープなどのふちどりテープを四つ折りにしながら簡単にぬいつけることができます。

### ●2本針

2本針を使って、きれいなかざり模様をぬうことができます。(針幅 2.0 mm)

 は押えジョイントが必要です。

### ●コード刺しゅう押え

フリーモーションで使います。  
コードを一緒にぬい付けることができます。

### ●ジグザグ三ツ巻き押え

薄地の布端を巻きながらジグザグでぬいます。  
フリルやハンカチの縁の始末などに使います。

### ●アップリケ押え

押えの前後が短いのでカーブも動かしやすく、透明なので布地を見やすくなっています。

### ●ひも付け押え

細いひも1～3本を3点ジグザグやかざりぬいを使って留めることができます。

### ●コンシール®ファスナー押え

ファスナーやぬい目が布地の表に出ないので、つき合せの状態、あきの始末ができます。

### ●スムーズ押え

滑りにくい素材(人工皮革)や密着模様をぬうときに使います。

### ●押えジョイント

押えホルダーを外して取り付ける別売押えを使用するときに必要です。

### ●キルト押え(オープンタイプ)

フリーモーションキルトをするときに使います。前側が開いているので、針落ち位置を見やすくなっています。

### ●キルト押え(ジグザグタイプ)

フリーモーションキルトをするときに使います。ジグザグ模様でもぬうことができます。

### ●拡大レンズ

針元を拡大するルーペとして使います。  
使わないときは、手元をふさがない位置まで移動させることができます。

### ●糸立台

太巻き糸を設置できます。  
キルトなど、一度に多くぬうときに便利です。  
1本タイプと2本タイプがあります。

### ●LEDポインタ

別売りのホルダーに取り付けることで、十文字に、縦横の光線によるガイドを表示させることができます。  
ぬい始めを揃えたり、ぬい中のぬい位置を揃えるのに便利です。



# 11. 故障かな・・・というときは


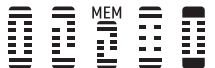




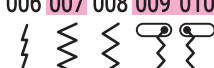

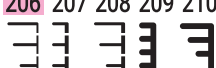

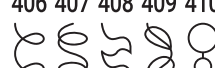

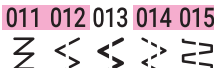

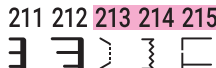


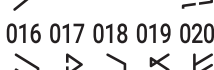

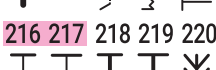
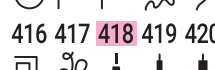
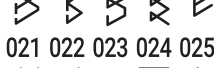
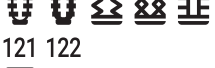
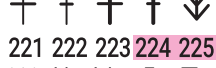
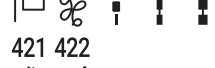

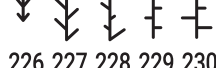





下記のことをお調べのうえ、それでも具合の悪い場合は、お買い求め販売店にご相談ください。

症 状	原因（理由）	処置方法	参考 ページ
● ぬっているとき急に回転しなくなった。 ※ はずみ車が手で普通に回せるとき。	● ゆっくりぬいを長時間行ったとき。 ※ モーターの異常発熱を防ぐため、自動的にモーター電源が切れるしくみになっています。	● 電源スイッチを切り、しばらく（約 10 分間）すると安全装置が復帰し、正常に戻ります。	5
● スタート・ストップボタンを押してもミシンが回らない。 （ランプはつく）	● 押えの付け間違えにより、針が押えに当たっている。 ● 針が外れてかまの中に落したままスタートさせたとき。	● 模様にあった押えに取り替えます。 ● 針を取り除きます。	- -
● 針が折れる。	● 細い針で厚物をぬったとき。 ● 針が奥まできちんと入っていないとき。 ● 針止めネジの締め方が弱いとき。 ● 模様に対して押えが間違っているとき。 ● 針が曲がっている。	● 布地、ミシン糸、ミシン針の関係を調べます。 ● 針の取り付け方を調べます。 ● 針止めネジをしっかり締めます。 ● 模様と押えの関係を調べます。 ● 針を取り替えます。	27 26 26 - 26
● 回転音が重い、または音が高い。	● 送り歯にゴミがたまっているとき。 ● かまに糸くずがたまっているとき。	● ミシンのお手入れをします。 ● ミシンのお手入れをします。	124 124
● 布地を送らないとき。	● ぬい目の長さが0になっている。 ● タオル地などやわらかい布地。 ● ドロップフィード状態になっている。 ● 微量押え上げ高さが高すぎる。	● 模様を選び直すと模様の適正なぬい目の長さがセットされます。 ● ぬい目の長さを3～5にします。 ● 送り歯を上げます。 ● 微量押え上げ高さを調節する。	43 - 10 39
● 糸通しができない。 ※ 糸通しのフックが回転しない。 ● 糸通しのフックが針穴に入らない。	● 針が上に上がっていないとき。 ※ 針が上がっていないときは、フックの保護のため回転しないしくみになっています。 ● 針が奥まできちんと入っていないとき。	● はずみ車を回して、針を上に乗せます。 ● 針の取り付け方を調べます。	32 26
● 糸通しレバーが戻らず、ミシンが回らなくなった。 ※ 針穴の中に糸通しのフックが入ったまま。	● 糸通しレバーを下げたまま（糸通し中）誤ってミシンを回してしまったとき。	● はずみ車を手でわずかに向こう側（ぬうときと反対）に回します。	-

症 状	原因（理由）	処置方法	参考 ページ
● スタート・ストップボタンを押してもミシンがスタートしない。	● 足踏みのコントローラーが差し込んであるとき。	● コントローラーを外せばスタート・ストップボタンを使用できます。	17
● 糸が切れる。 ● ぬい目がとぶ。	● 糸のかけ方が間違っているとき。 ● 糸にこぶや結び目があるとき。 ● 糸調子の合わせ方が悪いとき。 ● 針が曲がっていたり、針先がつぶれているとき。 ● 針の取り付け方が間違っているとき。 ● 下糸の通し方が間違っているとき。 ● ボビンが内がまの中で滑らかに回らないとき。 ● 針と糸の太さが合っていないとき。 ● 天びんに糸がかかっているとき。	● 糸をかける順序を調べてかけ直します。 ● 糸こぶや結び目を取り除きます。 ● 模様、ミシン糸の関係を調べて合わせます。 ● 針を取り替えます。 ● 針を正しく取り付けます。 ● 下糸の通し方を調べます。 ● 下糸の巻き方を調べます。 ● ミシン糸、針の関係をよく調べます。 ● 糸のかけ方を調べます。	33 - 37 26 26 30 - 27 34
● ぬい調子が合わない。	● 上糸のかけ方が間違っているとき。 ● 下糸のセットが間違っているとき。 ● 糸巻き当て座の向きが糸ゴマに合っていないとき。	● 糸のかけ方を調べます。 ● 下糸のセット方法を調べます。 ● 糸ゴマに合った糸巻き当て座の向きで取り付けます。	33 30 33
● ぬい目にしわができる。	● 薄物に対してぬい目が大きいとき。 ● 針先がつぶれているとき。	● ぬい目を細かくします。 ● 針を取り替えます。	41 26
● ぬい中に、上糸が糸巻糸案内に引っかかる。	● 糸ゴマのサイズによっては、引っかかることがあります。	● 別売品のネットを、糸ゴマに被せて使用します。	-
● 液晶画面に  マークが表示される。	● モーターがロックしたとき、一時的に安全装置が働き、ミシンが停止しているとき。または、電圧異常が発生しているとき。	● しばらくすると安全装置が復帰し、正常に戻ります。（このとき、スタートストップボタンは光りません）	-

# 12. 模様一覧

: シングルモードで選択できる模様の種類  
 : コンビネーションモードで選択できる模様の種類  
 : JUKI スマートフィードが使える模様

実用	ボタン穴かがり	アップリケ	テーパリング	キルトライン	スカラップ
<div style="background-color: #444; color: white; padding: 2px;">001 002 003 004 005</div> 	<div style="background-color: #444; color: white; padding: 2px;">101 102 103 104 105</div> 	<div style="background-color: #800040; color: white; padding: 2px;">201 202 203 204 205</div> 	<div style="background-color: #444; color: white; padding: 2px;">301 302 303 304 305</div> 	<div style="background-color: #800040; color: white; padding: 2px;">401 402 403 404 405</div> 	<div style="background-color: #800040; color: white; padding: 2px;">501 502 503 504 505</div> 
<div style="background-color: #800040; color: white; padding: 2px;">006 007 008 009 010</div> 	<div style="background-color: #444; color: white; padding: 2px;">106 107 108 109 110</div> 	<div style="background-color: #800040; color: white; padding: 2px;">206 207 208 209 210</div> 	<div style="background-color: #444; color: white; padding: 2px;">306</div> 	<div style="background-color: #800040; color: white; padding: 2px;">406 407 408 409 410</div> 	<div style="background-color: #800040; color: white; padding: 2px;">506 507 508 509 510</div> 
<div style="background-color: #800040; color: white; padding: 2px;">011 012 013 014 015</div> 	<div style="background-color: #444; color: white; padding: 2px;">111 112 113 114 115</div> 	<div style="background-color: #800040; color: white; padding: 2px;">211 212 213 214 215</div> 		<div style="background-color: #800040; color: white; padding: 2px;">411 412 413 414 415</div> 	<div style="background-color: #800040; color: white; padding: 2px;">511 512</div> 
<div style="background-color: #444; color: white; padding: 2px;">016 017 018 019 020</div> 	<div style="background-color: #444; color: white; padding: 2px;">116 117 118 119 120</div> 	<div style="background-color: #800040; color: white; padding: 2px;">216 217 218 219 220</div> 		<div style="background-color: #800040; color: white; padding: 2px;">416 417 418 419 420</div> 	
<div style="background-color: #444; color: white; padding: 2px;">021 022 023 024 025</div> 	<div style="background-color: #444; color: white; padding: 2px;">121 122</div> 	<div style="background-color: #800040; color: white; padding: 2px;">221 222 223 224 225</div> 		<div style="background-color: #444; color: white; padding: 2px;">421 422</div> 	
<div style="background-color: #800040; color: white; padding: 2px;">026 027 028 029 030</div> 		<div style="background-color: #444; color: white; padding: 2px;">226 227 228 229 230</div> 			
<div style="background-color: #444; color: white; padding: 2px;">031 032 033 034 035</div> 		<div style="background-color: #444; color: white; padding: 2px;">231 232 233 234 235</div> 			
<div style="background-color: #444; color: white; padding: 2px;">036 037 038 039 040</div> 		<div style="background-color: #800040; color: white; padding: 2px;">236 237 238 239 240</div> 			
<div style="background-color: #444; color: white; padding: 2px;">041 042 043 044</div> 					

※ミシンの上面カバー内側に一覧表があります。

ワンポイント					かざり					ウィンテージ					フェザー・レース														
ワンポイント					かざり					ウィンテージ					フェザー・レース														
601	602	603	604	605	646	647	648	649	650	701	702	703	704	705	746	747	748	749	750	801	802	803	804	805	901	902	903	904	905
606	607	608	609	610	651	652	653	654	655	706	707	708	709	710	751	752	753	754	755	806	807	808	809	810	906	907	908	909	910
611	612	613	614	615	656	657	658	659	660	711	712	713	714	715	756	757	758	759	760	811	812	813	814	815	911	912	913	914	915
616	617	618	619	620	661	662	663	664	665	716	717	718	719	720	761	762	763	764	765	816	817	818	819	820					
621	622	623	624	625	666	667	668	669	670	721	722	723	724	725	766	767	768	769	770	821	822	823	824	825					
626	627	628	629	630	671	672	673	674	675	726	727	728	729	730	771	772	773	774	775	826	827	828	829	830					
631	632	633	634	635	676	677	678	679	680	731	732	733	734	735	776	777	778	779	780	831	832	833	834	835					
636	637	638	639	640	681	682	683	684	736	737	738	739	740	781	782	783	784	785	836	837									
641	642	643	644	645						741	742	743	744	745	786														

文字 / 数字 / 記号

A B C D E	A B C D E	A B C D E	A B C D E	あいうえお
F G H I J	F G H I J	F G H I J	F G H I J	かきくけこ
K L M N O	K L M N O	K L M N O	K L M N O	さしすせそ
P Q R S T	P Q R S T	P Q R S T	P Q R S T	アイウエオ
U V W X Y	U V W X Y	U V W X Y	U V W X Y	カキクケコ
a b c d e	a b c d e	a b c d e	a b c d e	サシスセソ
f g h i j	f g h i j	f g h i j	f g h i j	一 二 三 四 五
k l m n o	k l m n o	k l m n o	k l m n o	六 七 八 九 十
p q r s t	p q r s t	p q r s t	p q r s t	幼稚園 保育園
u v w x y	u v w x y	u v w x y	u v w x y	小学校 年組
1 2 3 4 5	1 2 3 4 5	1 2 3 4 5	1 2 3 4 5	一 ~ . ! ?
6 7 8 9 0	6 7 8 9 0	6 7 8 9 0	6 7 8 9 0	あ い う え お
Ä Å Æ à ä	Ä Å Æ à ä	Ä Å Æ à ä	Ä Å Æ à ä	か き く け こ
ã è é ê ë	ã è é ê ë	ã è é ê ë	ã è é ê ë	さ し す せ そ
Ç ç Ì Ñ ñ	Ç ç Ì Ñ ñ	Ç ç Ì Ñ ñ	Ç ç Ì Ñ ñ	ア イ ウ エ オ
ñ Ö Ø ò ö	ñ Ö Ø ò ö	ñ Ö Ø ò ö	ñ Ö Ø ò ö	カ キ ク ケ コ
ø Û ù ü	ø Û ù ü	ø Û ù ü	ø Û ù ü	サ シ ス セ ソ
. , : ; ?	. , : ; ?	. , : ; ?	. , : ; ?	一 二 三 四 五
				幼稚園 保育園
				一 ~ . ! ?

## ■アフターサービスと保証

- このミシンには保証書がついています。
- 保証書は、お買い上げのお店で所定事項を記入してお渡しいたしますので、記載内容をご確認いただき、大切に保存してください。
- 保証期間は、お買い上げの日から1年間です。ただし内蔵されているマイコン・メイン基板は2年間です。
- 保証期間中でも有料になることがありますので、ご了承ください。  
(保証書に詳細を記載してありますので、そちらをご覧ください。)
- このミシンは日本国内専用機種ですので、海外でのご使用はできません。また、海外での保証、アフターサービスは受けることができません。
- 保証期間経過後の修理につきましては、お買い上げのお店にご相談ください。  
当社は、このミシンの補修用性能部品を、製造打ち切り時点から最低8年間保有しています。

## ■仕様表

項目	仕様
本体寸法	幅 602 × 高さ 310 × 奥行 264 (mm)
本体質量	14.9 kg
定格電圧／消費電力	100V / 90W 50 / 60Hz

# JUKI

JUKI 株式会社

〒206-8551 東京都多摩市鶴牧 2-11-1

アフターサービスについて、ご相談、ご要望がございましたら、お買い上げのお店、または下記のお客様相談室へお問い合わせください。

フリーダイヤル

☎ 0120-677-601

年末年始・夏季休暇・祝祭日を除く

平日(月～金) 9:00～12:00、13:00～17:00

Copyright © 2020-2023 JUKI CORPORATION

本書の内容を無断で転載、複製することを禁止します。

購入店名 後日のために記入しておいてください。  
サービスを依頼されるときお役に立ちます。

電話 (       -       -       )

購入年月日：       年       月       日